

本資料の最新版はIMDSの「よくあるお問い合わせ→各自動車メーカーからの情報」に掲載します。
IMDSデータ作成時は、最新版をご参照ください。(下記リンク中、ページ下部の「Yamaha」をクリック)

<https://public.mdsystem.com/web/imds-public-pages/oem-specific-info>

ヤマハ発動機 IMDS運用マニュアル

Ver. 3.0

☆マークは当社独自の運用です。

- データ送信時の注意点
- IMDSデータ収集の目的、概要
 - [背景・目的](#)
 - [IMDSの概要](#)
 - [IMDSデータ作成時の注意点](#)
- IMDSデータご提出完了までの流れ
 - [事前準備:企業登録](#)
 - I. [仕入先へのデータ提出依頼](#)
 - II a. [IMDSデータの受領処理](#)
 - II b. [材料データシートの作成](#)
[\(補足II-1\)複合材料のデータ作成](#)
[\(補足II-2\)混合材料のデータ作成](#)
[\(補足II-3\)規制物質の含有確認](#)
 - II c. ☆[支給材料データの作成](#)

- III a. [部品データシートの作成](#)
- III b. ☆[支給部品データの作成](#)
- III c. [複合部品データの作成](#)
- III d. ☆[組立品番の場合](#)
- IV a. ☆[データ送信](#)
- IV b. [データ転送\(商社の場合\)](#)
- IV c. [データ修正](#)
[\(補足IV-1\)エラーコード対照表](#)
[\(補足IV-2\)図面改訂時の事前内容確認](#)

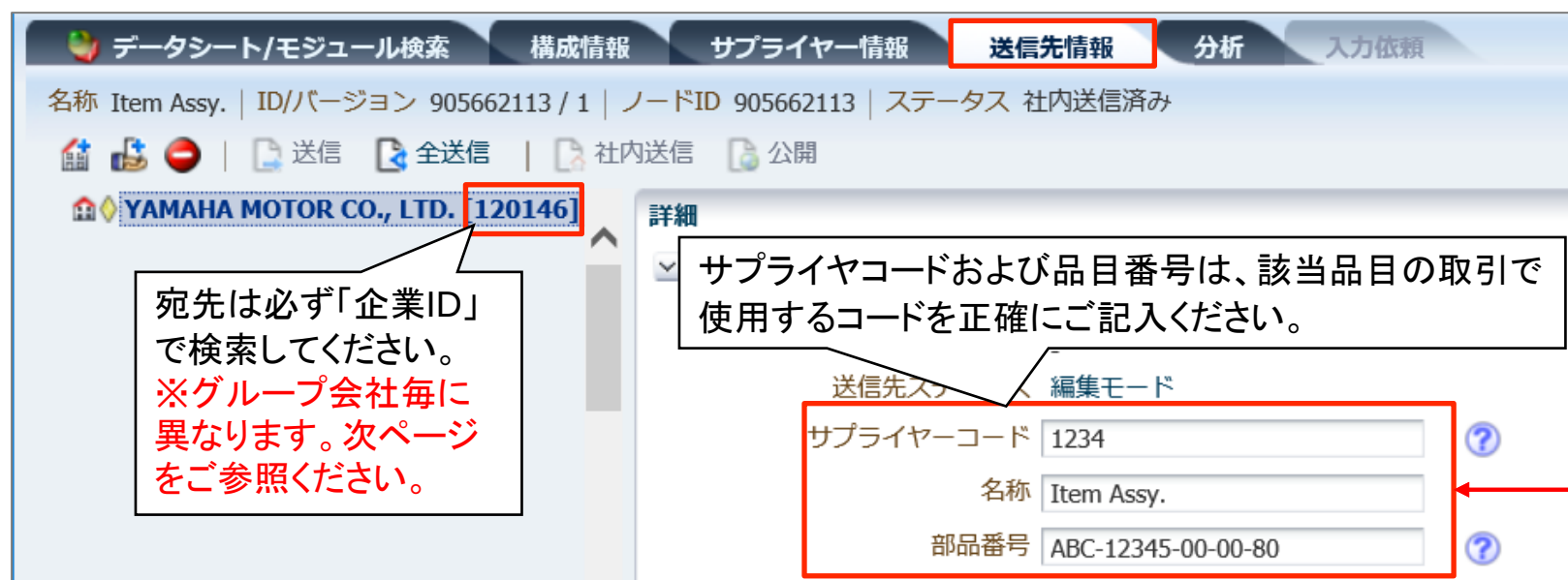
- 参考資料
 - [よくある警告への対応](#)
 - [よくあるエラーへの対応](#)
 - [IMDSからの通知設定](#)

ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理グループ

当社へのデータ送信時、**宛先・サプライヤコード・品目番号**を正確にご記入ください。
※お間違いがあると、データの受領が出来ません。

- 宛先: 次ページの企業ID参照
- サプライヤコード: 該当品目の取引で使用するお取引先コード(例: 1234)
- 品目番号: 取引で使用する部品番号または材料コード(例: ABC-12345-00-00-80)

【IMDSの「送信先情報」】



データシート/モジュール検索 構成情報 サプライヤー情報 **送信先情報** 分析 入力依頼

名称 Item Assy. | ID/バージョン 905662113 / 1 | ノードID 905662113 | ステータス 社内送信済み

送信 全送信 社内送信 公開

YAMAHA MOTOR CO., LTD. **120146**

宛先は必ず「企業ID」で検索してください。
※グループ会社毎に異なります。次ページをご参照ください。

詳細

サプライヤコードおよび品目番号は、該当品目の取引で使用するコードを正確にご記入ください。

送信先入力 編集モード

サプライヤコード 1234

名称 Item Assy.

部品番号 ABC-12345-00-00-80

(注記) AM(自動車エンジン)事業部関連 新設部品、改訂(設変)部品の場合、初品検査結果報告書の提出と共に、全てIMDSデータ送信をして頂きます様にお願い致します。

回答方法等は本マニュアルではなく、AM開発統括部ビジネス推進部からの依頼内容に従ってください。

Country(reason)	Company Name	Abbreviation	Company ID
日本	YAMAHA MOTOR CO., LTD.	YMC	120146
日本	YAMAHA MOTOR POWERED PRODUCTS Co., Ltd.	YMPC	177699
日本	YAMAHA MOTOR ELECTRONICS CO., LTD.	YEJP *	140965
日本	Y'S GEAR CO.,LTD.	Y'S GEAR	201147
日本	YAMAHA MOTOR ENGINEERING CO., LTD	YEC	179697
日本	YAMAHA MOTOR HYDRAULIC SYSTEM CO., LTD.	YHSJ	27968
日本	YAMAHA MOTOR PRECISION PARTS MANUFACTURING CO.,LTD.	YPMJ	179280
日本	SHIZUOKA BLUE REVS CO.,Ltd	SBR	244740
アメリカ	YAMAHA MOTOR MANUFACTURING CORPORATION OF AMERICA	YMMC	165599
アメリカ	YAMAHA MOTOR CORPORATION, U.S.A.	YMUS	196791
アメリカ	G3 BOATS	G3 Boats	213650
アメリカ	SKEETER PRODUCTS	SKEETER	232864
アメリカ	BENNETT MARINE INC.	BENNETT	232866
アメリカ	YAMAHA MARINE SYSTEMS COMPANY	YMRM	232867
アメリカ	YAMAHA JET BOAT MANUFACTURING	YJBM	232869
アメリカ	YAMAHA MARINE PRECISION PROPELLERS Inc.	YPPI	232871
アメリカ	YAMAHA GOLF-CAR COMPANY	YGC	232872
アメリカ	INDUSTRIAL POWER PRODUCTS OF AMERICA, Inc.	IPA	232873
アメリカ	SIREN MARINE, Inc	Siren Marine	250725
アルゼンチン	YAMAHA MOTOR ARGENTINA S.A.	YMARG	261712
インド	INDIA YAMAHA MOTOR Pvt Ltd	IYM	189424
インド	YAMAHA MOTOR ELECTRONICS INDIA PVT. LTD.	YEIN	223361
インドネシア	PT. YAMAHA INDONESIA MOTOR MANUFACTURING	YIMM	133157
インドネシア	PT. YAMAHA MOTOR PARTS MFG INDONESIA	YPMI	135896
インドネシア	PT. YAMAHA MOTOR ELECTRONICS INDONESIA	YEID	133408

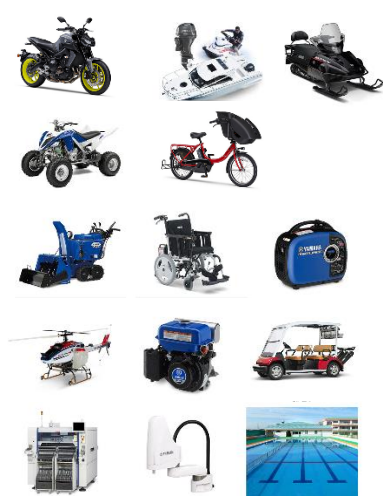
*YEJPは2025年1月にYMCへ統合されたが、IMDSのデータ送信先企業IDおよび企業名は当面継続して使用する



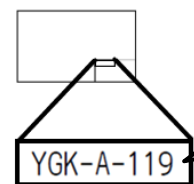
Country(reason)	Company Name	Abbreviation	Company ID
フランス	YAMAHA MOTOR MANUFACTURING EUROPE SAS	YMME	65226
オーストラリア	YAMAHA MOTOR AUSTRALIA Pty. Ltd.	YMA	202702
オランダ	YAMAHA MOTOR Europe N.V.	YMENV	202701
カナダ	YAMAHA MOTOR CANADA Ltd.	YMCA	202703
コロンビア	INDUSTRIAL COLOMBIA DE MOTOCICLETAS YAMAHA S.A.	INCOLMOTOS	187678
シンガポール	YAMAHA MOTOR DISTRIBUTION SINGAPORE Pt. Ltd.	YDS	264248
タイ	YHAI YAMAHA MOTOR Co., Ltd.	TYM	121888
タイ	YAMAHA MOTOR ASIAN CENTER Co., Ltd.	YMAC	184692
タイ	YAMAHA MOTOR PARTS MANUFACTURING(THAILAND)CO.,LTD.	YPMT	53486
中国	ZHUZHOU JIABSHE YAMAHA MOTOR Co., Ltd.	ZCYM	129690
中国	CHONGQING JIANSHE YAMAHA MOTOR Co., Ltd.	CJYM	130438
中国	YAMAHA MOTOR CHINA Co., Ltd..	YMCN	174805
中国	YAMAHA MOTOR ELECTRONICS SUZHOU CO.,LTD	YESZ	193353
(台湾)	YAMAHA MOTOR TAIWAN Co., Ltd.	YMT	153706
(台湾)	YAMAHA MOTOR TAIWAN TRADING Co., Ltd.	YMTT	174807
(台湾)	YAMAHA MOTOR ELECTRONICS TAIWAN CO.,LTD.	YETW	186718
ニュージーランド	YAMAHA MOTOR NEW ZEALAND Ltd.	YMNZ	202704
パキスタン	YAMAHA MOTOR PAKISTAN (Private) Limited	YMPK	260766
フィリピン	YAMAHA MOTOR PHILIPPINES, Inc.	YMPH	232874
フィンランド	INHA WORKS Ltd.	IWL	238836
ブラジル	YAMAHA MOTOR DA AMAZONIA Ltda.	YMDA(B)	184936
ブラジル	YAMAHA MOTOR ELECTRONICS DO BRASIL LTDA	YEBR	213722
ベトナム	YAMAHA MOTOR VIETNAM Co., Ltd.	YMVN	164046
ベトナム	YAMAHA MOTOR PARTS MANUFACTUARING VIETNAM	YPMV	169601
ベトナム	YAMAHA MOTOR ELECTRONICS VIET NAM CO.,LTD	YEVN	203658

IMDSデータ収集の目的、概要

- 多種多様な各国の含有物質規制(含有禁止、表示、届出など)に対応するため、当社製品に含有する環境負荷物質の把握・管理が必要不可欠となっています。
- 管理対象は、当社製品及びその一部となり当社から出荷される品目全てです。
 - 例:部品、原材料、生産間材(オイル・グリス・接着剤など)、出荷用の梱包資材等
- 対象品目について、当社はお取引先様に図面等で当社の製品含有化学物質管理基準 YGK-A-119への適合を指示致します。※1
- お取引先様は対象品目の成分情報を収集し、上記基準への適合をご確認ください。また、収集した成分データはIMDS※2にて当社にご提出ください。**IMDSデータはYGK-A-119の要求仕様に対する品質保証データとして扱い、規制対応のエビデンスとなります。**



成分A: ○%
成分B: □%
成分C: △%
成分D: ○%
成分E: □%
成分F: △%
成分G: ○%
成分H: □%
成分I: △%
成分J: ○%
成分K: □%
成分L: △%



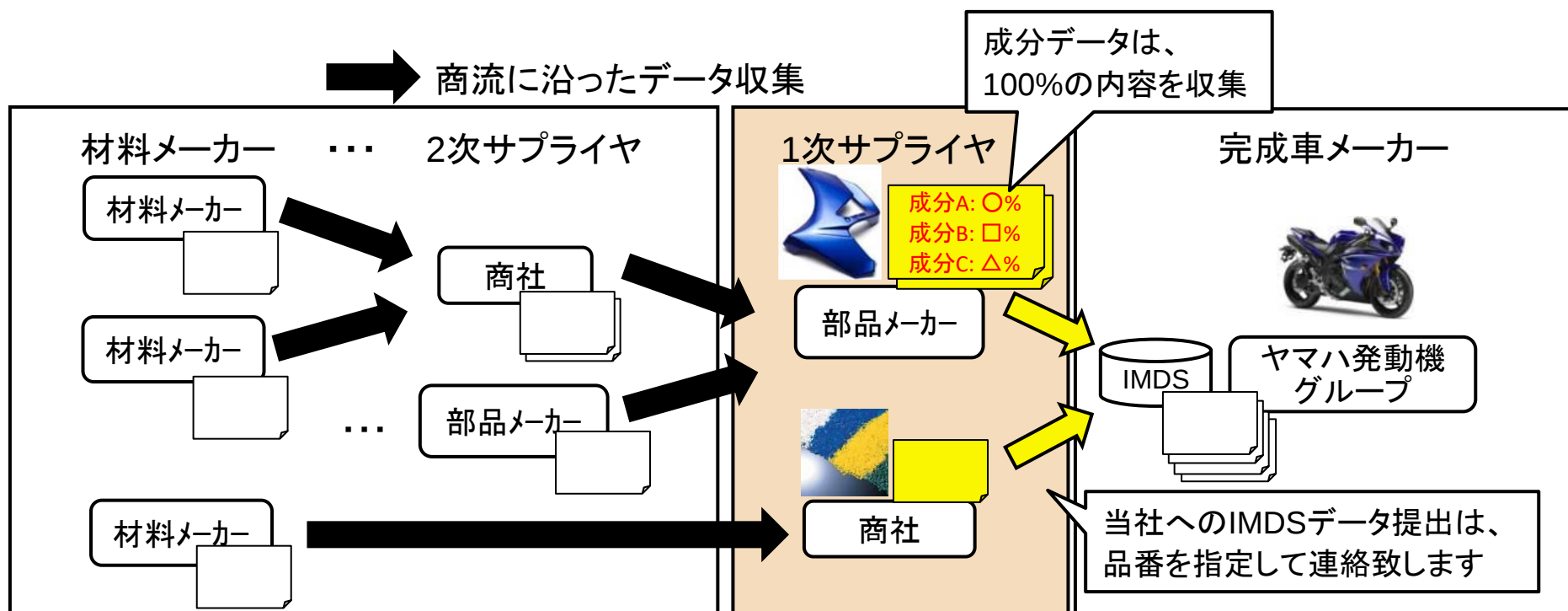
**品質保証データ
規制対応のエビデンス**



※1 当社の依頼部門より固有の指示がある場合は、その指示に従ってください。

※2 IMDS (International Material Data System) : 自動車業界における成分データ申告の世界標準オンラインツール

- 当社の購入品品質保証マニュアルに則り、当社製品の一部となり当社から出荷される品目の成分データ(IMDSデータまたはそれに準拠したデータ※¹)は予め収集してください。
- IMDSデータご提出については、当社より品番を指定して連絡致します。ただし、材料変更に伴う追番改訂の場合は、当社からの連絡の有無に関わらず、購入品品質保証マニュアルに則ってIMDSデータをご提出ください。



※1 IMDSデータは、今後の規制強化に備えるため100%の成分情報が記載されています。分析は必須では無く、商流に沿ったデータ申告となります。IMDS以外の様式で成分データを取得した場合は、それを基にIMDSデータを作成してください。

- IMDS以外の様式で成分データを取得する場合は仕入先に100%の成分情報の提出を依頼してください。**SDS(安全データシート)は全ての物質を記載していない可能性があります。必ず全ての物質を記載した成分表の提出を依頼してください。**
- **企業秘密でデータ取得が困難な場合は、規制物質※¹の含有有無を確認してください。**
 - **規制物質を含有する場合: 識別No(CAS No)と含有率を正確に確認してください。**
 - **規制物質以外: 一般名称と大まかな含有率を確認してください。(10%まではその他も可)**
- **最終状態※²の成分データをご提出ください。**
 - 溶剤等、製品に残留しない物質は記載しないでください。(塗料など)
 - 反応性材料は、反応後の成分を記載してください。(接着剤は硬化後、化成処理は生成皮膜)

但し、当社からの出荷状態に依り、溶剤や反応前データのご登録をお願いする場合があります。その場合は個別に連絡致します。

成分データの例



樹脂

反応後の成分

主成分: PA6

充填剤: GF Fibre

可塑剤: **DEHP** **117-81-7**

その他: 機密扱い

100%の成分情報

70~80 %

10~15 %

10 %

5 %

規制物質はCAS No必須

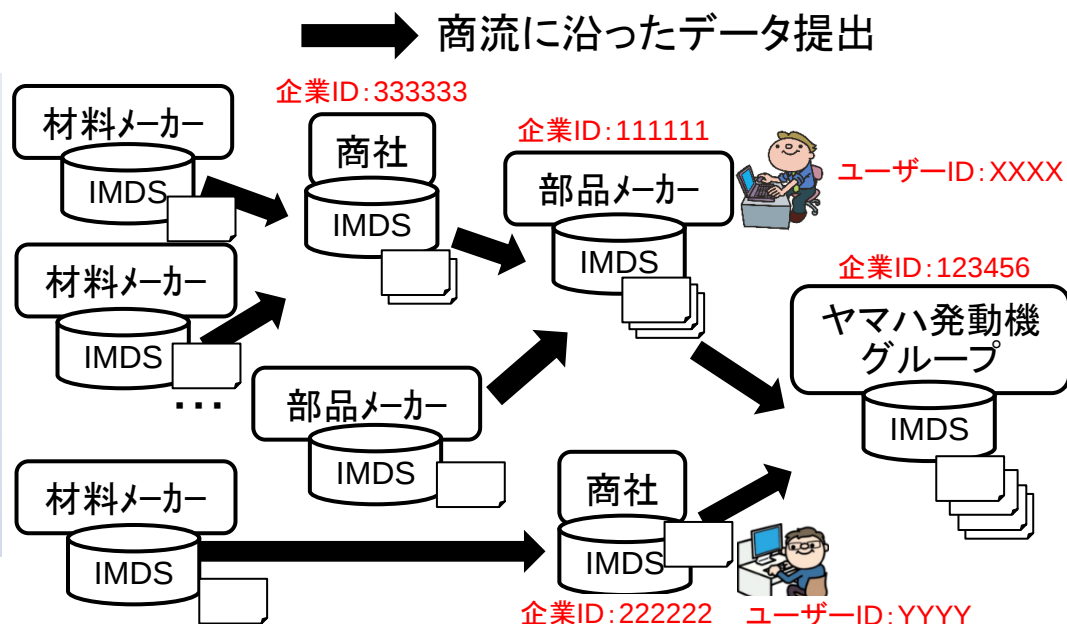
規制物質でない場合は、一般名称やその他として記載が可能

※1 規制物質に該当するかの判断は、GADSL(自動車業界統一化学物質管理リスト)を使用します。GADSLはウェブサイト(<http://www.gadsl.org/>)より入手できます。詳細は、「[\(補足II-3\)規制物質の含有確認](#)」をご参照ください。

※2 最終製品の材料に含有されている化学物質(硬化した状態の接着剤または塗料コーティングなど。蒸発する溶媒は含まない)詳細はIMDSの規則(IMDS 001)の「規則4.4.1.B」参照。

- IMDS※¹は、一般のインターネット上のオンラインシステムです。
- 始めて使用する場合は企業登録※²を実施して“企業ID”(宛先情報)およびログイン用の“ユーザーID※³”の取得が必要です。(オンライン登録、IDは即時発行)
- 原則としてサプライチェーンのすべての企業がIMDSを使用し、商流に沿ってデータを提出します。※⁴

IMDSのURL: <http://www.mdsystem.com/>

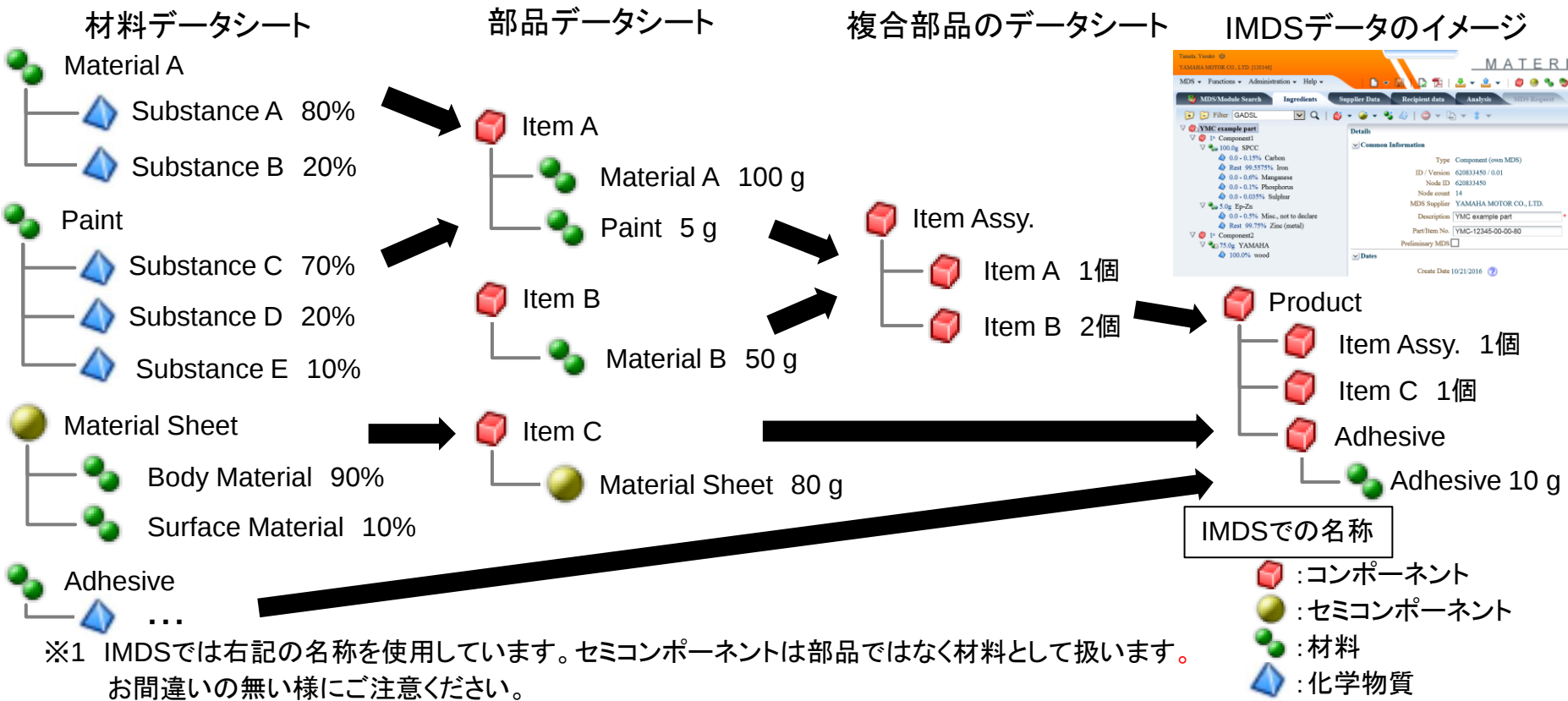


- ※¹ IMDS (International Material Data System): 自動車業界で世界的に使用している成分データの申告システム
- ※² 企業登録は1社につき1回です。他部署で登録している場合は登録不要です。自社が企業登録済みか不明な場合は、[IMDSサービスセンター](#)にお問合せください。サプライヤの皆様は登録料・利用料ともに無料です。
- ※³ 企業登録を実施した人はその企業の管理者となり、他のユーザーを追加登録できます。
- ※⁴ 材料メーカーがIMDS非対応の場合は、成分表を取得してIMDSデータを作成してください。

材料データは材質（組成成分）単位、部品データは品目単位で作成し、データシートと呼ばれます。IMDSでは、部品は赤(📦)、材料は緑(🌿)、セミコンポーネントは黄(🟡)、物質は青(💧)で示されます。※1

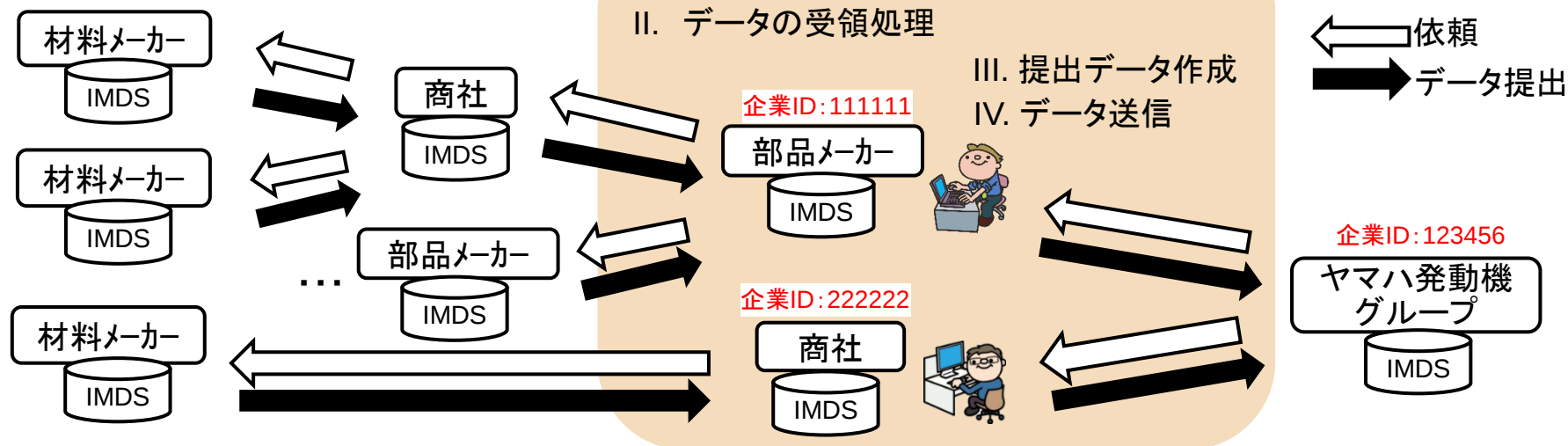
材料データシートには構成成分とその含有率が記載され、原則として材料メーカーが作成します。部品データシートには構成材料とその使用量が記載され、原則として加工メーカーが作成します。複合部品のデータシートには構成部品とその員数および組立で使用する補助剤が記載されます。

商流に沿ったデータ提出、またはデータ作成の流れ



- I. まず、対象品目の構成部品、材料を確認※¹し、成分データが取得済みであることを確認※²します。
未取得データがあった場合は、仕入先にIMDSデータの提出を依頼します。※³
- 依頼を受けた材料メーカーは材料データシートを、部品メーカーは部品データシートを作成し、依頼元に送信します。(商社はデータシートを転送します※⁴)
- II. 仕入先からデータを受信したら、内容を確認し、データシートを承認または修正依頼します。※⁵
- III. 収集したデータシートを参照してヤマハ発動機グループに提出するデータを作成します。
- IV. 作成したデータシートを送信します。

➤ データシートの作成、送信(商社は転送)



※¹ 表面処理や組立補助剤など、漏れなく確認してください。

※² 一般工業規格で成分データが規定されている材料は、IMDSの標準材料シートを使用することもできます。

※³ IMDSデータ提出を依頼する際は、宛先となる自社の「企業ID」を合わせて連絡してください。

※⁴ 商社の場合、仕入先と納入先を仲介して、仕入先から納入先へ直接IMDSデータを送信することも可能です。但し、その場合でも納入先からの問合せに回答できる様に、データIDや規制物質の含有状況は把握しておいてください。

※⁵ 仕入先がIMDS対応不可の場合はPDFやエクセルなどで成分表を入手し、IMDSに代行入力してください。

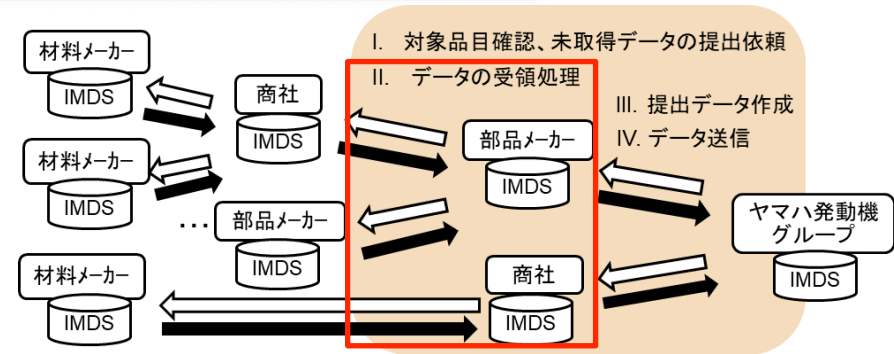
【重要】IMDSデータ受信時の内容確認



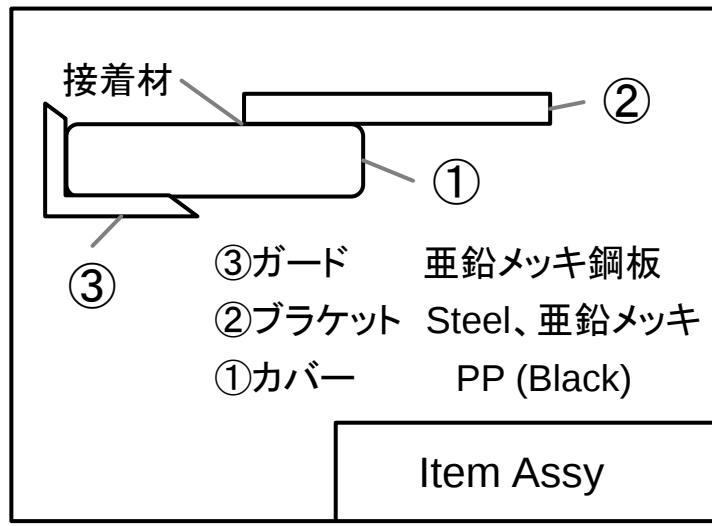
仕入先からデータを受信したら、図面や材料仕様書を基に**データ内容に不足が無いこと**を確認してください。

- 構成部品に不足は無いかな？
- 表面処理、組立補助剤などの漏れは無いかな？
- 材料仕様に則った内容になっているか？（添加剤の回答漏れは無いかな？）

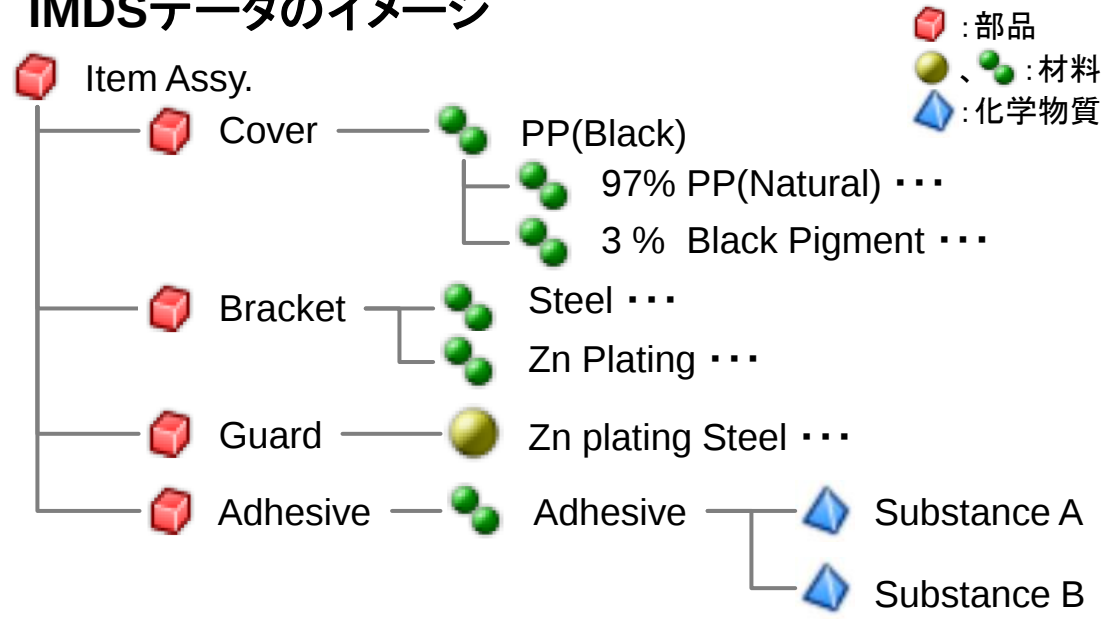
また、次ページ以降のIMDSデータの構造やID管理にも間違いが無いかな確認してください。



例：図面



IMDSデータのイメージ

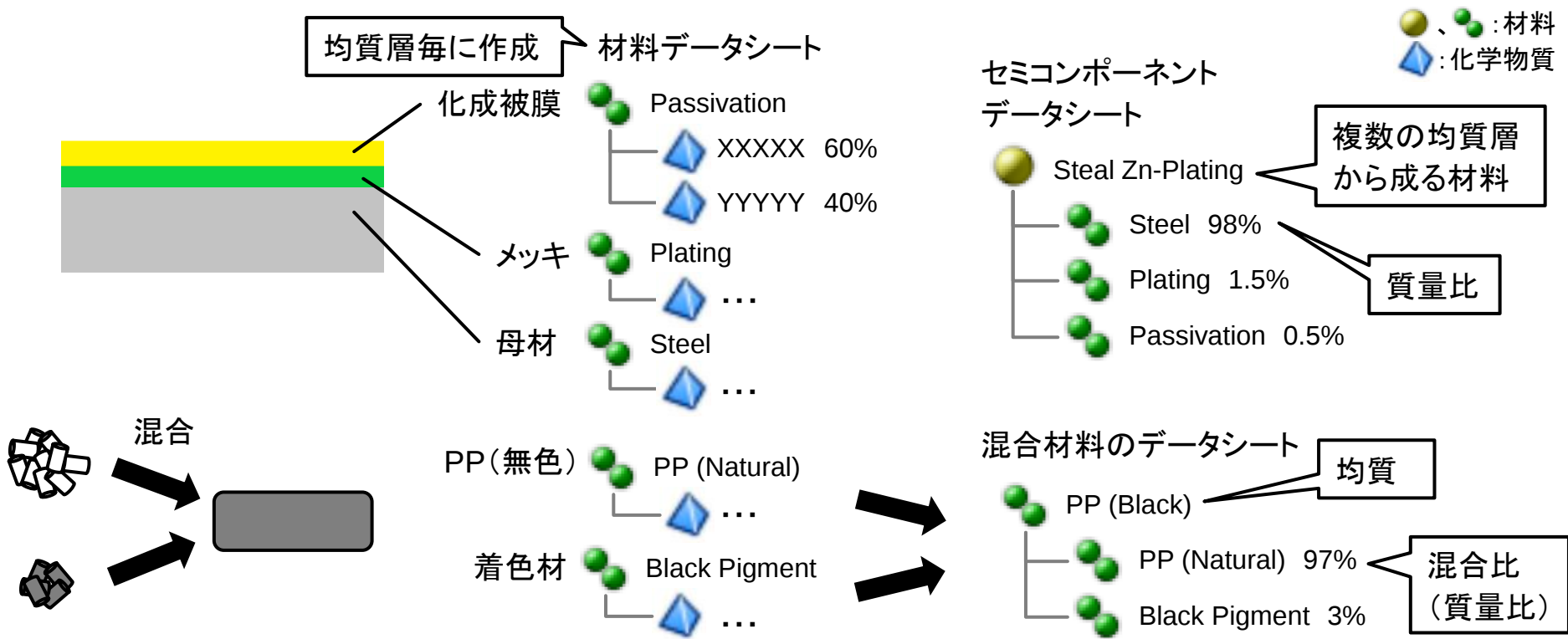


材料データシート作成時の注意点



多くの規制物質の閾値は、均質材料 (homogeneous material) 中の含有率に対して定められています。

- 材料データシートは必ず均質層毎に作成してください。※1
- 2つ以上の均質層から成る材料は、セミコンポーネント※2としてください。
- 2つ以上の材料を混合する場合は、新たに材料データシートを作成して混合比を登録してください。



※1 異なる層の成分データを1つの材料データシートに混ぜて記載すると、含有率が実際よりも小さな値となり、規制不適合を見落とすリスクがあります。そのようなデータ登録は絶対にお止めください。

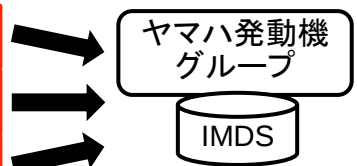
※2 セミコンポーネントとは、まだ形状が決まっておらず、アセンブリまたは最終製品になる前に加工を必要とするものを示します。

- 図面の構成欄等で当社品番を指定している場合は、該当のIMDSデータの部品番号欄には当社品番を記載してください。この際、当社品番は取引で使用する納入品番を記入してください。※1
- お取引先様における管理上、部品番号欄にお取引先様の管理品番を記入する場合は、次の様にご対応ください。
 - ① IMDSデータ作成時はお取引先様の管理品番を入力し、データ送信時に当社品番を入力して1部品ずつデータを送信してください。※2
 - ② ①の品目が複合部品の構成に使われる場合は、当社に送信したデータそのもの(同じID/Ver.のもの)を構成部品に使用してください。※3

①送信するデータシートは、データ作成時に加えて送信時に客先品番を別途入力できます。**送信時に当社品番を入力し、各部品を送信してください。**

Sup-30-00	YMC-33333-00	1
Sup-20-00	YMC-22222-00	1
Sup-10-00	YMC-11111-00	1
Supplier part No.	YAMAHA part No.	Q'TY
PART NAME		
ITEM ASSY		
PART No.		
YMC-10000-00		

お取引先様の管理品番 (データ作成画面)	当社品番(納入品番) (データ送信画面)
Sup-10-00	YMC-11111-00-00-80 A
Sup-20-00	YMC-22222-00-00-80 B
Sup-30-00	YMC-33333-00-00-80 C



Item Assy.	
Sup-10-00 A	
Sup-20-00 B	
Sup-30-00 C	

②構成に使用する際は、当社に送信したデータシートそのものを使用してください。IDでデータを紐付け、当社品番を確認します。

※1 構成部品単体での納入実態が無い品目については、依頼元の指示に従ってください。
※2 仕入先より受信したデータを当社に転送する場合は、転送シートの送信時に当社品番を入力してください。
※3 ※2の場合、複合部品の構成には仕入先より受信したオリジナルのデータシートを使用してください。

IMDSでは、データシート毎に固有のIDが割り振られます。同一部品に対して、複数のデータシートを作成しないようご注意ください。

- A) 同一品番のデータを修正、更新する場合は、“バージョンアップ”で対応し、IDを変更しないようご注意ください。
- B) 一方、図面改訂等により部品番号が変わる場合は、“新規データシート”を作成し、IDを変更してください。

URL: https://currentmodel.mdsystem.com/imdsnt/faces/datasheetSearch

検索...

MDS - MATERIAL DATA SYS...

Yamaha Tarou

Yamaha Dummy Supplier [123456]

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

データシート/モジュール検索 構成情報

名称, ID, バージョン, 日付

名称 *Item Assy

部品番号,材料コード

ID 最新のバージョン ▾

データのID/バージョン

A) 同じIDのバージョンアップ

該当データの行で右クリック→コピー

コピー

B) 部品番号が変わる場合は“新規データシート”でIDを変更

新規データシート

新規バージョン

A) 同一部品のデータ修正、更新は“新規バージョン”で対応し、IDは変えずにバージョンアップ

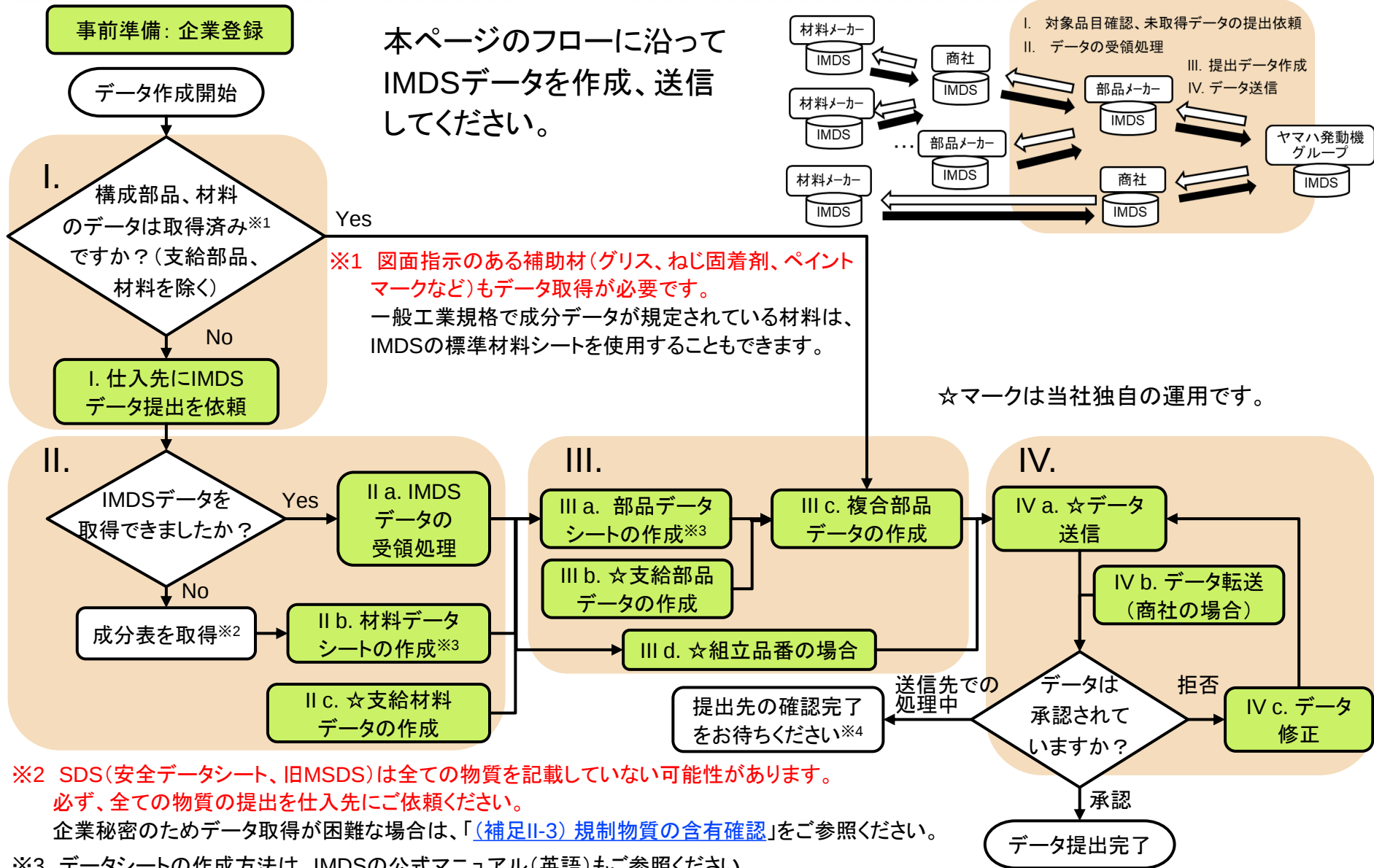
B) 品番が変わる場合は新しいIDに変更

タイプ	名称	部品番号,材料コード	ID/バージョン
Item Assy.	Item Assy.	ABC-12345-00-00-80	905662113 / 1
Item Assy.	Item Assy.	ABC-12345-00-00-80	905662113 / 1.01
Copy_Item Assy.	Copy_Item Assy.	ABC-12345-01-00-80	908724223 / 0.01

(参考) バージョンが小数(例: 1.01, 0.01)のデータは編集中、整数(例: 1)のデータは完成したデータです。

IMDSデータご提出完了までの流れ

IMDSデータご提出完了までの流れ



※2 SDS(安全データシート、IHMDS)は全ての物質を記載していない可能性があります。
必ず、全ての物質の提出を仕入先にご依頼ください。
企業秘密のためデータ取得が困難な場合は、「(補足II-3) 規制物質の含有確認」をご参照ください。

※3 データシートの作成方法は、IMDSの公式マニュアル(英語)もご参照ください。
(IMDSインフォメーションページ→はじめてご利用頂く方へ→データシートを作成するには)

※4 データ受信から1週間以内を目途に処理致します。

IMDSを初めて使用する場合、企業登録が必要です。

登録方法はIMDSインフォメーションページ→ヘルプ→チュートリアル
「企業登録(オンライン登録)」の手順(下記リンク中、ページ下部)をご参照ください。

<https://public.mdsystem.com/web/imds-public-pages/tutorials>



The screenshot shows the IMDS website interface. A callout box labeled "IMDSインフォメーションページ" points to the "IMDSインフォメーションページ" link in the top navigation bar. Another callout box labeled "ヘルプ → チュートリアル" points to the "ヘルプ" and "チュートリアル" links in the top right corner. A third callout box labeled "企業登録の方法は、ページ下部の「企業登録の手順」をご参照ください" points to the "企業登録(オンライン登録)の手順(日本語)" link in the bottom section of the page.

※企業登録は1社につき1回です。他部署で登録している場合は登録不要です。

※IMDSは、お取引先様は無料で使用可能です。(登録料、利用料ともに無料)

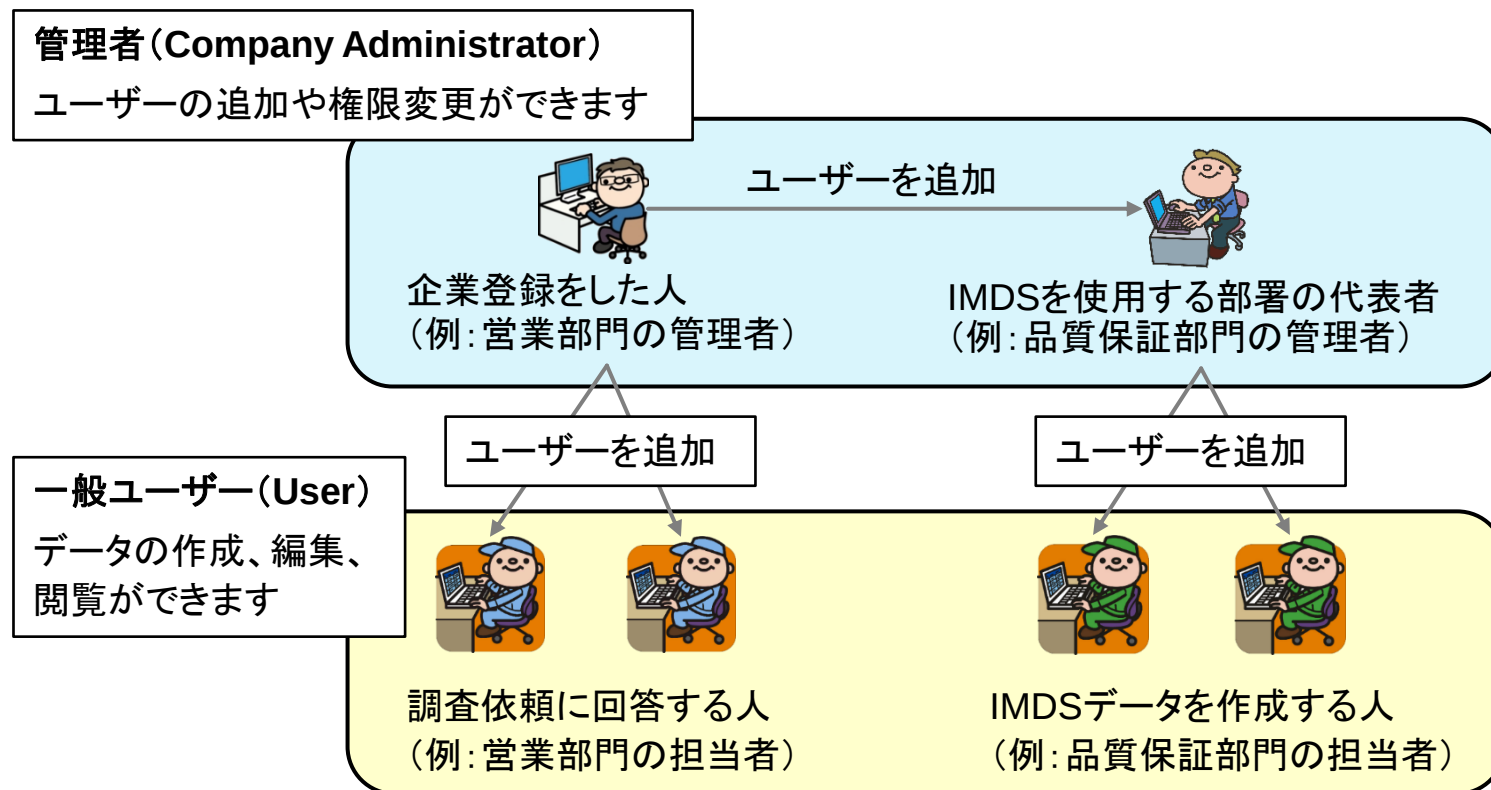
※取得した企業ID、ユーザーIDは忘れない様にメモしてください。

企業ID:

ユーザーID:

企業登録を実施した人は管理者となり、自社内のIMDS利用者を追加登録※¹します。

- 管理者(カンパニアドミニストレーター): 各種権限を保持(複数名の登録を推奨)
- 一般ユーザー: 通常のデータ作成・送信が可能



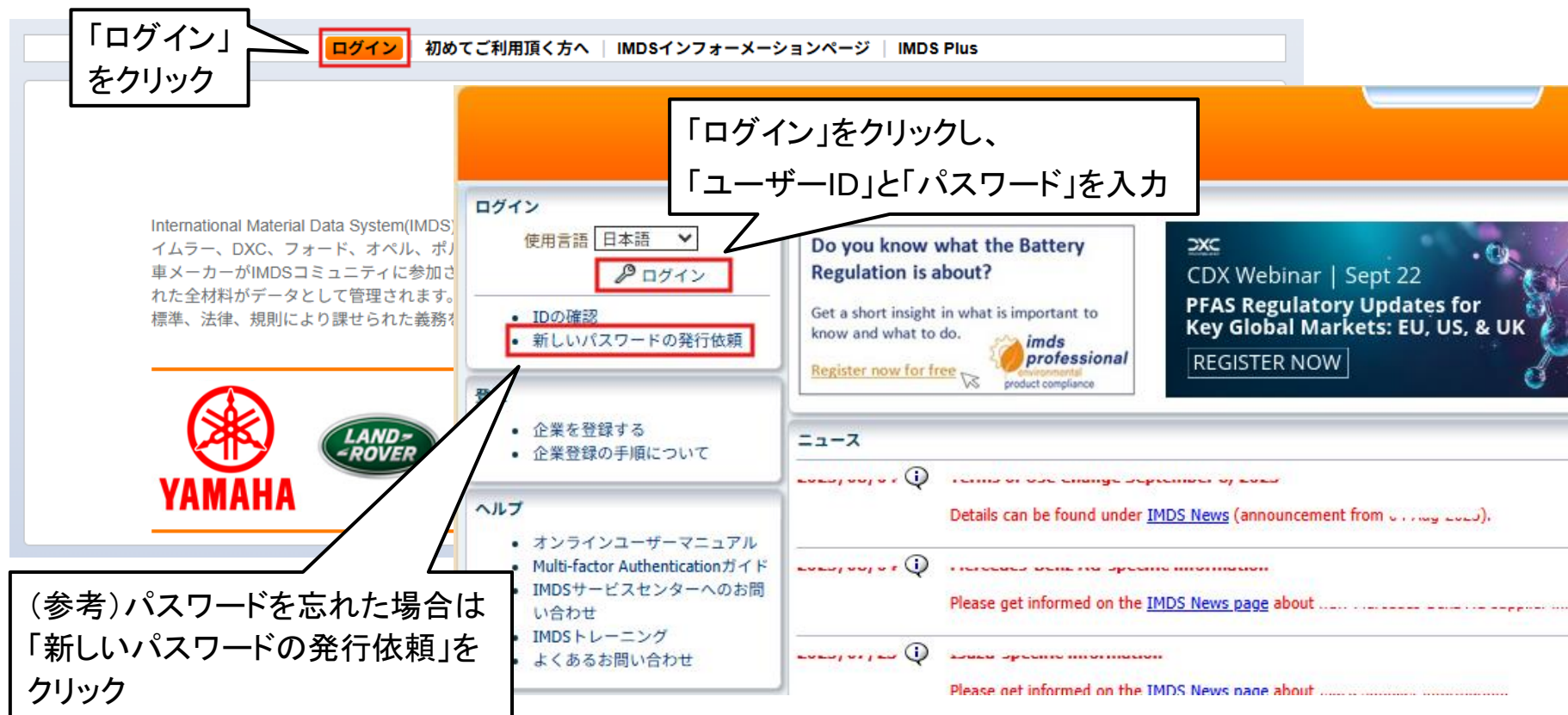
※1 追加登録の方法は、IMDSトレーニングガイドをご参照ください。(下記URLページの下部「IMDSトレーニングガイド」)

<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

「IMDSトレーニングガイド カンパニアドミニストレーター編 1.2.4 ユーザー」

企業登録、ユーザー登録後、取得したユーザーIDでログインできることをご確認ください。

- [IMDS\(http://www.mdsystem.com/\)](http://www.mdsystem.com/)にアクセス
- 「ログイン」をクリック
- ユーザーIDとパスワードを入力



The screenshot shows the IMDS login page with the following elements and callouts:

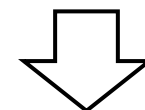
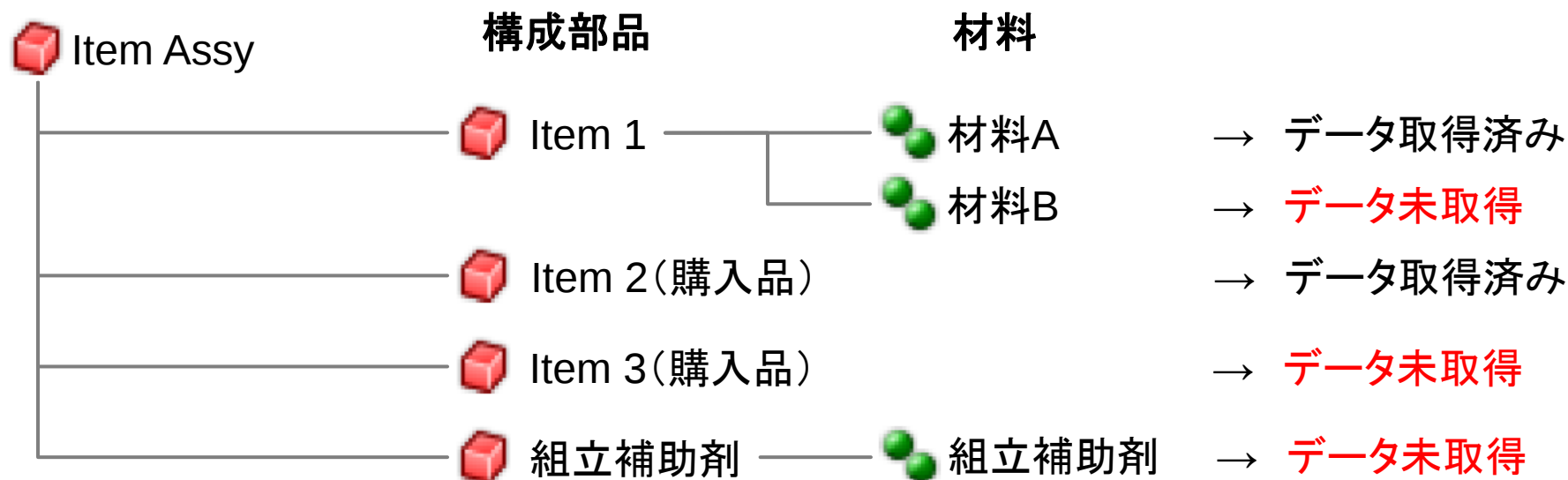
- Callout 1:** 「ログイン」をクリック (Click "Login"). Points to the "ログイン" button in the top navigation bar.
- Callout 2:** 「ログイン」をクリックし、「ユーザーID」と「パスワード」を入力 (Click "Login" and enter "User ID" and "Password"). Points to the "ログイン" button in the main login form.
- Callout 3:** (参考)パスワードを忘れた場合は「新しいパスワードの発行依頼」をクリック (Reference: If you forgot your password, click "Request for new password"). Points to the "新しいパスワードの発行依頼" link in the "ヘルプ" (Help) section.

The page content includes:

- Navigation bar: ログイン, 初めてご利用頂く方へ, IMDSインフォメーションページ, IMDS Plus
- Main login form: ログイン, 使用言語 (日本語), ログイン button, IDの確認, 新しいパスワードの発行依頼
- Help section: ヘルプ, オンラインユーザーマニュアル, Multi-factor Authenticationガイド, IMDSサービスセンターへのお問い合わせ, IMDSトレーニング, よくあるお問い合わせ
- Footer: Yamaha logo, LAND-ROVER logo

I. 仕入先へのデータ提出依頼

IMDSデータを作成するには、まず対象品目の構成部品、材料を確認※¹し、既にデータを取得済みか確認※²してください。**構成部品、材料は、購入単位まで分解してください。**
未取得の品目がある場合は、仕入先にIMDSデータの提出を依頼してください。



データ未取得の品目は、仕入先にIMDSデータ提出を依頼

※1 表面処理や組立補助剤など、漏れなく確認してください。

※2 一般工業規格で成分データが規定されている材料は、IMDSの標準材料シートを使用することもできます。

I. 仕入先へのデータ提出依頼

仕入先はIMDSデータを提出するにあたり、送信先の企業IDと対象品目の部品番号または材料コードが必要です。依頼と合わせて連絡してください。

※送信先の企業IDは、お取引先様自身の企業IDを連絡してください。※1

(参考)仕入先へのIMDSデータ提出依頼の例

件名: IMDSデータご提出のお願い

下記部品(または材料)について、IMDSデータのご提出をお願いします。

IMDSのご対応が難しい場合は、すべての物質が記載された成分表をご提出ください。

※SDS(安全データシート、旧MSDS)は全ての物質が記載されておきませんので、SDSによる代用はできません。

部品番号(または材料コード): ABCDE

IMDSデータの送信先企業ID: 123456

ご提出期日: ○月×日

Yamaha Tarou

ABC Industry CO., LTD. **[123456]**

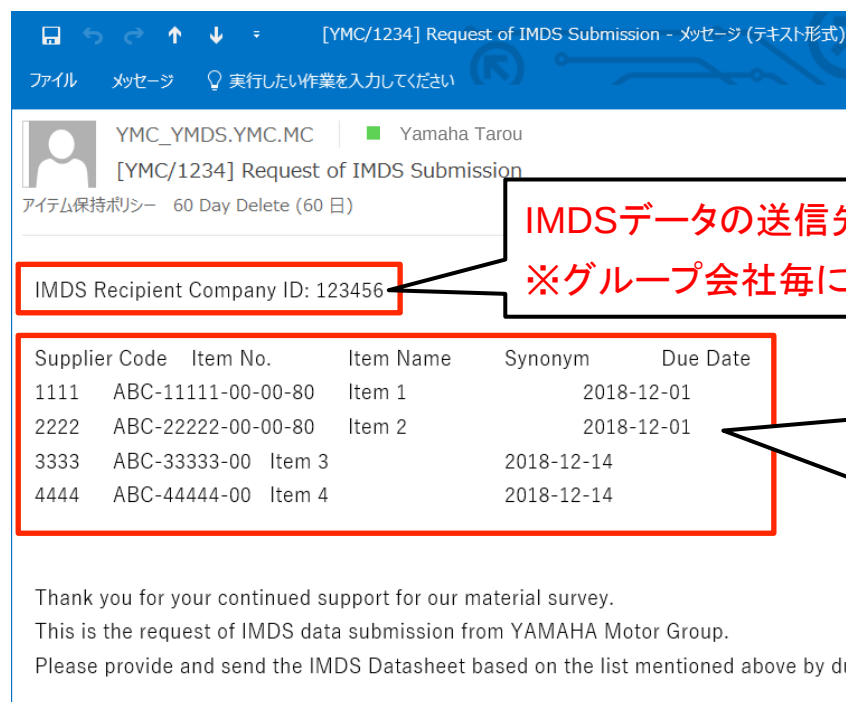
自社の企業IDはIMDSログイン後にページ左上に表示されます。

IMDSデータの提出を依頼する際は、自社の企業IDを仕入先に伝えてください。

※1 商社において仕入先から納入先に直接データ送信する場合は、納入先の企業IDを伝えてください。また、部品番号やサプライヤコードは納入先指定のコードを使用するよう仕入先に依頼し、納入先にはメーカーから直接送信する旨を事前に連絡してください。

当社からのIMDSデータご提出の依頼は、品番とサプライヤコードを指定して連絡致します。
ただし、材料変更に伴う追番改訂の場合は、当社からの連絡の有無に関わらず、購入品
品質保証マニュアルに則ってIMDSデータをご提出ください。

当社からのIMDSデータ提出依頼の例



[YMC/1234] Request of IMDS Submission - メッセージ (テキスト形式)

ファイル メッセージ 実行したい作業を入力してください

YMC_YMDS.YMC.MC Yamaha Tarou 21:14

[YMC/1234] Request of IMDS Submission

アイテム保持ポリシー 60 Day Delete (60 日)

IMDS Recipient Company ID: 123456

Supplier Code	Item No.	Item Name	Synonym	Due Date
1111	ABC-11111-00-00-80	Item 1		2018-12-01
2222	ABC-22222-00-00-80	Item 2		2018-12-01
3333	ABC-33333-00	Item 3		2018-12-14
4444	ABC-44444-00	Item 4		2018-12-14

Thank you for your continued support for our material survey.
This is the request of IMDS data submission from YAMAHA Motor Group.
Please provide and send the IMDS Datasheet based on the list mentioned above by due date.

システム配信※1の場合

- ・送信アドレス: SoC-System@yamaha-motor.co.jp
- ・メール件名: Request of IMDS Submission

IMDSデータの送信先企業ID

※グループ会社毎に異なります。送信先を間違えないよう、ご注意ください。

対象品目※2は本文中に記載または添付ファイルで送付します。

(参考)本文中に記載の場合、コピーしてエクセルに張り付けることで表となります。(セルの書式は文字列としてください)

※1 配信先に変更がある場合は、「IMDS窓口申請書.xlsx」をご提出ください。申請書は当社調達の担当バイヤーより入手してください。

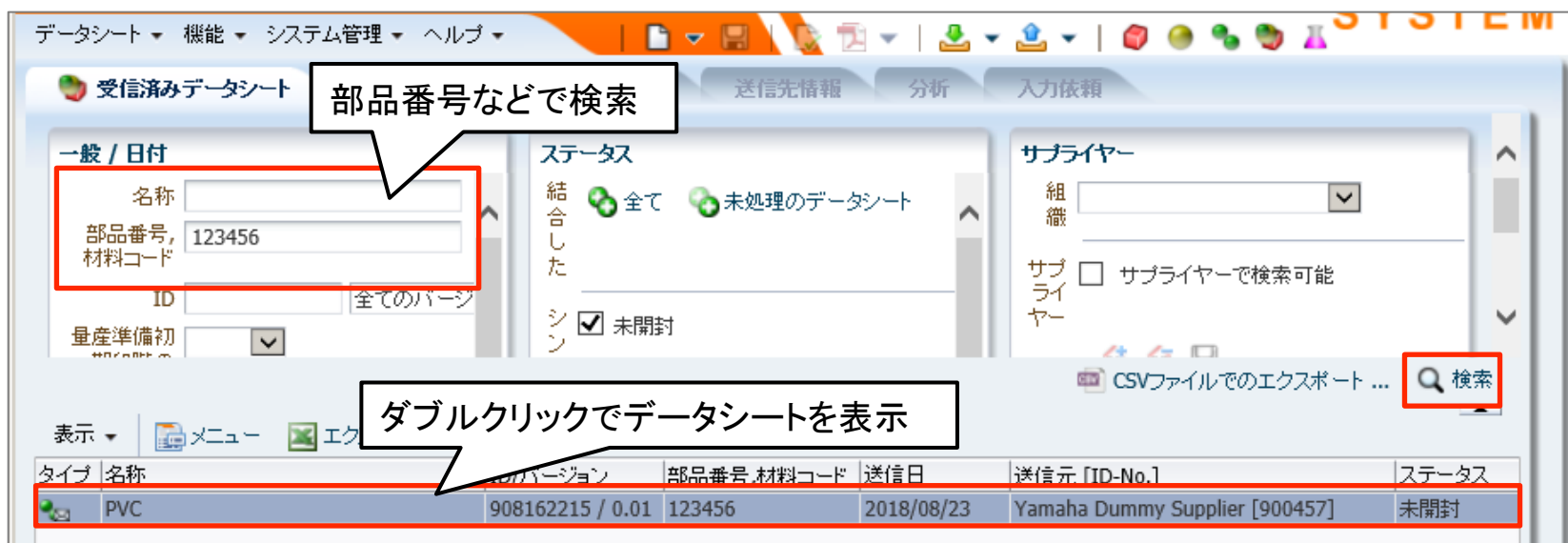
※2 部品構成は記載いたしません。実際の製品仕様に従ってデータを作成してください。構成情報が必要な場合は、配信メール記載の問合せ先にご連絡ください。

仕入先からIMDSデータを受信したら、本章の手順でデータの受領処理を行なってください。

(データ受信時、IMDSから通知の受取が可能です。設定方法は末尾の[参考資料](#)をご参照ください。)

※受信データの内容を必ず確認してください。(IMDSデータ受信時の内容確認参照)

- IMDSログイン後、画面左上「機能」の「受信済み一覧」から「データシート」を選択
- 部品番号などで検索し、ダブルクリックでデータを表示



データシートが開いたら、内容を確認し、承認または修正依頼します。

■ ボタンをクリックし、システムチェック実施

→警告がある場合は、内容確認

よくある警告への対応方法は末尾の[参考資料](#)をご参照ください。

■ 「データシート」メニューより、

- 問題が無ければ「承認」
- 修正が必要であれば「拒否」し、修正を依頼

システムチェック
を実施

内容を確認

※フィルター: GADSL時、赤色で表示される物質は、当社の管理基準「YGK-A-119 製品含有化学物質管理基準」において、一律又は条件付きで禁止する物質に該当します。YGK-A-119を参照し、禁止条件に該当しないことをご確認ください。

また、下線が引かれている物質は、欧州REACH規則において将来禁止となる可能性が高い物質（候補リスト物質/高懸念物質）を示しています。

内容確認後、
「承認」または
「拒否」をクリック

データの入力がIMDSの規則に沿っていない場合、警告が表示されます。
警告の表示されるデータは、内容が適切でない可能性が高いため、要確認

II b. 材料データシートの作成

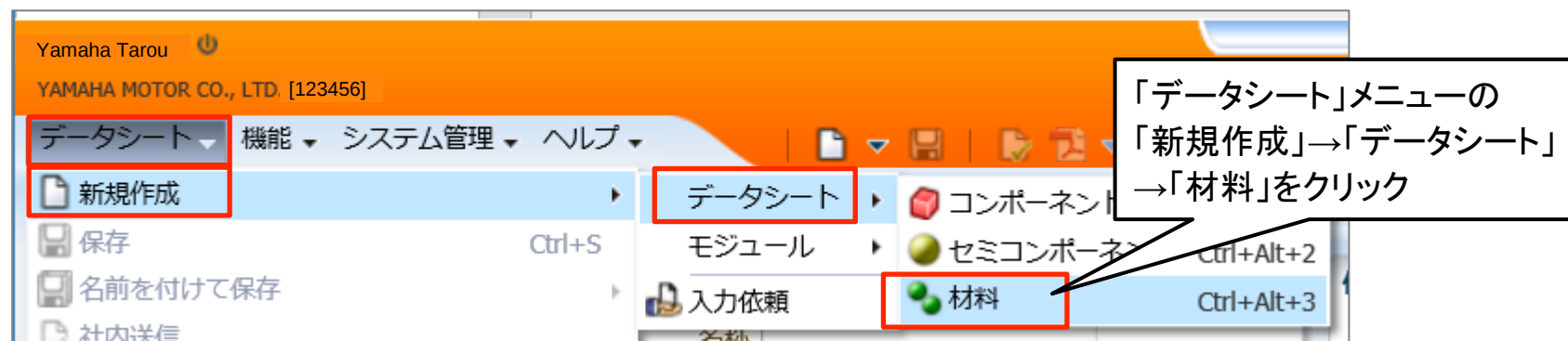
仕入先よりIMDS以外の形式(PDFやエクセルなど)で成分データを入手した場合は、該当データを本章の手順でIMDSに登録してください。

※ SDS(安全データシート、旧MSDS)は全ての物質を記載していない可能性があります。必ず、全ての物質の提出を仕入先に依頼してください。
企業秘密のため開示できない場合は「[\(補足II-3\)規制物質の含有確認](#)」をご参照ください。

入手した材料データの例

名称	CAS No	含有率、%
DEHP	117-81-7	30 - 35
PVC	-	60 - 70
その他	-	5 - 8

- IMDSログイン後、「データシート」から「新規作成」、「データシート」、「材料」を選択



※複合材料(セミコンポーネント)の作成方法は「[\(補足II-1\)複合材料のデータ作成](#)」を、
混合材料(樹脂など)の作成方法は「[\(補足II-2\)混合材料のデータ作成](#)」を参照してください。

II b. 材料データシートの作成

表示されるリストの中から、適切な材料分類※¹を選択してください。

- 適切な材料分類を選択し、「適用」をクリック
- 樹脂・ゴム材料の場合、記号※²を選択

※³

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

材料分類

材料分類	材料分類名称
5	Polymer materials
5.1	Thermoplastics
5.1.a	filled Thermoplastics
5.1.b	unfilled Thermoplastics
5.2	Thermoplastic elastomer
5.3	Elastomers / e
5.4	Duromers
5.4.1	Polyurethane
5.4.2	Unsaturated po
5.4.3	Other duromer
5.5	Polymeric compounds (e.g. inseparable laminated trim parts)

該当の材料分類を選択し、「適用」をクリック

適用

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

材料記号の指定

選択された材料分類につきましては、IMD ウィンダウを利用して材料名称と材料記号/略称を選択して下さい。

材料分類 unfilled Therm

基本重合体(ポリマー) ISO 1043-1 ☒ PVC

可塑剤 ISO 1043-3 (オプション) ☐

難燃剤 ISO 1043-4 (オプション) ☐

最終的な材料記号 PVC

また、材料記号を手動で入力することも可能です(最下段の入力フィールド)。これは一つ以上の充てん材で構成される材料の場合に必要です(例: グラスファイバー-GFやミネラルパウダー-MD)。
例: PA6-(GF15+MD10); この場合には手動で“(…+MD10)”を足す必要があります。

はい

樹脂・ゴム材料の場合、適切な材料記号を選択し、「はい」をクリック

※¹ 材料分類とは、鉄・アルミ・樹脂など、材質や機能による分類です。日本語訳は、「ヘルプ」→「よくあるお問い合わせ」→「IMDS材料分類日英対照表」をご参照ください。(リンク中のページ下部: <https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>)
詳しい内容はレコメンデーション“IMDS 001a”をご参照ください。(IMDSログイン後、「Help」→「レコメンデーション」をクリック)

ヘルプ

- オンラインユーザーマニュアル
- ビデオチュートリアル(英語)
- よくあるお問い合わせ
- レコメンデーション

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

レコメンデーション

バージョン 最新バージョンを表示 2025/08/19 表示

作成日	更新日	ナンバー	タイトル	日付	ダウンロード
2010/02/16	2021/05/19	IMDS 001a	General Structure Annex I	2021/05/19 -	001a [pdf] (日本語)

材料分類の詳細はレコメンデーション001aをご参照ください

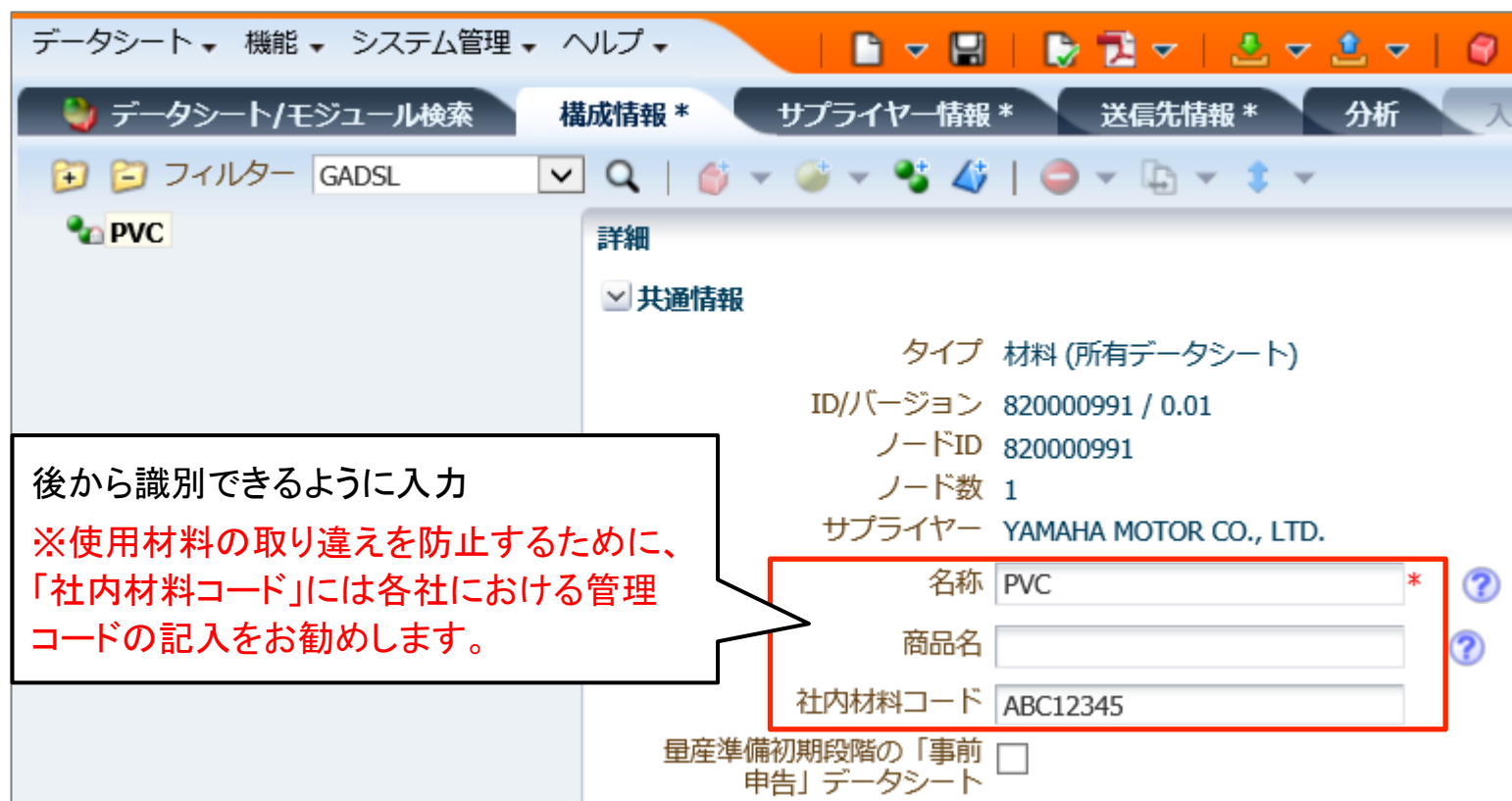
※² 樹脂・ゴムの材料記号は、ISO1043またはJIS K 6899をご参照ください。ご不明な場合は、材料メーカーにお問い合わせください。

※³ リサイクル情報；材料分類 5.xの場合は、材料データシートに直接入力する必要があります。

II b. 材料データシートの作成

新しいデータシートが開いたら、名称等を入力してください。

※名称、商品名、社内材料コードは、部品データシートの作成時に検索で使
用します。識別できるように、適宜設定してください。使用材料の取り違えを防止するために、
「社内材料コード」には各社における管理コードの記入をお勧めします。



データシート ▼ 機能 ▼ システム管理 ▼ ヘルプ ▼

データシート/モジュール検索 構成情報 * サプライヤー情報 * 送信先情報 * 分析 入力

フィルター GADSL

PVC

詳細

▼ 共通情報

タイプ 材料 (所有データシート)

ID/バージョン 820000991 / 0.01

ノードID 820000991

ノード数 1

サプライヤー YAMAHA MOTOR CO., LTD.

名称 PVC *

商品名

社内材料コード ABC12345

量産準備初期段階の「事前申告」データシート ☐

後から識別できるように入力
※使用材料の取り違えを防止するために、
「社内材料コード」には各社における管理
コードの記入をお勧めします。

II b. 材料データシートの作成



材料データシートに物質を追加します。

- 材料が選択されていることを確認し、化学物質の追加  をクリック
- 検索画面が開くので、CAS No.や名称等で該当の化学物質を検索し、適切な物質を選択して「適用」をクリック

データシート/モジュール検索

構成情報 *

サプライヤー情報 *

フィルター

GADSL



化学物質の追加
をクリック



PVC

材料が選択されていることを確認

入手した材料データの例

名称	CAS No	含有率、%
DEHP	117-81-7	30 - 35
PVC	-	60 - 70
その他	-	5 - 8

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

検索条件

名称 / 別名

CAS No. 117-81-7

EU-Index

EINECS-No.

化学物質は、CAS Noや名称で検索
「その他」は、CAS Noを「system」として検索

GADSL: 要申告

GADSL: 禁止物質

GADSL.org

グループ

「検索」をクリック



検索

表示

メニュー

エクスポート

名称	CAS No.	EU-Index	EINECS-No.	別名	GADSL / SVHC
Di-(2-ethylhexyl)phth...	117-81-7	-	204-211-0	Bis (2-ethyl(hexyl)phthalate) (DEHP)	DP/SVHC

検索結果から適切なものを選択し、「適用」をクリック



適用



キャンセル

II b. 材料データシートの作成

■ 化学物質が追加されたら、含有率を入力

前ページの操作を繰り返し、すべての物質を登録してください。

データシート 機能 システム管理 ヘルプ

データシート/モジュール検索 構成情報* サプライヤー情報* 送信先情報* 分析

フィルター GADSL

PVC

30.0 - 35.0% Di-(2-ethylhexyl)phthalat

化学物質を追加したら
含有率を入力

詳細

共通情報

タイプ 化学物質

名称 Di-(2-ethylhexyl)phthalat

数量と質量

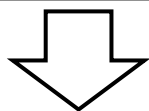
含有率 範囲値

30 - 35 %

代表値 32.5%

入手した材料データの例

名称	CAS No	含有率、%
DEHP	117-81-7	30 - 35
PVC	-	60 - 70
その他	-	5 - 8



データシート 機能 システム管理 ヘルプ

データシート/モジュール検索 構成情報* サプライヤー情報* 送信先情報*

フィルター GADSL

PVC

30.0 - 35.0% Di-(2-ethylhexyl)phthalat

60.0 - 70.0% PVC

5.0 - 8.0% Misc., not to declare

前ページを繰り返し、
すべての材料を登録

詳細

共通情報

タイプ 材料 (所有)

ID/バージョン 82000099

ノードID 82000099

ノード数 4

含有率の入力方法には3通り

範囲値 --- 幅を持たせて入力する場合

固定値 --- 固定の値を入力する場合

残部 ----- 残部を選択することにより、
100%から引き算した値を
自動的に計算

II b. 材料データシートの作成

続いて、データシート作成者の情報(コンタクトパーソン)を選択します。

- 「サプライヤー情報」タブをクリック
- コンタクトパーソンを選択※1



The screenshot shows the Yamaha MDS system interface. The top navigation bar includes tabs for 'データシート/モジュール検索', '構成情報*', 'サプライヤー情報*', '送信先情報*', '分析', and '入力依頼'. The 'サプライヤー情報*' tab is selected and highlighted with a red box. A callout bubble points to this tab with the text '「サプライヤー情報」タブをクリック'. Below the navigation bar, the 'PVC' material is selected. The main content area displays the '企業' (Company) information for 'YAMAHA MOTOR CO., LTD.' with fields for '企業ID 120146', 'DUNSナンバー -', and '会社の住所 2500 Shingai, 438-8501 Iwata, Shizuoka JP (Japan)'. The 'コンタクトパーソン' (Contact Person) section shows a dropdown menu with 'Yamaha Tarou' selected, highlighted with a red box. A callout bubble points to this dropdown with the text 'コンタクトパーソンを選択'.

※1 コンタクトパーソンが表示されない場合は、自社の管理者(カンパニーアドミニストレーター)に登録を依頼してください。詳細は下記 URL ページ下部の「IMDSトレーニングガイド」、「カンパニーアドミニストレーター編 1.2.2 コンタクトパーソン」を参照してください。
<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

II b. 材料データシートの作成

以上でデータシートの作成完了です。エラーチェックを実施して内容を確認してください。

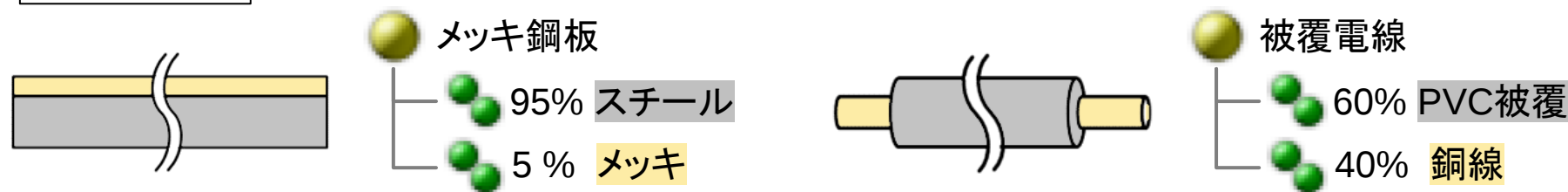
- ボタンをクリックし、データを一時保存
- ボタンをクリックし、エラーチェックを実施
→エラー/警告がある場合は、修正/内容確認
よくあるエラー/警告への対応方法は末尾の[参考資料](#)をご参照ください。
- エラー修正後、「データシート」メニューより「社内送信」を実施

フローチャートへ戻る

複合材料のデータを作成する場合は、予めそれぞれの材料データシートを作成し、次の手順で複合材料のデータシートを作成してください。

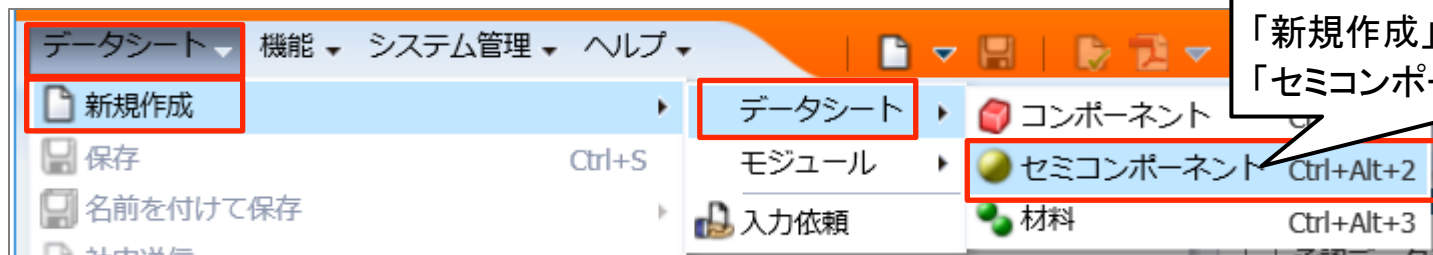
※複合材料とは、2つ以上の均質材料が積層されている材料のことです（例：メッキ鋼板、被覆電線など）。材料データシートは、均質材料毎に作成してください。

複合材料の例



※割合(%)は質量比で記入してください。

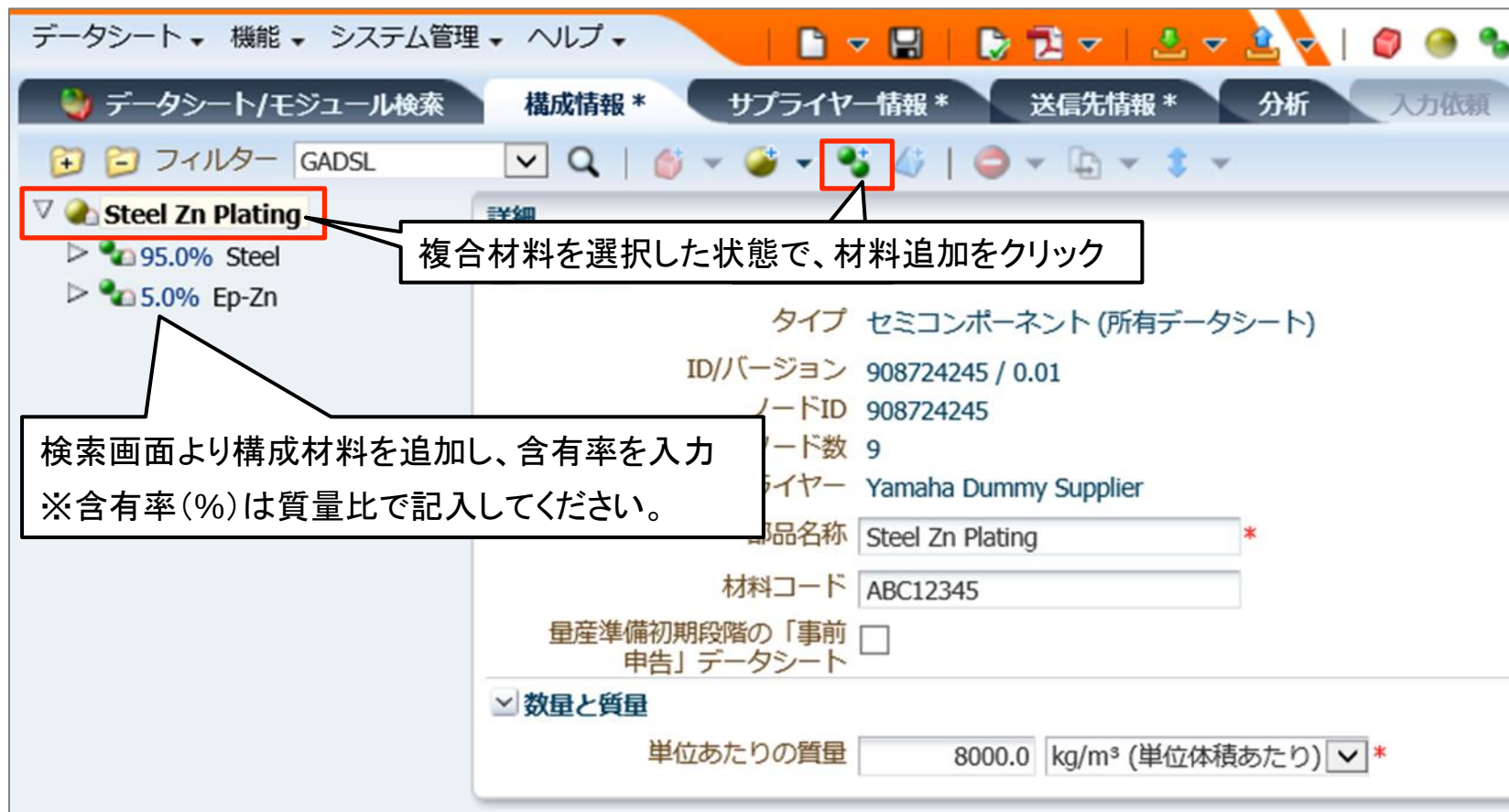
- 「データシート」から「新規作成」、「データシート」、「セミコンポーネント」を選択



「データシート」メニューの
「新規作成」→「データシート」→
「セミコンポーネント」をクリック

- 名称等を適宜設定し、複合材料が選択されている状態で材料追加  をクリック
- 検索画面が開くので材料を検索し、追加。含有率を入力

※操作方法は「[II b. 材料データシートの作成](#)」を参照してください。



The screenshot shows the Yamaha data entry system interface. The top menu bar includes 'データシート', '機能', 'システム管理', and 'ヘルプ'. Below the menu, there are tabs for 'データシート/モジュール検索', '構成情報*', 'サプライヤー情報*', '送信先情報*', '分析', and '入力依頼'. The 'データシート/モジュール検索' tab is active, showing a search filter 'GADSL' and a list of materials. The 'Steel Zn Plating' material is selected, and its details are displayed on the right. The details include 'タイプ セミコンポーネント (所有データシート)', 'ID/バージョン 908724245 / 0.01', 'ノードID 908724245', 'ノード数 9', 'サプライヤー Yamaha Dummy Supplier', '部品名称 Steel Zn Plating', '材料コード ABC12345', and '単位あたりの質量 8000.0 kg/m³ (単位体積あたり)'. A callout box points to the 'Steel Zn Plating' material in the list, stating '検索画面より構成材料を追加し、含有率を入力 ※含有率(%)は質量比で記入してください。'. Another callout box points to the 'Material Addition' button (a green circle with a plus sign), stating '複合材料を選択した状態で、材料追加をクリック'.

データシート ▼ 機能 ▼ システム管理 ▼ ヘルプ ▼

データシート/モジュール検索 構成情報* サプライヤー情報* 送信先情報* 分析 入力依頼

フィルター GADSL

Steel Zn Plating

95.0% Steel

5.0% Ep-Zn

タイプ セミコンポーネント (所有データシート)

ID/バージョン 908724245 / 0.01

ノードID 908724245

ノード数 9

サプライヤー Yamaha Dummy Supplier

部品名称 Steel Zn Plating *

材料コード ABC12345

量産準備初期段階の「事前申告」データシート ☐

数量と質量

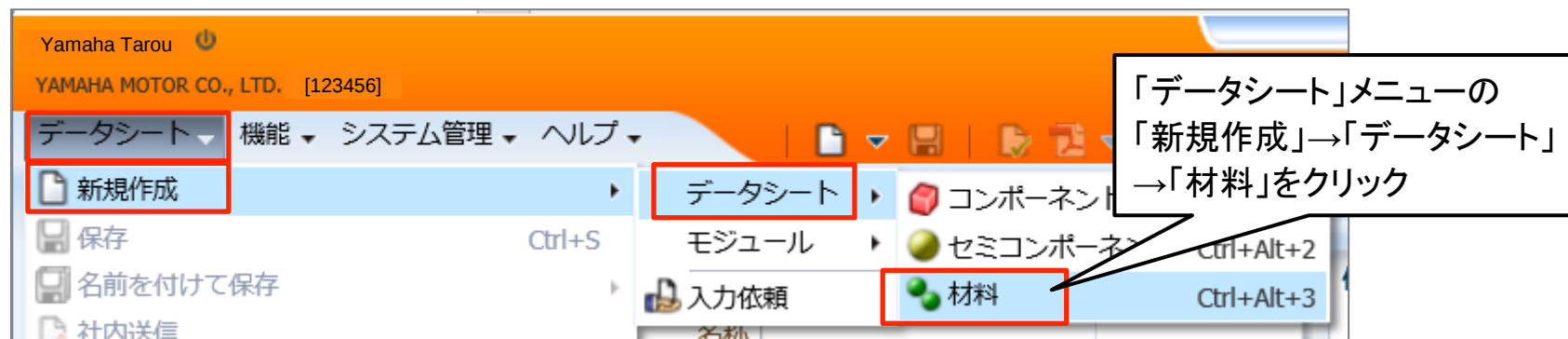
単位あたりの質量 8000.0 kg/m³ (単位体積あたり) *

カラー樹脂のように2つ以上の材料を混合して最終的な均質材料となる場合は、予めそれぞれの材料データシートを作成し、それを混合割合で参照して最終状態の材料データシートを作成します。

混合材料の例



- 「データシート」から「新規作成」、「データシート」、「材料」を選択



- 名称等を適宜設定し、混合後の材料が選択されている状態で材料追加  をクリック
- 検索画面が開くので材料を検索し、追加。含有率を入力

※操作方法は「[II b. 材料データシートの作成](#)」を参照してください。



The screenshot shows a software interface for creating material data sheets. The top navigation bar includes tabs for 'データシート/モジュール検索' (Data Sheet/Module Search), '構成情報*' (Composition Information*), 'サプライヤー情報' (Supplier Information), '送信先情報' (Destination Information), '分析' (Analysis), and '入力依頼' (Input Request). A search filter 'GADSL' is applied. On the left, a tree view shows a selected material 'PP (Black)' with a sub-item '97.0% PP (Natural)' and another '3.0% Black Pigment'. A red box highlights the 'PP (Black)' item, and a callout points to it with the text '検索画面より構成材料を追加し、混合割合を入力' (Add constituent material from search screen and input mixing ratio). Another red box highlights a green plus icon in the toolbar, with a callout pointing to it that says '混合後の材料を選択した状態で、材料追加をクリック' (Click material addition with the material after mixing selected). The right side of the screen displays fields for material details: 'タイプ' (Type) is '材料 (所有データシート)' (Material (All Data Sheet)), 'ID/バージョン' (ID/Version) is '908724246 / 0.01', 'ードID' (Part ID) is '908724246', 'ード数' (Part Number) is '7', 'サプライヤー' (Supplier) is 'Yamaha Dummy Supplier', '名称' (Name) is 'PP (Black)', '商品名' (Product Name) is empty, '社内材料コード' (In-house Material Code) is 'ABC12345', and a checkbox for '量産準備初期段階の「事前申告」データシート' (Pre-production 'Advance Declaration' Data Sheet for mass production preparation initial stage) is unchecked.

企業秘密のため材料メーカーより成分データの入手が困難な場合は、**該当材料が規制物質(GADSL※掲載物質)を含有するか確認し、結果に応じて次ページのように回答するよう、材料メーカーに依頼してください。**

※ GADSL (Global Automotive Declarable Substance List,自動車業界統一化学物質管理リスト):
禁止又は管理対象として規定される物質のリスト。日欧米の自動車メーカー、自動車部品サプライヤ、化学メーカーから構成されたGASG(Global Automotive Stakeholders Group)によって制定され、1回/年改訂される。

リストはウェブサイトより入手可能(<http://www.gadsl.org/>)

規制物質のリスト



材料メーカー



物質	CAS No	含有率
成分A	XXXX-XX-X	○%
成分B	YYYY-YY-Y	□%
成分C	ZZZZ-ZZ-Z	△%

確認

材料メーカーに、GADSL掲載物質の含有確認を依頼してください。

	GADSL #	REF #	Substance	CAS RN
1	1	1	Acetaldehyde	75-07-0
2	2	2	Acetamide, N-methyl-	79-16-3
3	3	3	Acetonitrile	75-05-8
4	4	4	Acrylamide	79-06-1

A) 規制物質 (GADSL掲載物質) を含有する場合

該当物質のCAS Noと含有率を正確にご回答ください。規制対応に必要な情報です。

B) GADSLに記載がない物質

秘匿が可能です。IMDSは合計100%のデータ登録が必要なため、一般名称と含有率をご回答ください。(10%以下は「その他」も可能です)

また、GADSLの改訂時、材料メーカーは秘匿した物質が新しく掲載されたか確認し、GADSLに掲載された場合は自発的な情報更新が必要です。※1

【ご回答例】

 樹脂	主成分: PA6	70~80 %
	充填剤: GF Fibre	10~15 %
	可塑剤: DEHP ZZZ-ZZ-Z	10 % ←
	その他: 機密扱い	5 %

 オイル	主成分: Ester oil	80~90 %
	増粘剤: Li soap	5~10 %
	添加剤: MCCP ZZZZ-ZZ-Z	3 % ←
	その他: 機密扱い	2 %

A) 規制物質はCAS Noと含有率のご回答必須

B) 規制対象でない物質は、一般名称やその他としてご回答ください(その他は10%まで)

※1 詳細はIMDSの規則(IMDS 001)の「規則3.2.1.D」をご参照ください(データシートの改訂に関する基本規則) 更新管理のため、材料メーカーもIMDSを使用し、「機密扱い」という機能の使用を推奨します([参考資料参照](#))

フローチャートへ戻る 

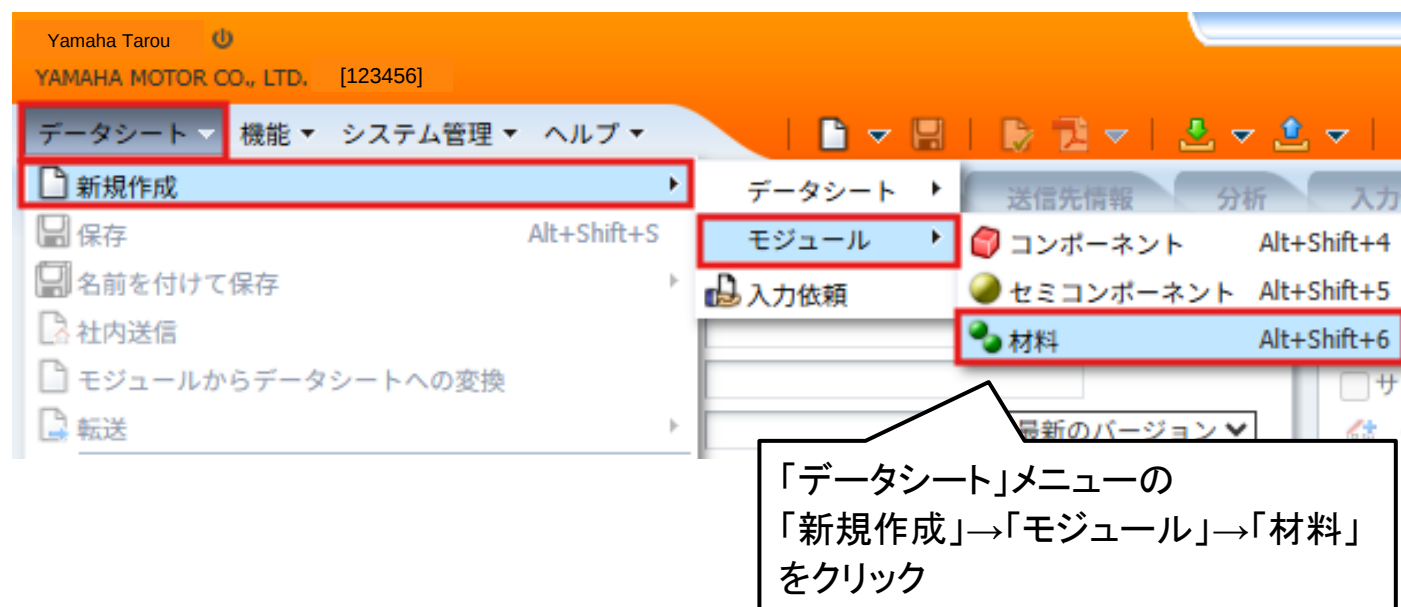
II c. 支給材料データの作成

対象部品が当社からの支給材料を使用している場合、本章の手順で支給材料のデータシートを作成後、「[III a. 部品データシートの作成](#)」に進んでください。

※事前に、該当材料の材料コードをご確認ください。

材料コードは、Gから始まる7桁のコードで、実際の材料取引で使用するコードと同一です。
(SGから始まる場合は頭のSを取ったG以降の7桁)

- IMDSログイン後、「データシート」から「新規作成」、「モジュール」、「材料」を選択



II c. 支給材料データの作成

表示されるリストの中から、支給材料の種類に応じて適切な材料分類を選択してください。

※材料分類とは、鉄・アルミ・樹脂など、材質や機能による分類です。日本語訳は、「ヘルプ」→「よくあるお問い合わせ」→「IMDS材料分類日英対照表」をご参照ください。（下記リンク中のページ下部）

<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

- 該当の材料分類を選択し、「適用」をクリック
- 樹脂・ゴム材料の場合、記号を選択※1

※2

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

材料分類

材料分類	材料分類名称
5	Polymer materials
5.1	Thermoplastics
5.1.a	filled Thermoplastics
5.1.b	unfilled Thermoplastics
5.2	Thermoplastic elastomer
5.3	Elastomers / e
5.4	Duromers
5.4.1	Polyurethane
5.4.2	Unsaturated po
5.4.3	Other duromer
5.5	Polymeric compounds (e.g. inseparable laminated trim parts)

該当の材料分類を選択し、「適用」をクリック

✓ 適用

材料分類の日本語訳はありますか？

以下のファイルが日本語参考訳です。

材料分類の日本語訳

IMDS材料分類日英対照表(PDF形式)

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

材料記号の指定

選択された材料分類につきましては、IMDS
ロップダウンメニューを利用して材料名称
料に適した材料記号/略称を選択して下さい

材料分類 unfilled Thermop

基本重合体(ポリマー) ISO 1043-1

PP

可塑剤 ISO 1043-3 (オプション) ☐

難燃剤 ISO 1043-4 (オプション) ☐

最終的な材料記号 PP

また、材料記号を手動で入力することも可能です(最下段の入力フィールド)。これは一
つ以上の充てん材で構成される材料の場合に必要です(例: グラスファイバー-GFやミネラ
ルパウダー-MD)。

例: PA6-(GF15+MD10); この場合には手動で"(...+MD10)"を足す必要があります。

樹脂・ゴム材料の場合、
該当の材料記号を選択し、
「はい」をクリック

✓ はい

※1 樹脂・ゴムの材料記号は、ISO1043またはJIS K 6899をご参照ください。ご不明な場合は、IMDSデータ提出の依頼元にお問合せください。

※2 支給材料における、材料分類 5.xのリサイクル情報は、「材料にリサイクル情報が含まれますか？」の問に「いいえ」でお答えください。

材料にリサイクル材が含まれますか？

未回答

はい

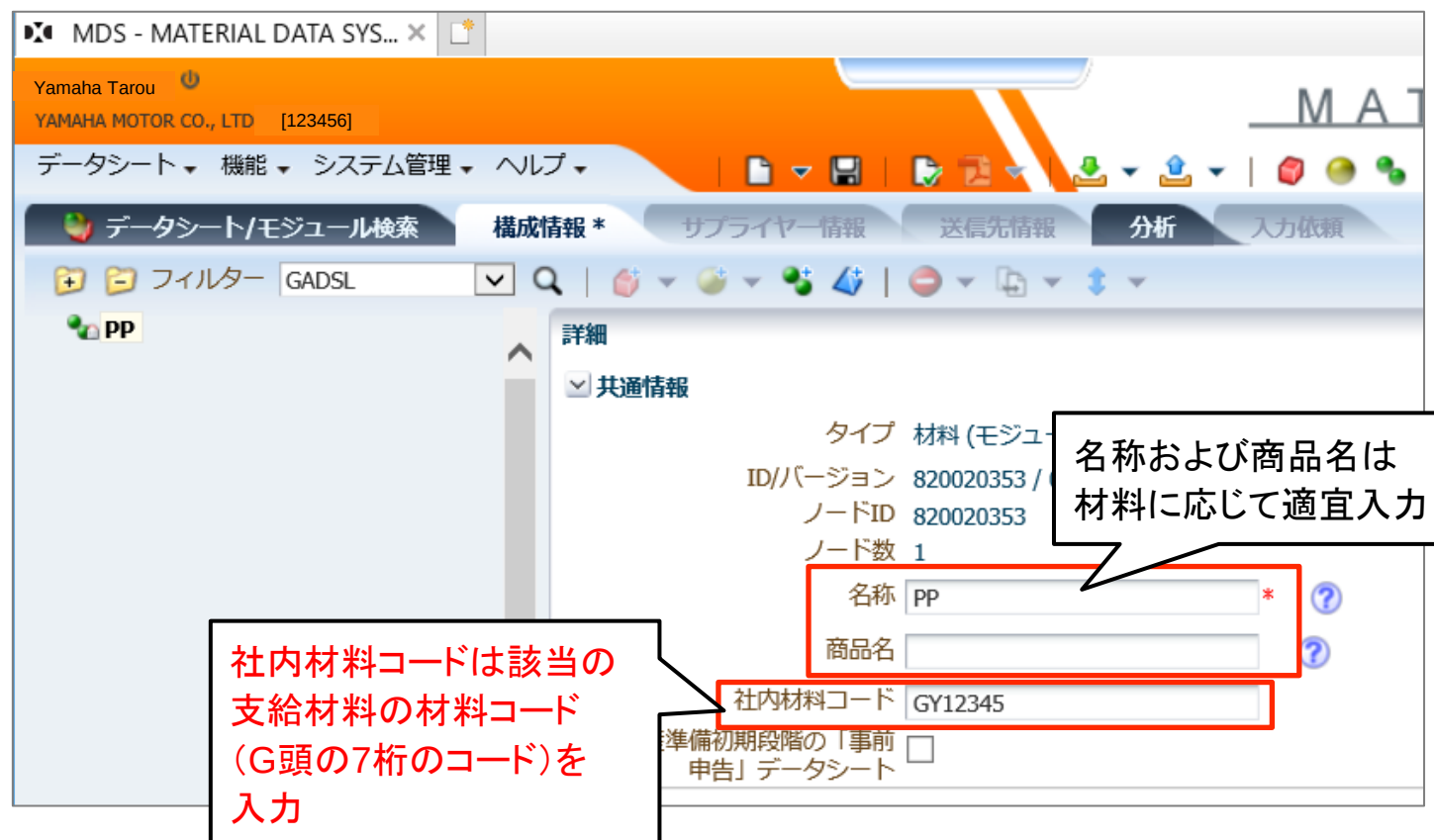
いいえ

割合 0.0 *

II c. 支給材料データの作成

新しいデータシートが開いたら、名称等を入力してください。

- 名称、商品名は材料に応じて適宜入力
- 社内材料コードに、支給材料の材料コードを入力(Gから始まる7桁のコード)



The screenshot shows the MDS - MATERIAL DATA SYS... application interface. The top bar includes the Yamaha Tarou logo and the company name YAMAHA MOTOR CO., LTD. [123456]. The main menu has options like データシート, 機能, システム管理, and ヘルプ. The left sidebar shows a filter set to GADSL and a list of materials, with 'PP' selected. The main area displays the '構成情報*' (Composition Information) tab, showing details for a material (Material (Module)). The details include:

- タイプ: 材料 (モジュール)
- ID/バージョン: 820020353 /
- ノードID: 820020353
- ノード数: 1

Below these details are input fields for:

- 名称 (Name): PP
- 商品名 (Product Name):
- 社内材料コード (Internal Material Code): GY12345

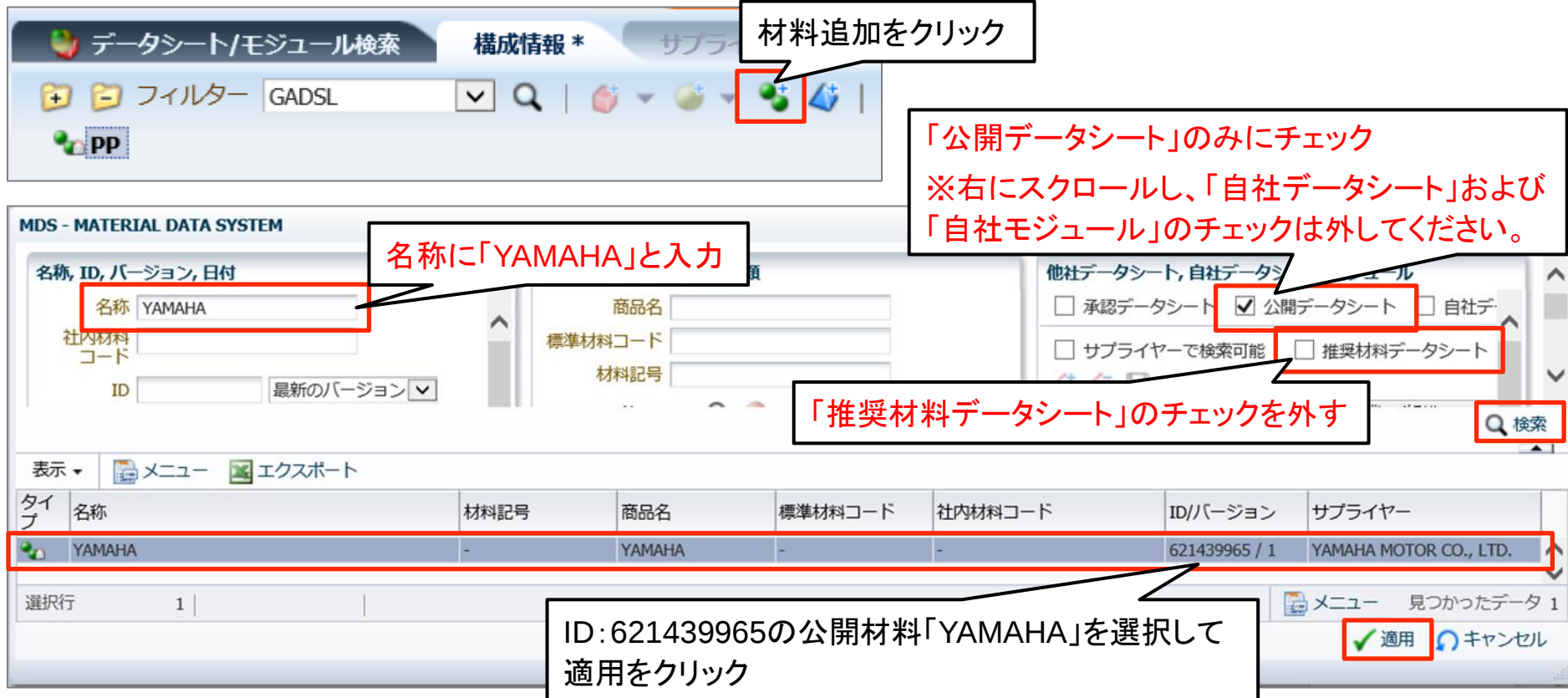
There are also checkboxes for '準備初期段階の「事前申告」データシート' (Data Sheet for 'Pre-report' in the initial preparation stage) and a '詳細' (Details) button. Red boxes and callouts highlight the input fields and provide instructions:

- A red box around the '名称' and '商品名' fields is accompanied by a callout: 名称および商品名は材料に応じて適宜入力 (Enter appropriate name and product name according to the material).
- A red box around the '社内材料コード' field is accompanied by a callout: 社内材料コードは該当の支給材料の材料コード (G頭の7桁のコード) を入力 (Enter the internal material code, which is the material code of the supplied material (7-digit code starting with G)).

II c. 支給材料データの作成

支給材料であることを識別するために、公開材料の「YAMAHA」を追加してください。

- 材料追加  をクリック
- 検索画面が開くので、名称に「YAMAHA」と入力し、検索範囲は「公開データシート」のみにチェックを付け、「推奨材料データシート」のチェックを外して検索
- ID:621439965の公開材料「YAMAHA」を選択して適用をクリック



The screenshot shows the MDS - MATERIAL DATA SYSTEM interface. The top bar includes a search filter set to 'GADSL' and a '材料追加をクリック' (Click to add material) button. The main search area has a text input field for '名称' (Name) containing 'YAMAHA'. To the right, a list of checkboxes allows selecting the search scope: '承認データシート' (unchecked), '公開データシート' (checked), '自社データシート' (unchecked), 'サブライヤーで検索可能' (unchecked), and '推奨材料データシート' (unchecked). A '検索' (Search) button is at the bottom right. Below the search area, a table displays the search results. The first row is highlighted with a red border and contains the following data:

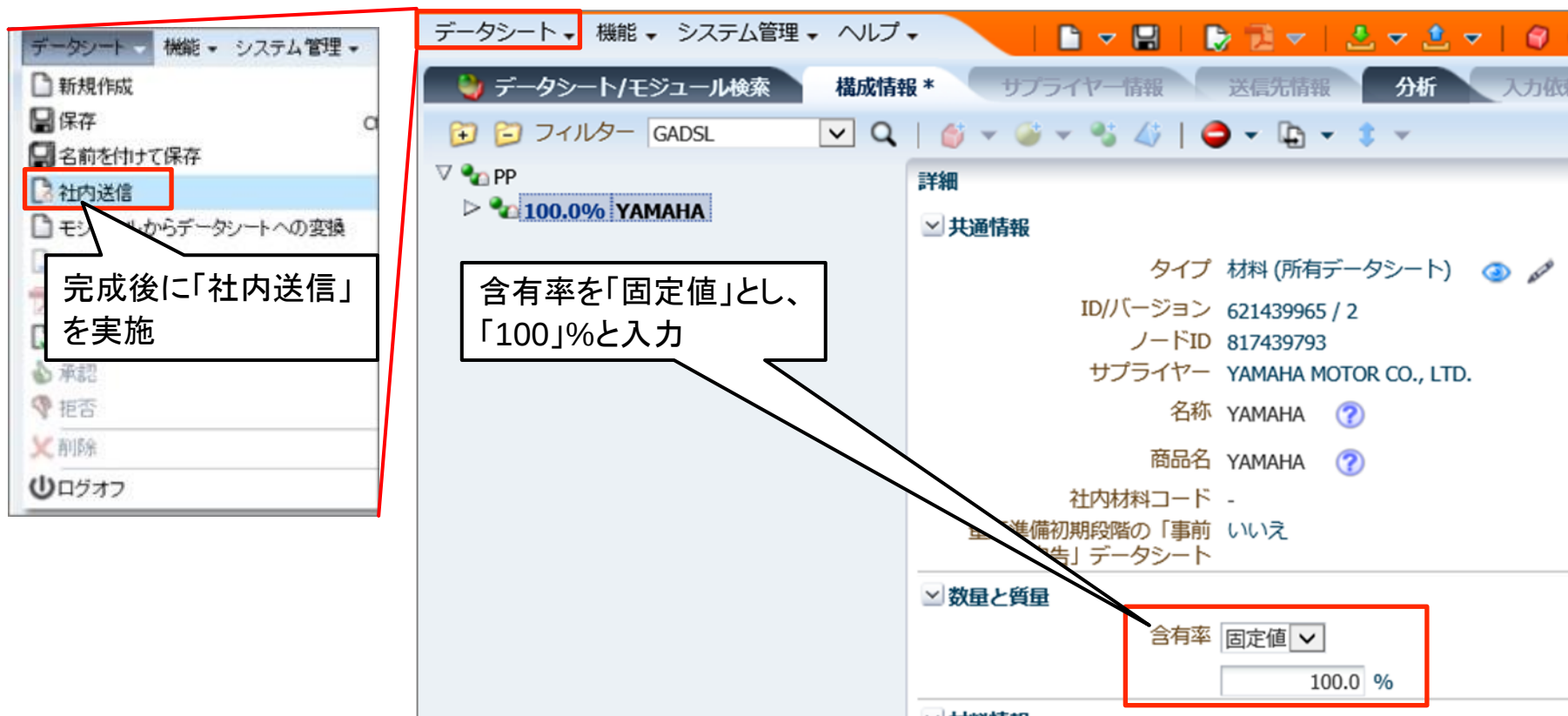
タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー
	YAMAHA	-	YAMAHA	-	-	621439965 / 1	YAMAHA MOTOR CO., LTD.

At the bottom of the interface, there are buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel). Annotations with arrows point to the '材料追加' button, the 'YAMAHA' input field, the '公開データシート' checkbox, the '推奨材料データシート' checkbox, and the first row of the search results table.

II c. 支給材料データの作成

公開材料「YAMAHA」を追加したら、含有率を100%を入力し、社内送信してください。

- 含有率を「固定値」とし、100%と入力
- 「データシート」より「社内送信」を実施※1



完成後に「社内送信」を実施

含有率を「固定値」とし、「100」%と入力

タイプ 材料 (所有データシート)
ID/バージョン 621439965 / 2
ノードID 817439793
サプライヤー YAMAHA MOTOR CO., LTD.
名称 YAMAHA
商品名 YAMAHA
社内材料コード -
準備初期段階の「事前いいえ」データシート

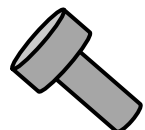
数量と質量
含有率 固定値
100.0 %

※1 警告メッセージが表示されますが、無視して社内送信を実施してください。

III a. 部品データシートの作成

材料データの収集・作成が完了したら、本章の手順に従って部品データを作成してください。この章では、単品のデータシート作成方法を説明します。複合部品はまず本章の手順で構成部品を作成後、「III c. 複合部品データの作成」に進んでください。

部品の例



ボルト

亜鉛メッキ(化成処理有)



10g Bolt



9.5 g Steel

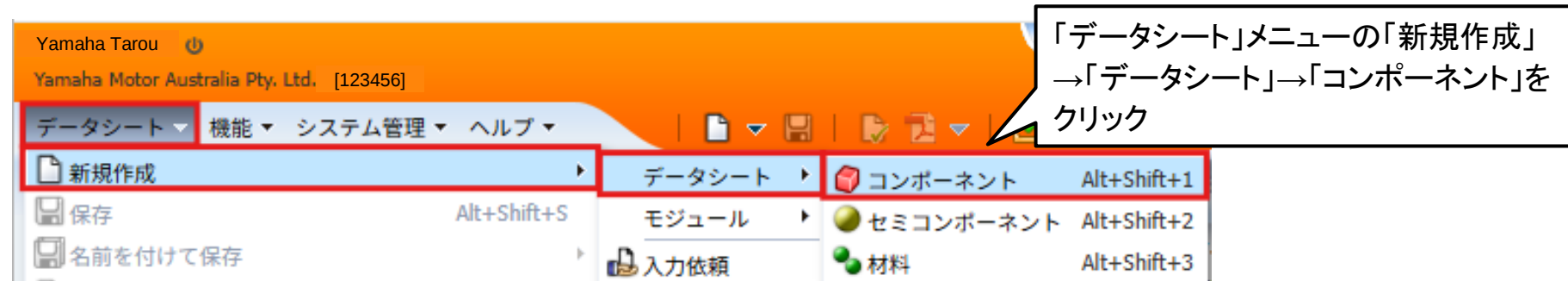


0.4 g Zn Plating



0.1 g Passivation

■ 「データシート」から「新規作成」、「データシート」、「コンポーネント」を選択

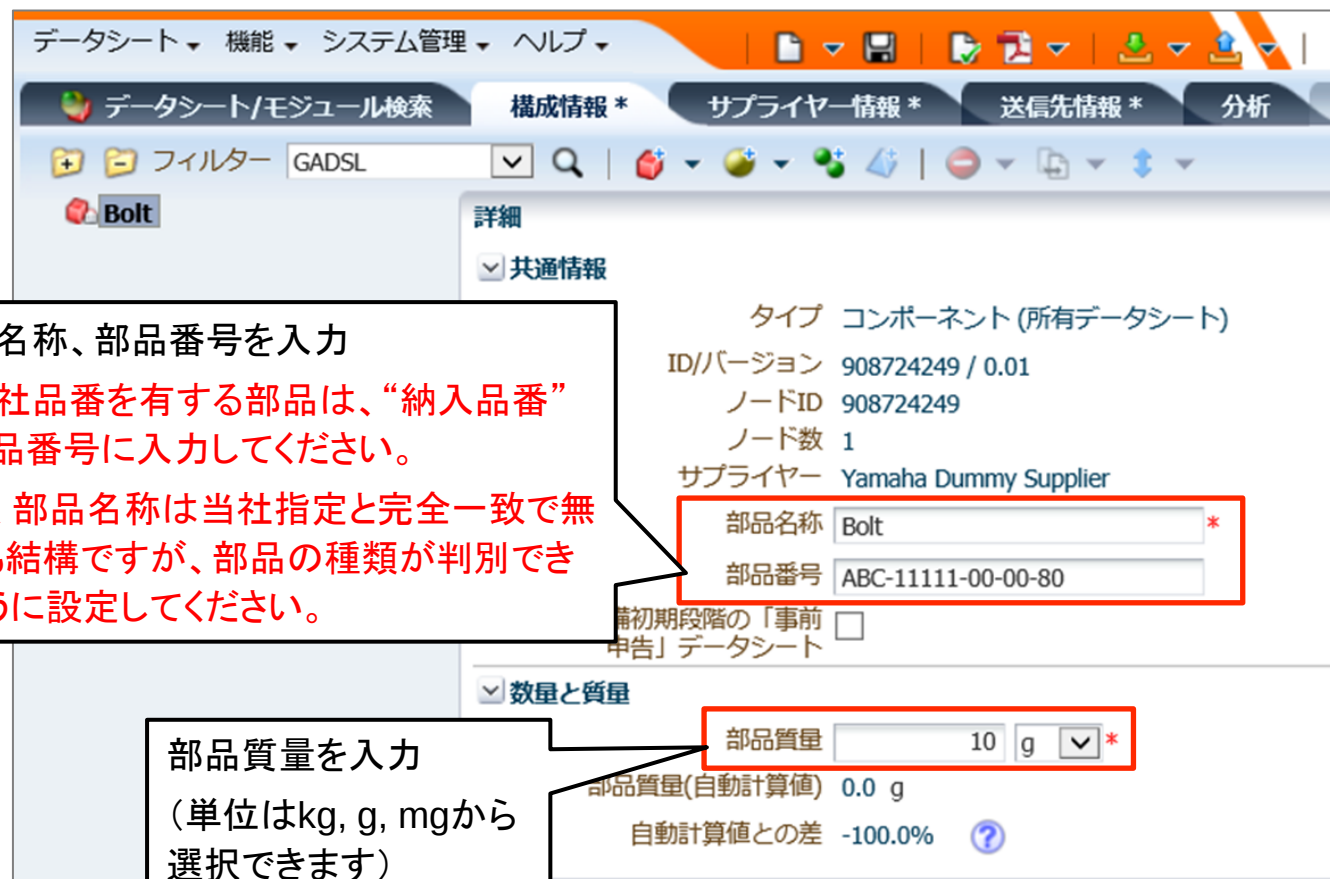


※部品のデータを作成する際は、必ず「コンポーネント(🟥)」で作成してください。
セミコンポーネント(🟢)は部品としてではなく材料として扱います。
お間違いの無いようご注意ください。

III a. 部品データシートの作成

新しいデータシートが開いたら、部品名称、部品番号、部品質量を入力してください。

※当社品番を有する部品は、取引で使用する“納入品番”を部品番号に入力してください。
お取引先様における運用上、このページ(構成情報)に当社品番を 入力できない場合は、
「[IV a. データ送信](#)」において送信先情報ページに当社品番を入力し、データをご送付ください。



データシート 機能 システム管理 ヘルプ

データシート/モジュール検索 構成情報 * サプライヤー情報 * 送信先情報 * 分析

フィルター GADSL Bolt

詳細 共通情報

タイプ コンポーネント (所有データシート)

ID/バージョン 908724249 / 0.01

ノードID 908724249

ノード数 1

サプライヤー Yamaha Dummy Supplier

部品名称 Bolt *

部品番号 ABC-11111-00-00-80

初期段階の「事前申告」データシート ☐

数量と質量

部品質量 10 g *

部品質量(自動計算値) 0.0 g

自動計算値との差 -100.0% ?

部品名称、部品番号を入力

※当社品番を有する部品は、“納入品番”を部品番号に入力してください。

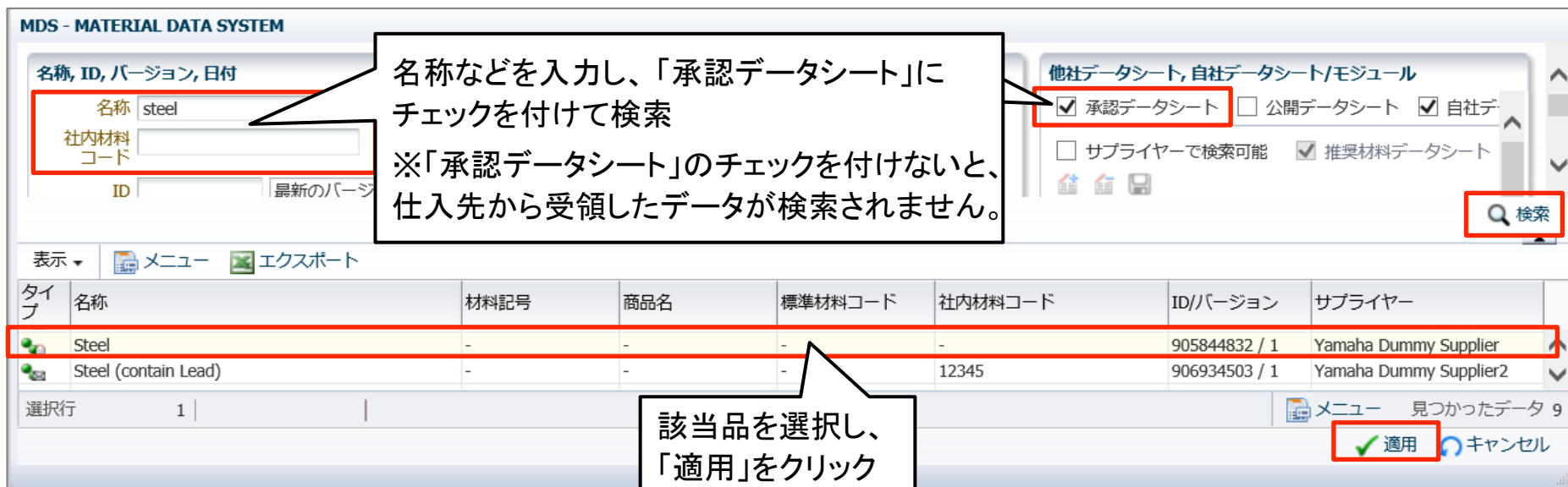
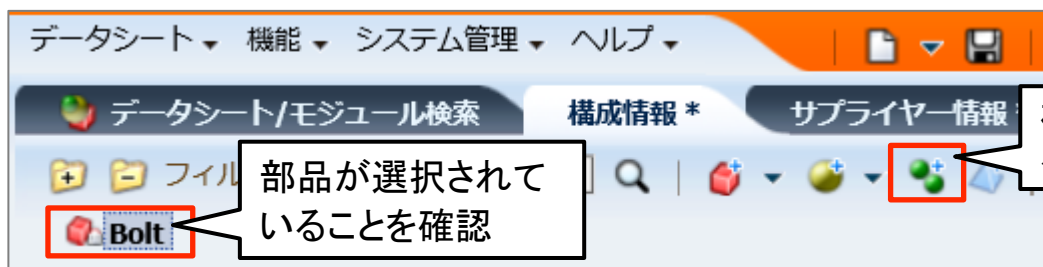
また、部品名称は当社指定と完全一致でなくても結構ですが、部品の種類が判別できるように設定してください。

部品質量を入力
(単位はkg, g, mgから選択できます)

III a. 部品データシートの作成

部品に材料を登録します。

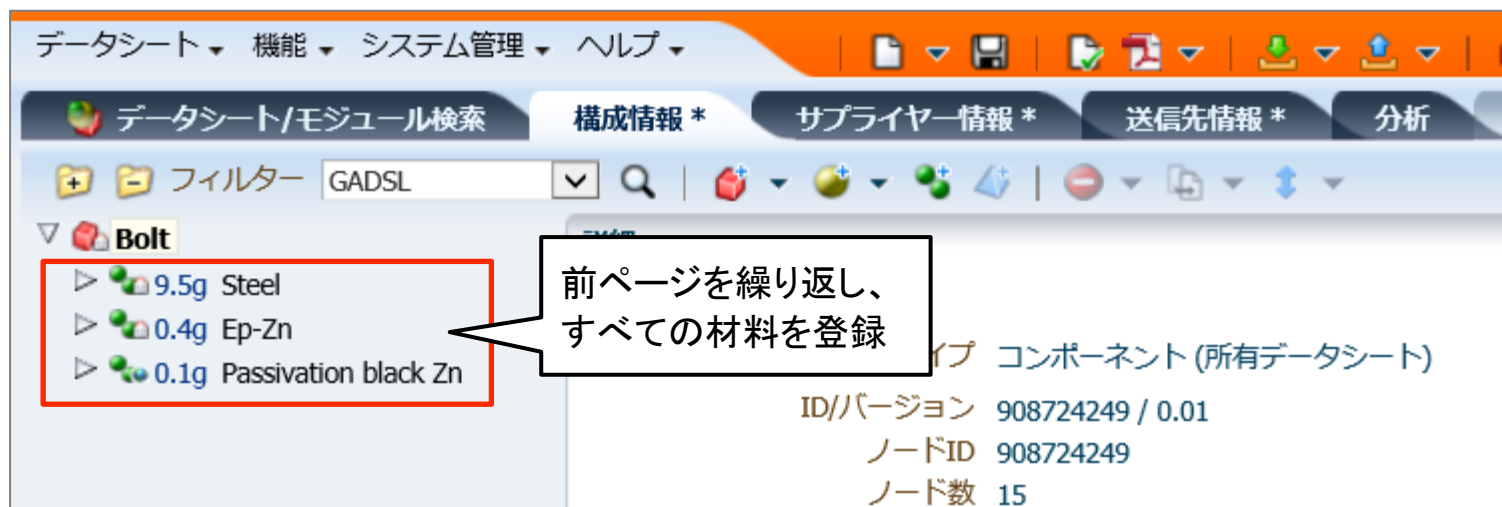
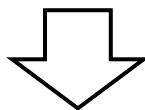
- 部品が選択されていることを確認し、材料追加  をクリック
(複合材料を追加する場合は、セミコンポーネント追加  をクリック)
- 検索画面が開くので、名称等を入力し、「承認データシート」にチェックを入れて検索し、適切な材料を選択して「適用」をクリック



III a. 部品データシートの作成

- 材料が登録されるので、使用量(質量)を入力

前ページの操作を繰り返し、すべての材料を登録してください。



一般工業規格で成分が規定されている材料を使用している場合、IMDSの標準材料シートを使用することもできます。標準材料シートは次のように検索します。

- 名称に工業規格の材料名称を入力
- 「公開データシート」および「サプライヤーで検索可能」にチェックをつけて「検索」

材料検索

構成情報

サプライヤー情報

送信先情報

分析

入力依頼

名称, ID, バージョン, 日付

材料規格, 材料記号, 材料分類

他社データシート, 自社データシート/モジュール

名称

社内材料コード

ID 最新のバージョン

量産準備初期段階の「事前申告」データシート (Preliminary MDS)

使用言語

商品名

標準材料コード

材料記号

Norm

材料分類

☐ 承認データシート ☒ 公開データシート ☒ 自社データシート

☒ サプライヤーで検索可能 ☒ 推奨材料データシート

サプライヤー	企業ID/組織ID
DS-Committee	423
DS-Committee	18986
ahl und Eis	313

名称等を入力し、「公開データシート」および「サプライヤーで検索可能」にチェックを付けて検索

検索

表示

メニュー

エクスポート

タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー
	SCM415	-	-	SCM415	-	11894424 / 2	IMDS-Committee / ILI Metals
	SCM415H	-	-	SCM415H	-	11894426 / 3	IMDS-Committee / ILI Metals
	SCM415HRCH	-	-	SCM415HRCH	-	384830658 / 1	IMDS-Committee / ILI Metals
	SCM415M	-	-	SCM415M	-	11894427 / 4	IMDS-Committee / ILI Metals
	SCM415RCH	-	-	-	-	384830657 / 1	IMDS-Committee / ILI Metals

選択行 1

「IMDS-Committee」によって用意された一般工業規格のデータも使用できます

メニュー

見つかったデータ 5

III a. 部品データシートの作成

続いて、データシート作成者の情報(コンタクトパーソン)を選択します。

■ 「サプライヤー情報」タブをクリック

■ コンタクトパーソンを選択※1



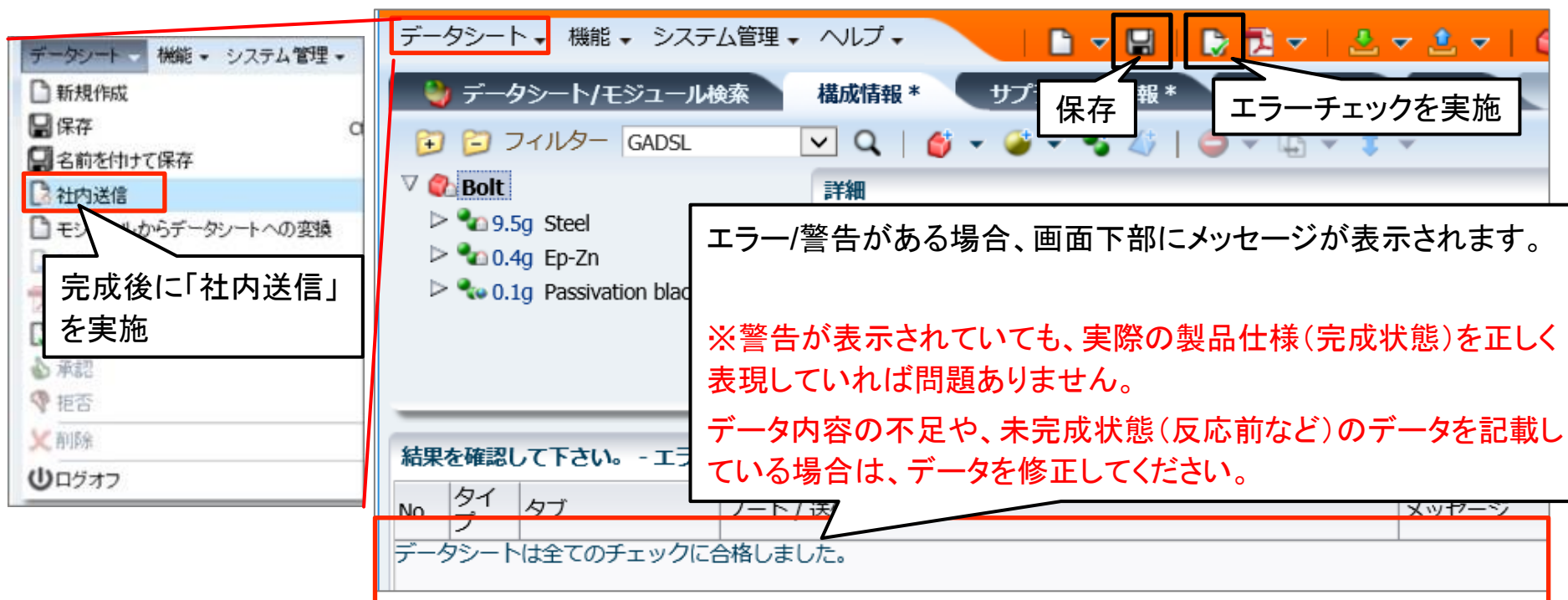
The screenshot shows the Yamaha MDS system interface. The top navigation bar includes tabs for 'データシート/モジュール検索', '構成情報*', 'サプライヤー情報*', '送信先情報*', '分析', and '入力依頼'. The 'サプライヤー情報*' tab is selected and highlighted with a red box. A callout bubble points to this tab with the text 「サプライヤー情報」タブをクリック. Below the navigation bar, the 'Bolt' data sheet is displayed. The '企業' (Company) section shows 'YAMAHA MOTOR CO., LTD.' with '企業ID 120146' and 'DUNSナンバー -'. The '会社住所' (Company Address) is '2500 Shingai, 438-8501 Iwata, Shizuoka, JP (Japan)'. The 'コンタクトパーソン' (Contact Person) section shows a dropdown menu with 'Yamaha Tarou' selected, highlighted with a red box. A callout bubble points to this dropdown with the text コンタクトパーソンを選択. Below the dropdown, the contact information is displayed: 'Eメール Yamaha@yamaha-motor.co.jp', '電話番号 +81-538-32-9905', and 'FAX番号 -'.

※1 コンタクトパーソンが表示されない場合は、自社の管理者(カンパニアドミニストレーター)に登録を依頼してください。詳細は下記 URL ページ下部の「IMDSトレーニングガイド」、「カンパニアドミニストレーター編 1.2.2 コンタクトパーソン」を参照してください。
<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

III a. 部品データシートの作成

以上でデータシートの作成完了です。エラーチェックを実施して内容を確認してください。

-  ボタンをクリックし、データを一時保存
-  ボタンをクリックし、エラーチェックを実施
→エラー/警告がある場合は、修正/内容確認
よくあるエラー/警告への対応方法は末尾の[参考資料](#)をご参照ください
- エラー修正後、「データシート」メニューより「社内送信」を実施



The screenshot shows the software interface for creating data sheets. On the left, a sidebar menu has '社内送信' (Internal Transmission) highlighted, with a callout box stating '完成後に「社内送信」を実施' (Perform 'Internal Transmission' after completion). The main window has a top toolbar with '保存' (Save) and 'エラーチェックを実施' (Perform Error Check) buttons, both highlighted with callout boxes. The main area displays a list of items under 'Bolt', including '9.5g Steel', '0.4g Ep-Zn', and '0.1g Passivation black'. At the bottom, a message box states 'データシートは全てのチェックに合格しました。' (The data sheet has passed all checks).

エラー/警告がある場合、画面下部にメッセージが表示されます。

※警告が表示されていても、実際の製品仕様(完成状態)を正しく表現していれば問題ありません。

データ内容の不足や、未完成状態(反応前など)のデータを記載している場合は、データを修正してください。

III b. 支給部品データの作成

対象部品が当社からの支給部品を使用している場合※¹は、本章の手順で支給部品のデータシートを作成後、「III c. 複合部品データの作成」に進んでください。

※支給部品データシートには、該当部品の当社品番(納入品番)を入力してください。※²

- 「データシート」から「新規作成」、「モジュール」、「コンポーネント」を選択
- 部品名称、部品番号、部品質量に支給部品の情報を入力

※該当の支給部品の実際の値を入力してください。



The screenshot shows the software interface for creating a data sheet. The top menu bar includes 'データシート' (Data Sheet), '機能' (Function), 'システム管理' (System Management), and 'ヘルプ' (Help). The 'データシート' menu is open, showing options like '新規作成' (New), '保存' (Save), '名前を付けて保存' (Save with name), and '社内送信' (Intranet Send). The '新規作成' option is highlighted, and a sub-menu is shown with 'モジュール' (Module) and 'コンポーネント' (Component) selected. A callout box explains: 「データシート」メニューの「新規作成」→「モジュール」→「コンポーネント」をクリック (Click 'New' in the 'Data Sheet' menu → 'Module' → 'Component').

The main window is titled 'データシート/モジュール検索' (Data Sheet/Module Search). It has tabs for '構成情報*' (Configuration Information*), 'サプライヤー情報' (Supplier Information), '送信先情報' (Destination Information), '分析' (Analysis), and '入力依頼' (Input Request). The '構成情報*' tab is active, showing a search filter 'GADSL' and a list of items. 'Item 1' is selected. The '詳細' (Details) section is expanded, showing fields for '部品名称' (Part Name), '部品番号' (Part Number), and '部品質量' (Part Weight). The '部品名称' field contains 'Item 1', the '部品番号' field contains 'ABC-11111-00-00-80', and the '部品質量' field contains '100 g'. A callout box explains: 部品名称、部品番号、部品質量に支給部品の情報を入力 ※実際の値を入力してください。 (Enter the information of the supplied part in the Part Name, Part Number, and Part Weight fields ※Enter the actual value).

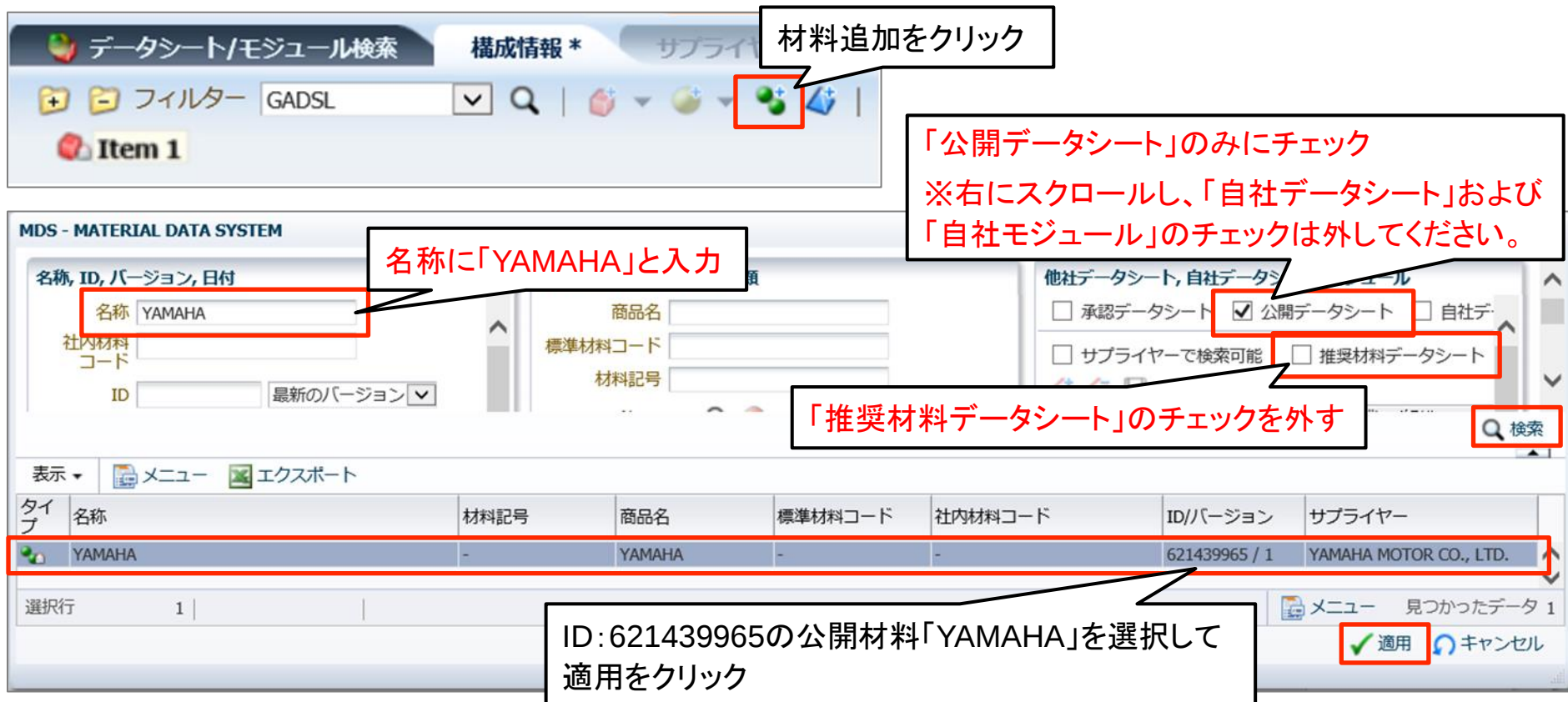
※¹ 当社が支給する素材部品に加工を施す場合も、本章の手順で支給部品データを作成し、「III c. 複合部品のデータの作成」に進んでください。尚、部品質量は加工後の質量を入力してください。

※² 支給部品の品番がご不明な場合は、IMDSデータ提出の依頼元にお問合せください。

III b. 支給部品データの作成

支給部品であることを識別するために、公開材料の「YAMAHA」を追加してください。

- 材料追加  をクリック
- 検索画面が開くので、名称に「YAMAHA」と入力し、検索範囲は「公開データシート」のみにチェックを付け、「推奨材料データシート」のチェックを外して検索
- ID:621439965の公開材料「YAMAHA」を選択して適用をクリック



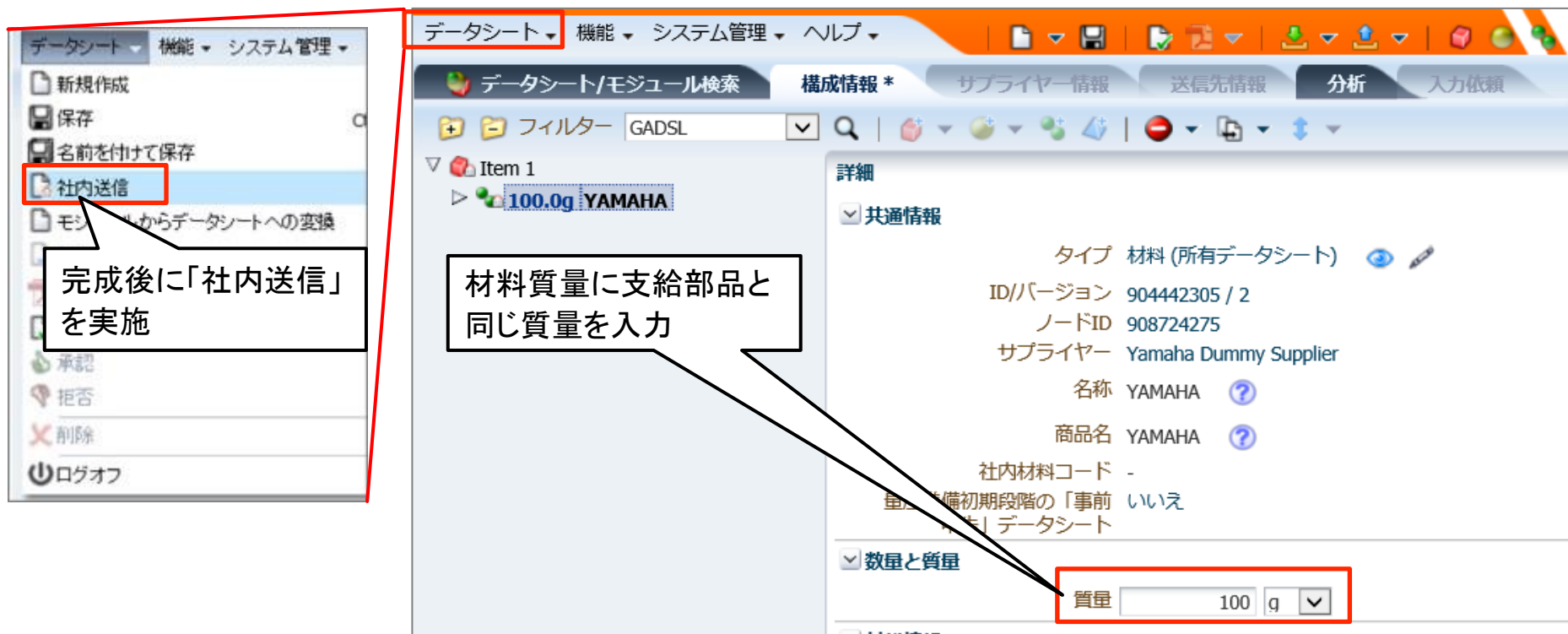
The screenshot shows the MDS - MATERIAL DATA SYSTEM interface. The top bar includes 'データシート/モジュール検索' and '構成情報 *'. Below this is a search filter section with 'フィルター' and 'GADSL'. A red box highlights the 'Material Addition' icon (a green circle with a plus sign) and a callout says '材料追加をクリック'. The main search area has a text input for '名称' (Name) with 'YAMAHA' entered, highlighted by a red box and a callout '名称に「YAMAHA」と入力'. To the right, there are checkboxes for search criteria: '承認データシート' (unchecked), '公開データシート' (checked), '自社データシート' (unchecked), 'サプライヤーで検索可能' (unchecked), and '推奨材料データシート' (unchecked). A red box highlights the '推奨材料データシート' checkbox with a callout '「推奨材料データシート」のチェックを外す'. A red box highlights the '公開データシート' checkbox with a callout '「公開データシート」のみにチェック ※右にスクロールし、「自社データシート」および「自社モジュール」のチェックは外してください。'. At the bottom right is a '検索' (Search) button. Below the search area is a table with columns: 'タイプ', '名称', '材料記号', '商品名', '標準材料コード', '社内材料コード', 'ID/バージョン', and 'サプライヤー'. The first row is highlighted with a red box and contains: 'YAMAHA', 'YAMAHA', '-', 'YAMAHA', '-', '621439965 / 1', and 'YAMAHA MOTOR CO., LTD.'. A callout points to this row saying 'ID:621439965の公開材料「YAMAHA」を選択して適用をクリック'. At the bottom right are buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel), with '適用' highlighted by a red box.

タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー
	YAMAHA	-	YAMAHA	-	-	621439965 / 1	YAMAHA MOTOR CO., LTD.

III b. 支給部品データの作成

公開材料「YAMAHA」を追加したら、質量を入力し、社内送信してください。

- 材料質量に支給部品と同じ質量を入力
- 「データシート」より「社内送信」を実施※1



データシート 機能 システム管理 ヘルプ

データシート/モジュール検索 構成情報* サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力依頼

フィルター GADSL

Item 1
100.0g YAMAHA

詳細

共通情報

タイプ 材料 (所有データシート)

ID/バージョン 904442305 / 2

ノードID 908724275

サプライヤー Yamaha Dummy Supplier

名称 YAMAHA

商品名 YAMAHA

社内材料コード -

数量と質量

質量 100 g

完成後に「社内送信」を実施

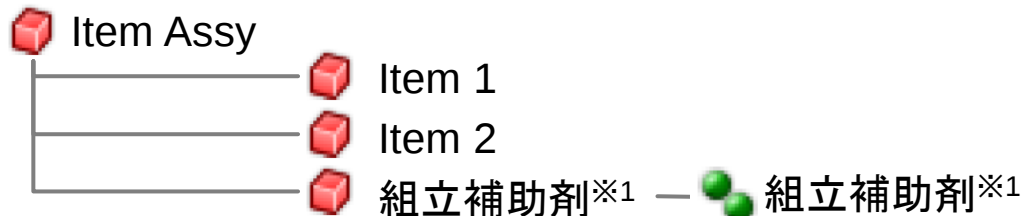
材料質量に支給部品と同じ質量を入力

※1 警告メッセージが表示されますが、無視して社内送信を実施してください。

複合部品のデータシートを作成するには、予め構成部品のデータを収集・作成してください。
ここでは、1階層の複合部品について説明します。2階層以上の複合部品は本章の手順を下位構成から順に繰り返してください。（「[IMDSデータのイメージ](#)」参照）

また、当社が支給する素材部品を加工する場合も下右図のようにデータを作成してください。

複合部品の例



素材部品（支給部品）を加工する場合



- 「[III a. 部品データシートの作成](#)」と同様に新規作成し、部品名称、番号、質量を入力



コンポーネントデータシートを新規作成し、
部品名称、部品番号、部品質量を入力

※1 組立部品について、組立補助剤を使用しない場合でも、データを作成してください。

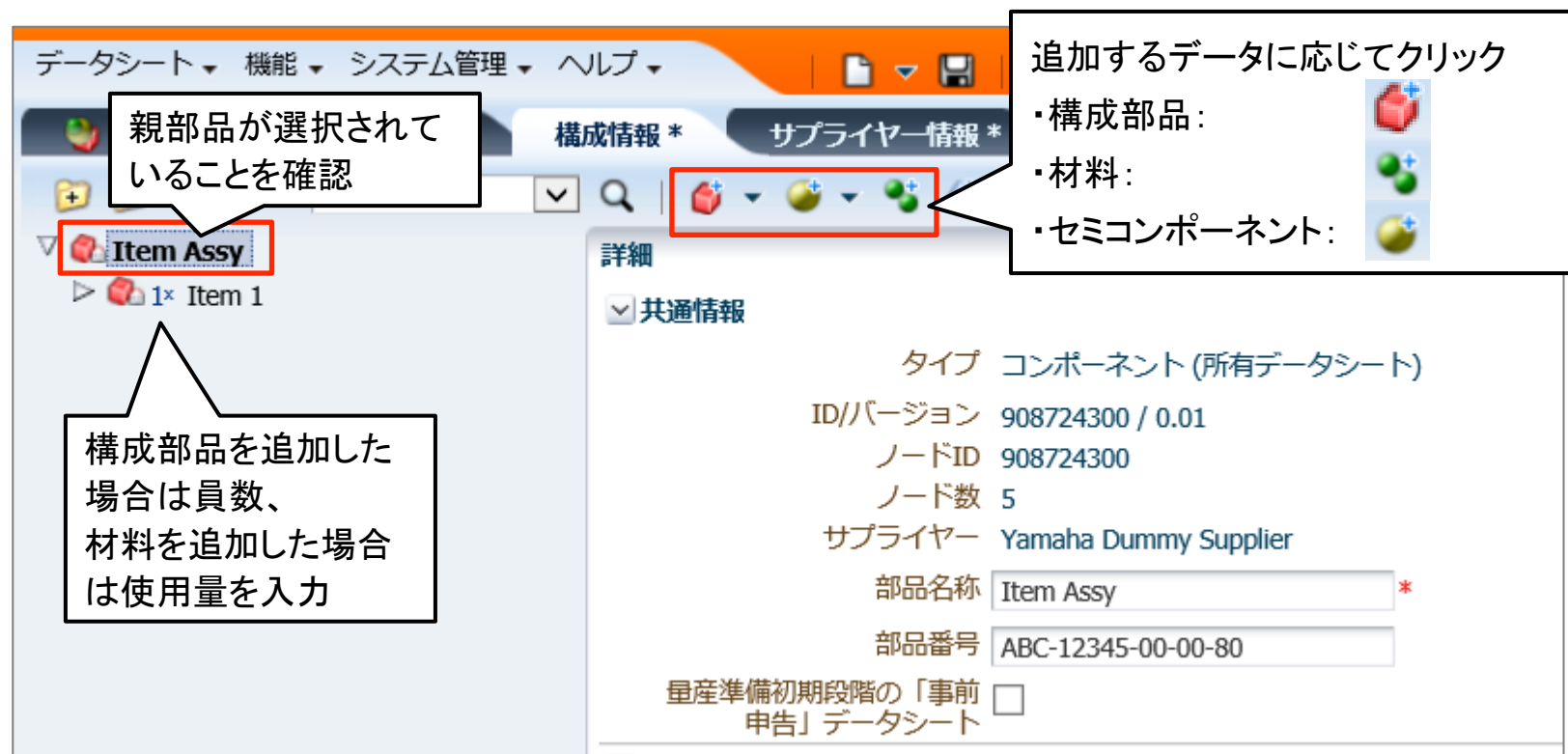
※2 加工のみで材料の追加が無い場合でも、データを作成してください。

III c. 複合部品データの作成

構成部品、材料を追加します。

- 親部品が選択されていることを確認し、追加するデータに応じて 、、 をクリック※1
- 検索画面が開くので検索し、適切なデータを追加。員数または使用量を入力

※操作方法は「[III a. 部品データシートの作成](#)」を参照してください。



The screenshot shows a software interface for creating assembly data. The left sidebar displays a tree view with 'Item Assy' selected. The main area is divided into '構成情報 *' (Composition Information) and 'サプライヤー情報 *' (Supplier Information). The '構成情報 *' section has three icons: a red cube, a green sphere, and a yellow sphere, each with a plus sign. A red box highlights these icons. A callout box points to them with the text: '追加するデータに応じてクリック' (Click according to the data to be added). Another callout box points to the 'Item Assy' in the tree view with the text: '親部品が選択されていることを確認' (Confirm that the parent part is selected). A third callout box points to the '構成情報 *' section with the text: '構成部品を追加した場合は員数、材料を追加した場合は使用量を入力' (If adding a component, enter the quantity; if adding a material, enter the usage). The right panel shows details for 'Item Assy', including type, ID, node ID, node count, supplier, and part name/number.

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

構成情報 * サプライヤー情報 *

親部品が選択されていることを確認

Item Assy

1x Item 1

構成部品を追加した場合は員数、材料を追加した場合は使用量を入力

追加するデータに応じてクリック

- ・構成部品: 
- ・材料: 
- ・セミコンポーネント: 

詳細

▼ 共通情報

タイプ コンポーネント (所有データシート)

ID/バージョン 908724300 / 0.01

ノードID 908724300

ノード数 5

サプライヤー Yamaha Dummy Supplier

部品名称 Item Assy *

部品番号 ABC-12345-00-00-80

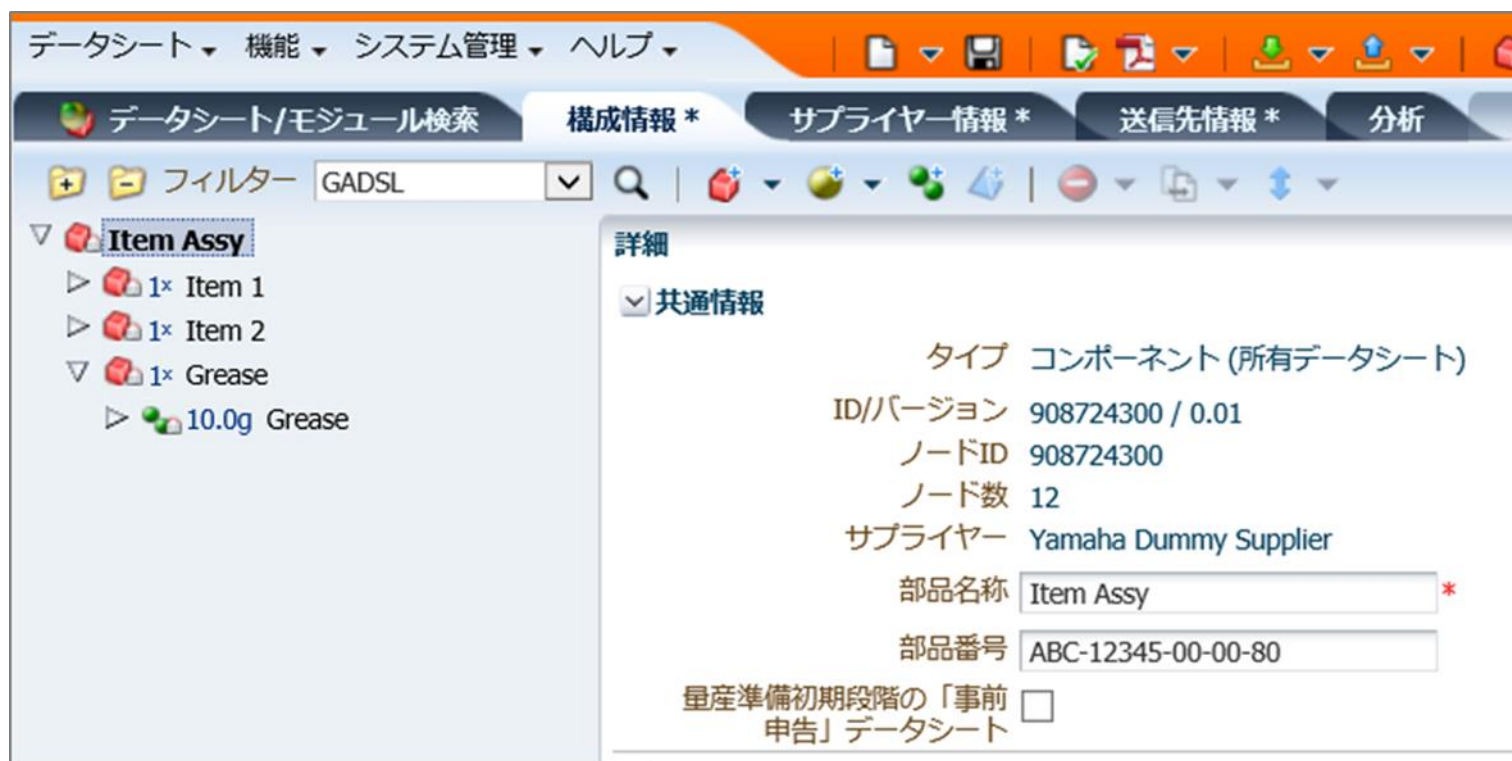
量産準備初期段階の「事前申告」データシート ☐

※1 構成部品を追加するときは、必ず  コンポーネント追加をクリックしてください。  セミコンポーネントは部品ではなく材料ですので、お間違いの無い様にご注意ください。

III c. 複合部品データの作成

前ページの操作を繰り返し、すべての構成部品、材料を登録したら、完了処理(コンタクトパーソンの選択、エラーチェック※¹、社内送信)を行ってください。

※操作方法は「[III a. 部品データシートの作成](#)」を参照してください。



データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

データシート/モジュール検索 構成情報 * サプライヤー情報 * 送信先情報 * 分析

フィルター GADSL

Item Assy

- 1x Item 1
- 1x Item 2
- 1x Grease
 - 10.0g Grease

詳細

共通情報

タイプ コンポーネント (所有データシート)

ID/バージョン 908724300 / 0.01

ノードID 908724300

ノード数 12

サプライヤー Yamaha Dummy Supplier

部品名称 Item Assy *

部品番号 ABC-12345-00-00-80

量産準備初期段階の「事前申告」データシート ☐

※¹ 警告メッセージ「異なるタイプのノード(コンポーネント、セミコンポーネント、材料)が同一レベルに配置されています。」は問題ありません。

III d. 組立品番の場合

組立品番(中5桁の頭がYまたはX)^{※1}のデータシートには、完成質量と組立で使用する補助剤のみご登録ください。構成部品の記載は不要です。ただし、エラーを防止するために質量調整をお願いします。

例: Item Assy. ABC-Y1234-00-00-80



- 「[III a. 部品データシートの作成](#)」と同様に新規作成し、部品名称、番号、質量を入力
- 使用する材料を登録し、使用量を入力(登録方法は「[III a. 部品データシートの作成](#)」参照)



※1 構成部品はすべて当社からの支給部品で、設計図面は存在せず、組立指示図により組立のみを行って頂く品目。

※2 補助剤を使用しない場合でも、データを作成してください。

III d. 組立品番の場合

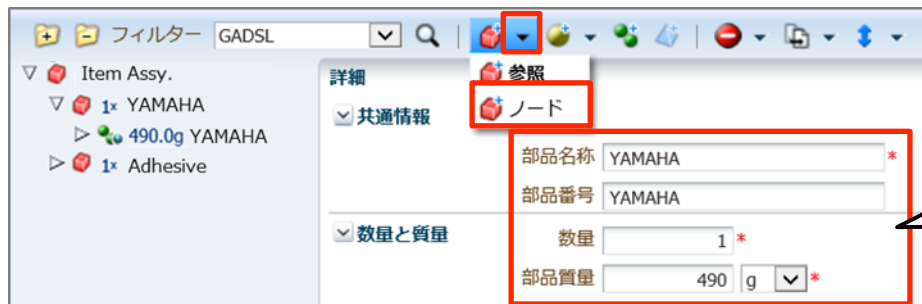
エラーを防止するために、質量調整を行います。

- ① 入力した部品質量と、「部品質量(自動計算値)」の差を計算
- ②  → 「ノード」をクリックし、追加した構成部品の部品名称、部品番号は「YAMAHA」、員数は1、部品質量は①の計算結果を入力
- ③  をクリックし、「[III b. 支給部品データの作成](#)」と同様に公開材料「YAMAHA」を追加し、①の計算結果を質量に入力

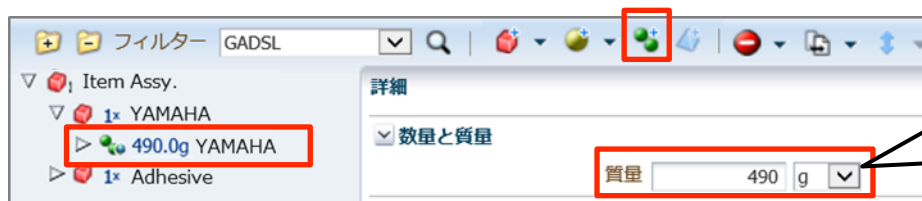


①部品質量と、「部品質量(自動計算値)」の差を計算

例: $500 - 10 = 490 \text{ g}$



②質量調整用の部品を追加し、部品名称、部品番号は「YAMAHA」、員数は1、部品質量は①の計算結果(例:490 g)を入力



③支給部品に使用する公開材料「YAMAHA」を追加し(操作方法は「[III b. 支給部品データの作成](#)」参照)、質量に①の計算結果(例:490 g)を入力

III d. 組立品番の場合



完了処理(コンタクトパーソンの選択、エラーチェック※1、社内送信)を行ってください。

※操作方法是「III a. 部品データシートの作成」を参照してください。

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

データシート/モジュール検索 構成情報 サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力依頼

フィルター GADSL

Item Assy.

1x YAMAHA

490.0g YAMAHA

1x Adhesive

10.0g Adhesive

部品名称 Item Assy.*

部品番号 ABC-Y1234-00-00-80

量産準備初期段階の「事前申告」データシート ☐

日付

結果を確認して下さい。 - エラー 0 / 警告 2

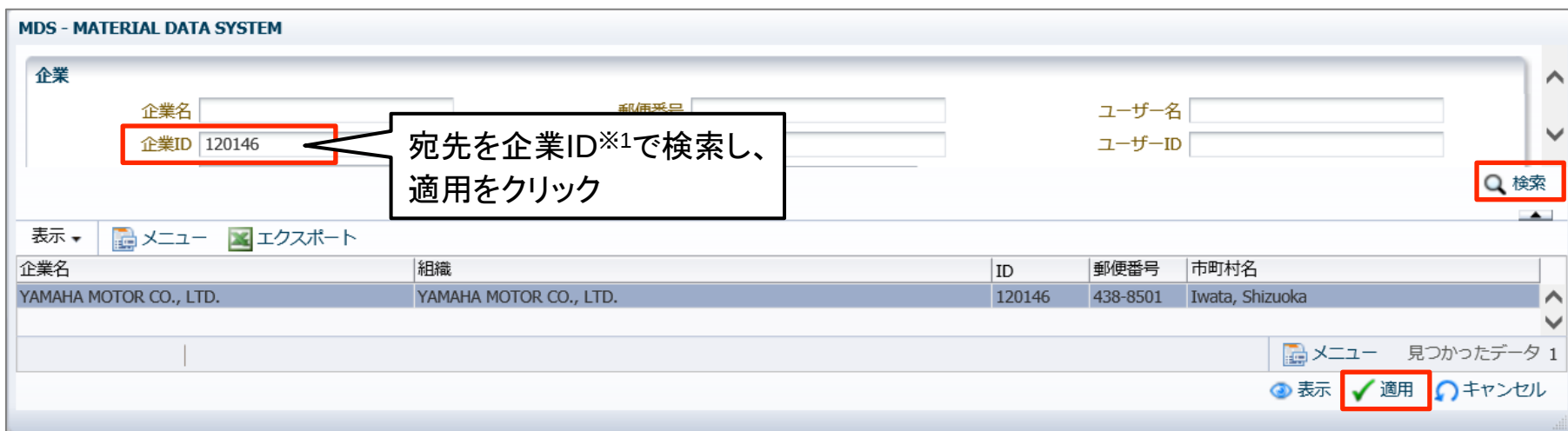
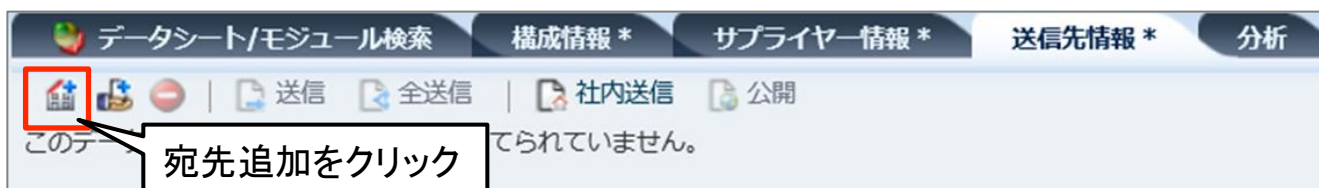
No.	タイプ	タブ	ノード / 送信先	メッセージ
1		構成情報	Item Assy.	異なるタイプのノード(コンポーネント、セミコンポーネント、材料)が同一レベルに配置されています。
2		構成情報	YAMAHA	未指定物質(ワイルドカードおよび機密扱いの化学物質)が10%を超えています。

※1 警告メッセージ「異なるタイプのノード(コンポーネント、セミコンポーネント、材料)が同一レベルに配置されています。」は問題ありません。また、公開材料「YAMAHA」に対する警告は無視してください。

データ作成が完了したら、依頼元へ送信します。

■ 「送信先情報」タブをクリック

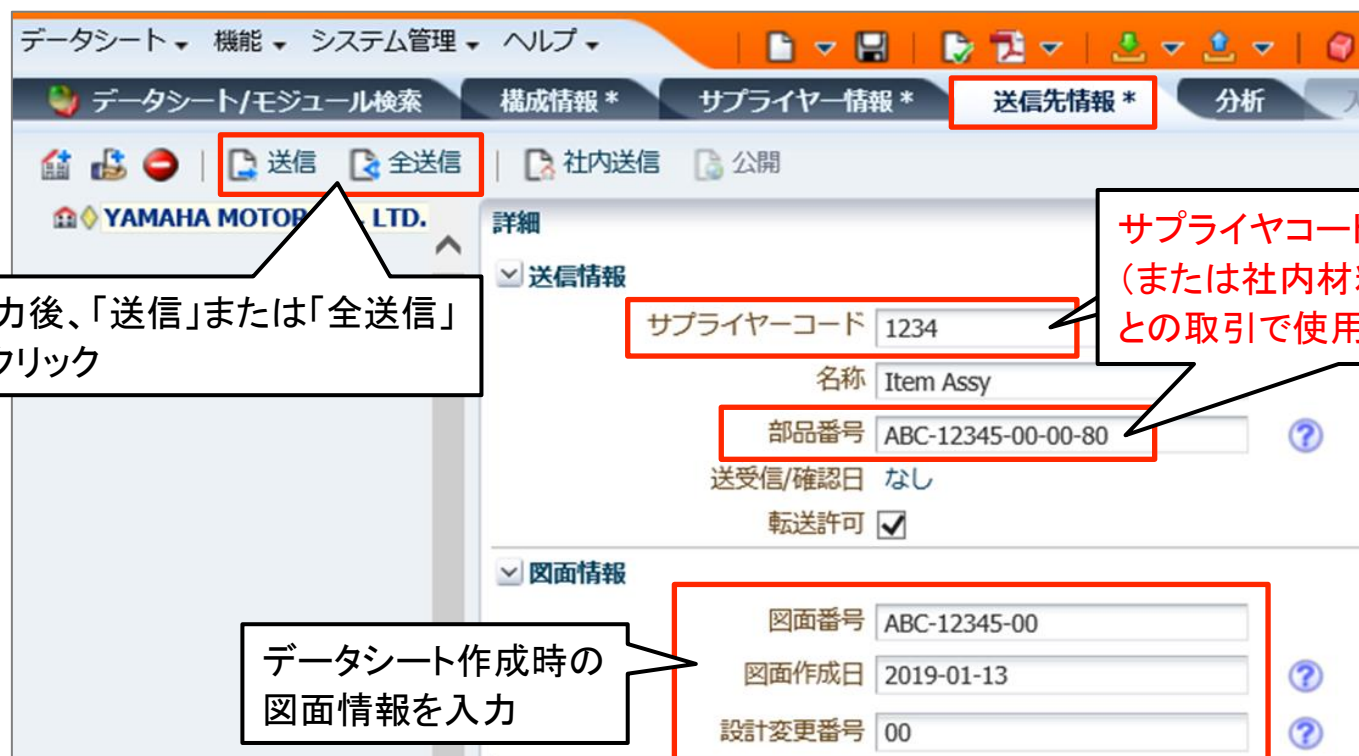
■ 宛先追加  をクリックし、企業ID※¹でデータの送信先を検索



※¹ ヤマハ発動機グループ会社各社の企業IDは、「[IMDSデータの送信先](#)」を参照してください。

宛先を追加したら、サプライヤコードおよび品目番号を入力し、データを送信してください。

- サプライヤコードおよび部品番号（または社内材料コード、材料コード）を入力
※該当品目の取引で使用するコードを入力
- 図面情報に、データシート作成時の図面情報を入力
- 入力後、送信（または全送信）をクリック



データシート ▼ 機能 ▼ システム管理 ▼ ヘルプ ▼

データシート/モジュール検索 構成情報 * サプライヤー情報 * 送信先情報 * 分析

送信 全送信 社内送信 公開

YAMAHA MOTOR LTD.

詳細

送信情報

サプライヤコード 1234

名称 Item Assy

部品番号 ABC-12345-00-00-80

送受信/確認日 なし

転送許可 ☒

図面情報

図面番号 ABC-12345-00

図面作成日 2019-01-13

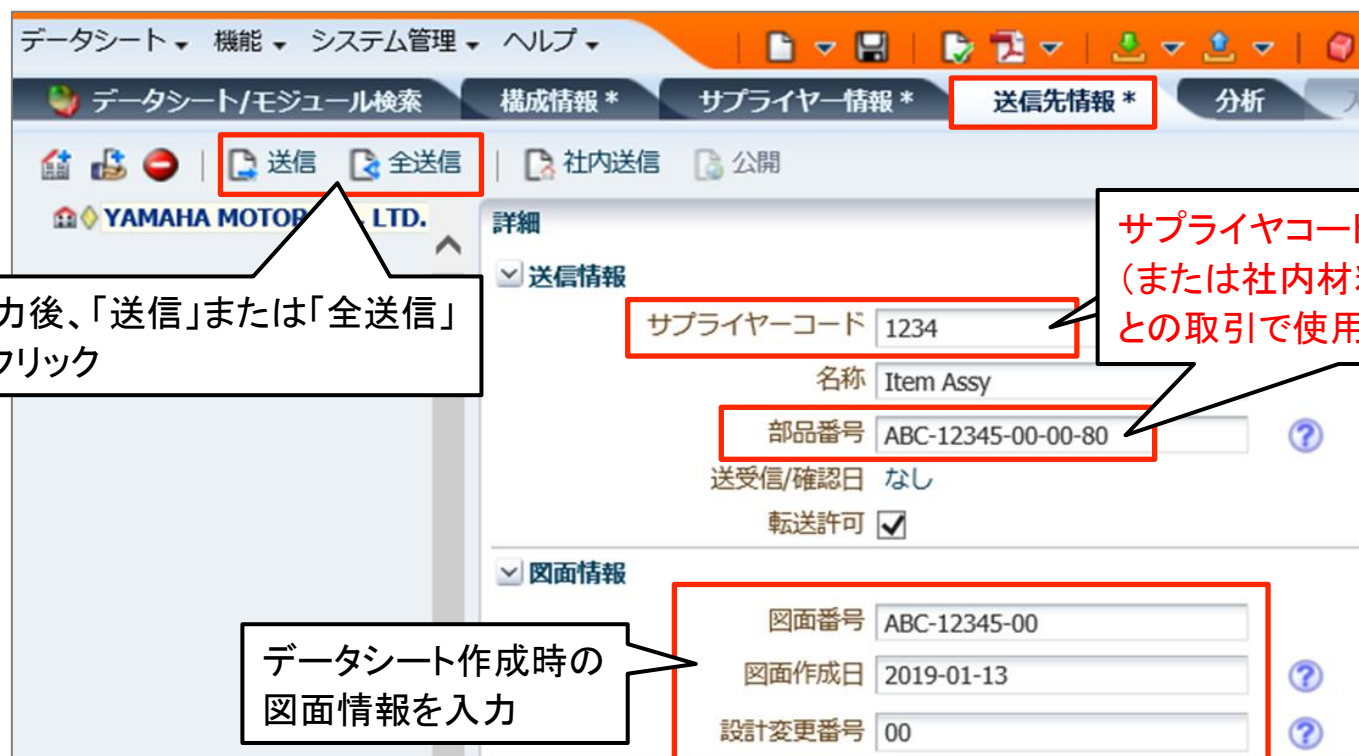
設計変更番号 00

入力後、「送信」または「全送信」をクリック

データシート作成時の図面情報を入力

サプライヤコードおよび部品番号（または社内材料コード）は、当社との取引で使用するコードを入力

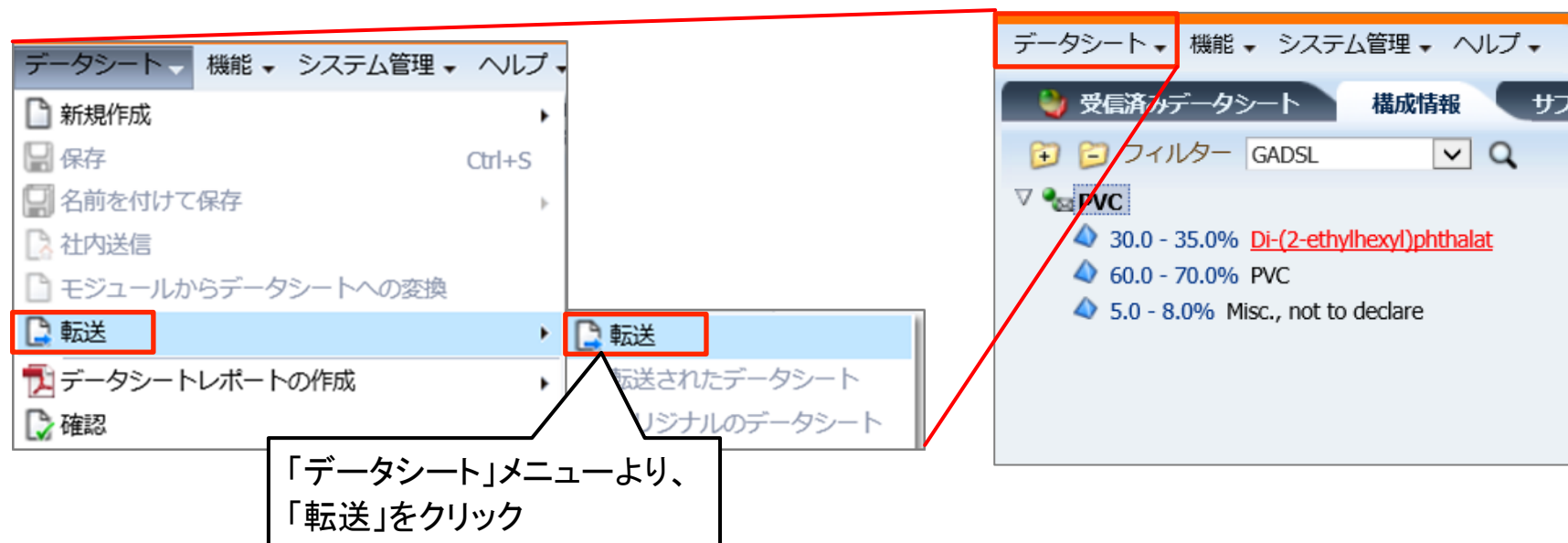
原則として、IMDSデータは内容確定した状態(バージョンが整数)でご送信ください。ただし、送信先との事前協議を行いたい場合等は、編集状態(バージョンが小数)でご送信ください。内容を確認し、結果を「拒否の理由」に記載して差戻しますので、内容を反映して確定後に再送信してください。



The screenshot shows the IMDS data entry interface. The top navigation bar includes tabs for 'データシート/モジュール検索', '構成情報*', 'サプライヤー情報*', '送信先情報*', and '分析'. The '送信先情報*' tab is selected. Below the navigation bar, there are buttons for '送信' and '全送信', which are highlighted with a red box. A callout points to these buttons, stating: '入力後、「送信」または「全送信」をクリック'. The main form area is divided into two sections: '送信情報' and '図面情報'. The '送信情報' section contains fields for 'サプライヤーコード' (1234), '名称' (Item Assy), '部品番号' (ABC-12345-00-00-80), '送受信/確認日' (なし), and '転送許可' (checked). A callout points to the 'サプライヤーコード' and '部品番号' fields, stating: 'サプライヤーコードおよび部品番号(または社内材料コード)は、当社との取引で使用するコードを入力'. The '図面情報' section contains fields for '図面番号' (ABC-12345-00), '図面作成日' (2019-01-13), and '設計変更番号' (00). A callout points to these fields, stating: 'データシート作成時の図面情報を入力'.

商社の場合、仕入先からの受領データをIMDS内で転送します。
（事前に、「[II a. IMDSデータの受領処理](#)」を実施してください）

- 「機能」の「受信済み一覧」から転送するデータを表示
※操作方法是「[II a. IMDSデータの受領処理](#)」を参照してください。
- 「データシート」メニューより、「転送」をクリック
※データの送信方法は「[IV a. データ送信](#)」を参照してください。※1

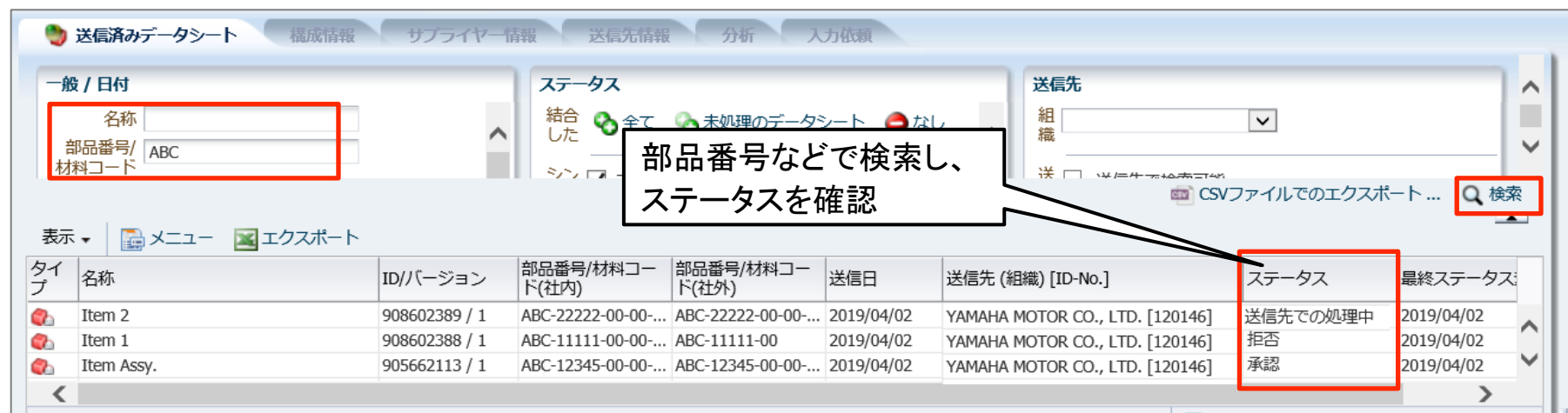
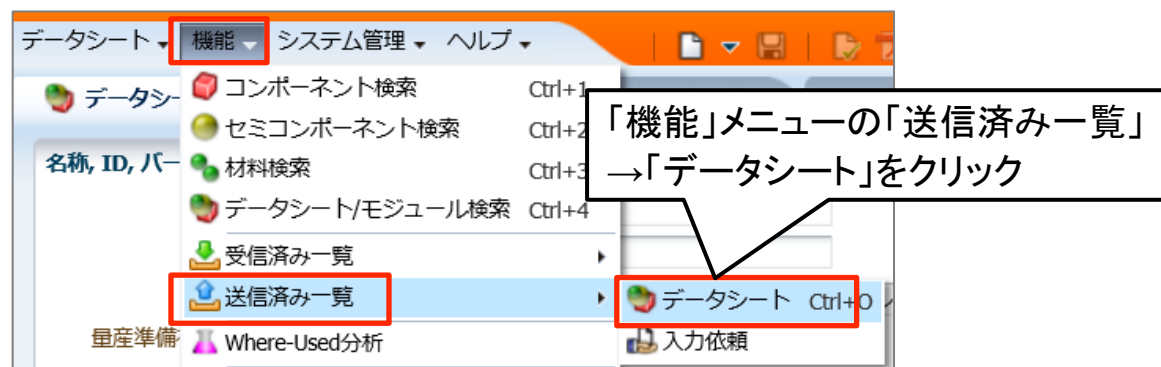


※1 送信前に、コンタクトパーソンの選択が必要です。「[III a. 部品データシートの作成](#)」をご参照ください。

送信済みデータの処理状況を確認し、「拒否」となったデータは修正してください。

(データ拒否時、IMDSから通知の受取が可能です。設定方法は末尾の[参考資料](#)をご参照ください。)

- 「機能」の「送信済み一覧」から「データシート」を選択
- 部品番号などで検索し、ステータスを確認



ステータスが「拒否」のデータは、拒否の理由を確認し、データ修正して再送してください。

- 該当データの行を右クリックし、「拒否の理由」を確認※1
- コピーの「新規バージョン」※2よりNG箇所を修正し、データを再送

The screenshot shows the Yamaha Tarou MDS - MATERIAL DATA SYSTEM interface. A table lists data items with columns for Type, Name, ID/Version, Part Number (Internal/External), and Status. The 'Item 1' row is highlighted in red. A right-click context menu is open over this row, with options like 'Copy', 'Delete', and 'Show rejection reason'. A callout box points to the 'Show rejection reason' option, stating: '右クリックより「拒否理由を表示する」メッセージを確認してください。' (Please check the message 'Show rejection reason' by right-clicking). Another callout box points to the 'New Version' option under 'Copy', stating: '右クリックより「コピー」→「新規バージョン」をクリックし、データを修正して再送' (By right-clicking, click 'Copy' → 'New Version', correct the data and resend). A third callout box points to the 'New Version' option, stating: 'ステータスが「拒否」となったデータ' (Data whose status has become 'Rejection').

タイプ	名称	ID/バージョン	部品番号/材料コード(社内)	部品番号/材料コード(社外)	送信日	送信先(組織) [ID-No.]	最終ステータス
Item 2		908602389 / 1	ABC-22222-00-00-	ABC-22222-00-00-	2019/04/02		
Item 1		908602388 / 1	ABC-11111-00-00-	ABC-11111-00	2019/04/02		拒否
Item Assy.		905662113 / 1	ABC-12345-00-00-	ABC-12345-00	2019/04/02		承認

右クリックより「拒否理由を表示する」メッセージを確認してください。

右クリックより「コピー」→「新規バージョン」をクリックし、データを修正して再送

ステータスが「拒否」となったデータ

拒否の理由
拒否の理由 Error: Supplier code or Item number is incorrect.

※1 拒否の理由がエラーコードで記載されている場合は、「[\(補足IV-1\)エラーコード対照表](#)」をご参照ください。

※2 データシートのID/バージョンについては、「[データシートの最新版管理](#)」をご参照ください。

(補足IV-1)エラーコード対照表



コード	エラー理由	対応方法
EA03	サプライヤコードに誤りがあります。	サプライヤコードを確認してください。
EA06	IDが異なる同一品番のデータが存在します。	該当するデータのIDは、過去に他の品目番号で使用しています。同一品目番号のデータを修正または更新するときは、「新規バージョン」でコピーし、同じIDのバージョンアップでご送信ください。
EA10	品番が異なる同一IDのデータが存在します。	該当するデータの品目番号は、過去に他のIDで受信しています。同一品目番号のデータを修正または更新するときは、前回送信時と同じIDで送信してください。
EA11	受信したID、バージョンは既に存在します。	該当するデータは、前回送信時と同じバージョンで送信されました。IDは前回と変更せずバージョンを繰り上げて再送して頂くか、小数バージョンを社内送信をしてデータを確定してから再送してください。
EA13	2つの異なる品番のデータが同時に送信されました	2つの品番は、ヤマハ品番とサプライヤー品番です。この場合、ヤマハ品番のIMDSデータのみが受信され、サプライヤー品番のIMDSデータは自動的に拒否されます。ご対応は不要です。
EC03	質量公差がIMDSの規定値をオーバーしているデータシートがあります。	IMDSの規定値に収まるようにデータを修正してください。
EC08	IMDSデータシートタイプに誤りがあります。	部品のデータシートは“コンポーネント”で作成してください。
EC14	支給部品が同じ階層に複数あります。	「ヤマハ発動機 IMDS運用マニュアル」(本マニュアル)に従ってご回答ください。
EM08	IMDSデータシートタイプに誤りがあります。	材料のデータシートは“材料”または“セミコンポーネント”で作成してください。

エラーコードはメール通知に記載されません。拒否の理由をご確認の上、ご対応をお願いいたします。
エラーが解消されない場合は、通知メールに記載の問合せ先、または本マニュアル記載の問合せ先までご連絡ください。

※ 弊社システムは、ご提出いただいたIMDSデータの 品目番号に対し、IDを紐づけて管理しております。

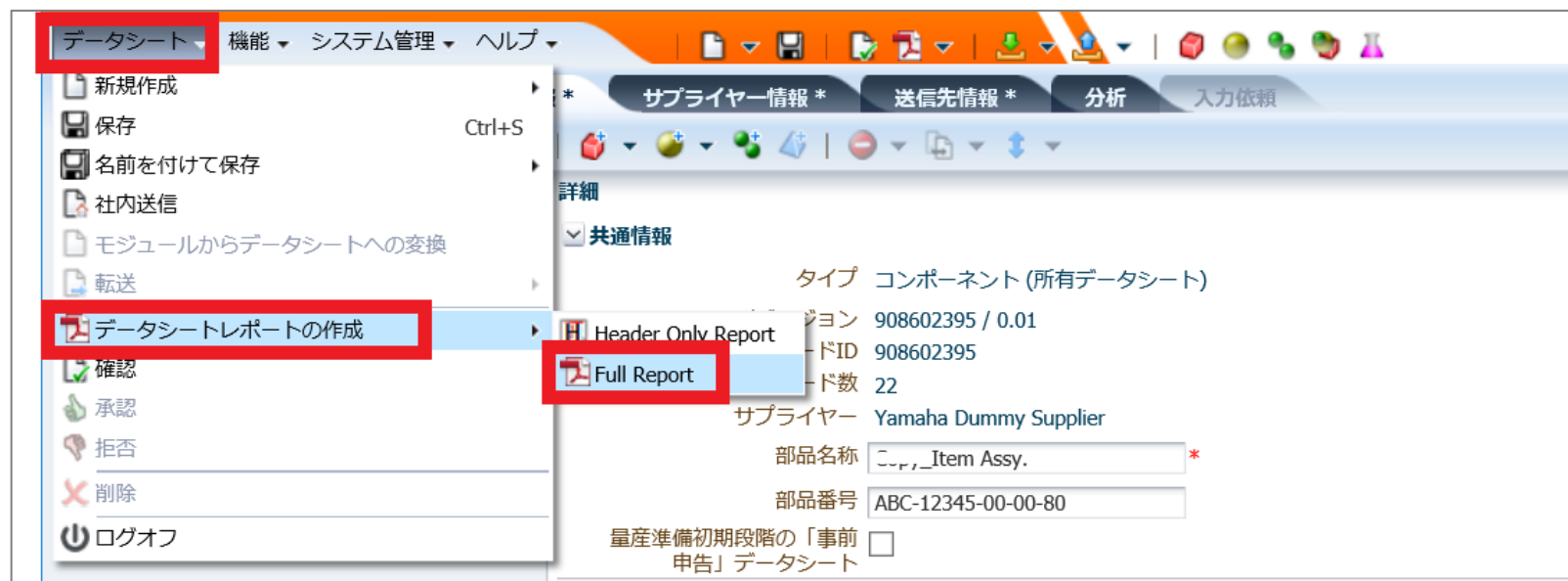
以下の場合には弊社システムによる自動リジェクトの対象となりますのでご注意ください。

(EA06・EA10・EA11)

- ・ 同一の品目番号に対し、異なる IDを用いて再送頂いた場合
- ・ 既に使用されているIDにに対し、異なる品目番号にて送信頂いた場合
- ・ 同一の品目番号に対し、同じバージョンで再送頂いた場合

図面改訂により品番が変わる予定だが、事前にヤマハ発動機グループにて成分データの変更内容を確認する必要がある場合、「データシートレポート(PDF)」をご提出ください。
(品番未定につき、システム送信ではデータの判別が出来ないため)

- 「新規データシート※¹」にて改訂箇所データを編集後、「データシート」⇒「データシートレポートの作成」⇒「Full Report」をクリック
- 出力されるPDFファイルを印刷し、改訂箇所を蛍光ペンなどでマークし、ご提出ください



※¹ 品番が変わるため、データのIDを変更してください。データシートのID/バージョンについては、「[データシートの最新版管理](#)」をご参照ください。

以下、参考資料

(参考資料)よくある警告への対応

- ・IMDSの規則(IMDS 001)に従っていない場合、警告が発生
- ・IMDSの規則は「ヘルプ」の「レコメンデーション」から入手可能
- ・材料データに下記のようによくある警告が表示される場合、仕入先に本章記載内容を確認してください。

ヘルプ

オンラインユーザーマニュアル

ビデオチュートリアル(英語)

よくあるお問い合わせ

サービスセンターへのお問い合わせ

リリース情報

使用条件

使用条件 (日本語)

プライバシーに関する声明

レコメンデーション

ネットワークテスト

このアプリケーションについて

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

レコメンデーション

バージョン 最新バージョンを表示 2025/08/25 表示

作成日	更新日	ナンバー	タイトル	日付	ダウンロード
2003/01/27	2023/06/21	IMDS 001	General Structure	2023/06/21 -	001 [pdf] (日本語) 001 [pdf] (英語)
2010/02/16	2021/05/19	IMDS 001a	General Structure Annex I	2021/05/19 -	001a [pdf] (日本語) 001a [pdf] (英語)

IMDS001: 規則

IMDS001a: データシート of 具体例

【よくある警告メッセージ】

- 含有率の範囲値の差が許容値を越えてはなりません。
- 通常、液体または気体の化学物質は固体の材料に含まれません。
- 材料分類〇.〇の材料には、化学物質グループ△△の化学物質が□%より多く含まれなければなりません。
- 未指定物質(ワイルドカードおよび機密扱いの化学物質)が10%を超えています。
- ポリマー材料は少なくとも2つの化学物質で構成されるべきです。

<警告メッセージ>

- i. 含有率の範囲値の差が許容値を越えてはなりません。

<対応する規則 (IMDS001の該当箇所)>

4.5.4 含有率の 範囲値(パーセント)		
IMDS では、材料に使用される化学物質の含有率をユーザーが定義する必要があります。この含有率は、固定値、範囲値(X%から Y%まで)、残部(IMDS によって計算される値)のいずれかとして定義します。		
規則/ガイドライン	説明	
規則 4.5.4.A	「範囲値」は、材料に含まれる化学物質の実際の差を反映する目的にのみ使用すること。材料の完全な組成の申告を回避する手段として範囲を使用してはなりません。	
規則 4.5.4.B	「範囲値」タイプの含有率を選択した場合は、以下の最大含有率範囲が適用されます。	
	含有率: X%から Y%まで	最大 $M = Y\% - X\%$
	$0 \leq X \leq 7.5$	$M \leq 3$
	$7.5 < X \leq 20$	$M \leq 5$
	$20 < X \leq 100$	$M \leq 10$

<対応方法>

原則として、IMDS001の示す範囲値に収まるよう、仕入先に修正を依頼してください。

ただし、実際の製品仕様を反映しており、IMDS001の範囲値に収めることができない場合は、承認してください。

<警告メッセージ>

- ii. 通常、液体または気体の化学物質は固体の材料に含まれません。
- iii. 材料分類○.○の材料には、化学物質グループ△△の化学物質が□%より多く含まれなければなりません。

<対応する規則 (IMDS001の該当箇所)>

4.4.1 全般

規則 4.4.1.B	<u>材料は、最終状態で記述すること。</u> 最終製品の材料に含有されている化学物質のみを報告すること (たとえば、硬化した状態の接着剤または塗料コーティングを入力します。この場合、蒸発する溶媒は含めません)。
------------	--

4.5.1 全般

規則/ガイドライン	説明
規則 4.5.1.A	<u>化学物質は、材料内においてそれらが存在していると通りの形態で入力すること。</u> つまり、元素で分けること(たとえば、ポリマーをその組成 C、H、N、O で表すことなど)は禁止します。

<対応方法>

化学物質のデータが、製品の最終状態を反映しているか確認してください(次ページ参照)。例えば、接着剤や塗料が未乾燥状態で回答されていないでしょうか？または、化学物質が元素単位に分解されていたり、原料の状態で回答されていないでしょうか？仕入先に修正を依頼してください。

※材料分類の詳細は、レコメンデーションIMDS001aを参照

・化学物質の構成は、最終製品の状態で回答すること

例：接着剤は硬化状態、塗料は乾燥状態の化学物質構成を回答してください。



接着剤

主剤
硬化剤

反応

硬化状態



塗料

塗料
溶剤

乾燥

乾燥状態

一般的に、溶剤は乾燥により揮発するので、回答には含まれません。

・化学物質は、その存在形態で回答すること

化合物を元素毎に分けてはいけません。また、ポリマーや非晶質を原料で回答してもいけません。



不動態化処理

酸化アルミニウム

○ Al_2O_3

× Al, O₂



電子部品



スパークプラグ

ガラス、セラミック

○ Glass without declarable substances

× SiO₂, Al₂O₃, B₂O₃, . . .



樹脂製品

ポリプロピレン

○ PP (ポリマー)

× プロピレン (モノマー)

※ガラス、セラミックが規制物質を含む場合は、別途回答が必要
回答方法は、IMDSレコメンデーション001a 2.6を参照

<警告メッセージ>

iv. 未指定物質(ワイルドカードおよび機密扱いの化学物質)が10%を超えています。

v. ポリマー材料は少なくとも2つの化学物質で構成されるべきです。

<対応する規則 (IMDS001の該当箇所)>

4.5.3 ジョーカー/ワイルドカード (高機密扱い物質)	
規則 4.5.3.E	高機密扱い物質を表すジョーカー/ワイルドカードを含む機密扱い物質の合計は材料の10%を超えないものとします。化学物質範囲を使用する場合は、範囲の各最大値を適用して、この合計を計算します。
4.4.1 全般	
ガイドライン 4.4.1.a	ポリマー材料 (分類 5.x) には、少なくとも2つの化学物質を記述することが望ましい。

<対応方法>

この警告は、**材料メーカーが化学物質データを企業秘密とする場合**によく発生します。企業秘密を保持したまま回答する方法については、次ページ以降を参照してください。

iv. については、ワイルドカードで回答している物質を、一般名称で回答できないか仕入先に確認してください。

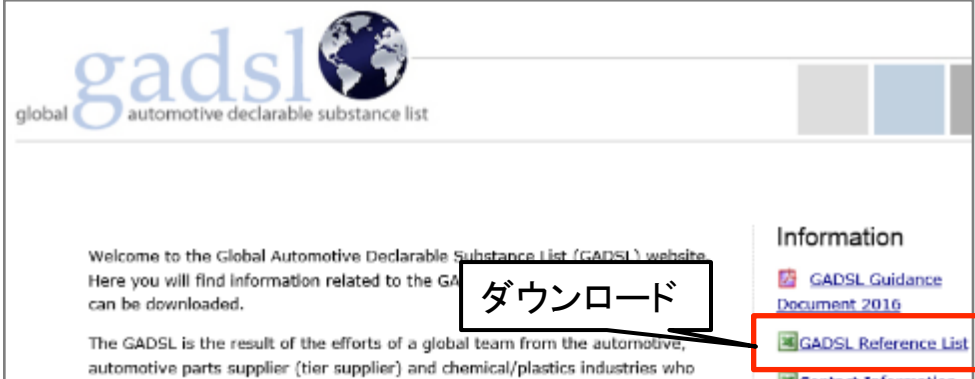
v. について、ポリマー材料(樹脂・ゴム等)は通常、添加剤を含有しています(酸化防止剤、紫外線吸収剤、可塑剤、熱安定剤など)。添加剤を含有している場合は、データに反映するよう仕入先に依頼してください。添加剤を全く含有していない場合のみ、この警告が残った状態で承認できます。

※ポリマー材料の具体的な回答例はレコメンデーションIMDS001aを参照

- ・IMDSでは、企業秘密を保持したまま回答することが可能
- ・データ開示要否の判断基準は、自動車業界が定める「GADSL」という物質リスト

【GADSLとは】<http://www.gadsl.org/>

- ・既に規制されている、または規制が予定されている化学物質のリスト
- ・**GADSLに記載のある物質は、必ず開示**
- ・GADSLに記載のない物質は、秘匿可能



GADSL #	Substance	CAS No.	Classification	Reason Code	Source (Legal requirements, regulations)
1	Acetaldehyde	75-07-0	D	FI	Reg. (EC) No 1272/2008
2	Acetamide, N-methyl-	79-16-3	D	LR	Reg. (EC) No 1272/2008, Classified as toxic to reproduction class 2 Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH Candidate List)
3	Acetonitrile	75-05-8	D	FI	Reg. (EC) No 1272/2008
4	Acrylamide	79-06-1	D	LR	Reg. (EC) No 1272/2008 Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH Candidate List)

GADSLに記載のない物質は、次のいずれかの方法で特定を回避

- ・ 一般名称での回答
- ・ 「機密扱い」物質と指定
- ・ 「ワイルドカード」に置換

※GADSLの更新により秘匿した物質が記載された場合、データ更新が必要

【一般名称での回答】

- ・IMDSでは、ポリマー材料の主成分等を一般名称で回答可能(次ページ参照)
- ・CAS No.を持たないため化学物質の特定は不可
- ・明確な化学物質扱いであり、未指定物質(上限10%)の対象外

【機密扱い】

- ・IMDSに化学物質を入力するが、他企業は物質名およびCAS No.を認識不可
- ・設定方法は、該当物質において「機密扱い」にチェック
- ・「機密扱い」物質がGADSLに掲載された時、IMDSより通知の受取可能(個人設定要)



【ワイルドカード】

- ・物質を完全に置換(例: Misc.)
- ・GADSLの更新都度、置き換えた物質が該当しないか確認要

※GADSL更新管理の都合上、「ワイルドカード」ではなく「機密扱い」を推奨

(参考資料)よくある警告 iv, v への対応 一般名称の化学物質について



- ・ポリマー材料の主成分等は、CAS No.が「-」としてIMDSに多数登録有、回答に使用可能
- ・化学物質の検索画面で、下記のキーワードで検索可能、または「グループ」を指定して検索

名称	CAS No.	EU-Index	EINECS-No.
Acaroid Resin	-	-	-
Acrylate Urethane	-	-	-
Acrylated Epoxy R...	-	-	-
Acrylic polyol resin	-	-	-
Acrylic resin	-	-	-
Acrylicphenolic Resin	-	-	-

- 【樹脂・ゴム材料の主成分の検索ワード】
- ・ ベースポリマー : basic polymer
 - ・ 耐衝撃性ポリマー : basic polymer impact modified
 - ・ 熱可塑性エラストマー : thermoplastic elastomer
 - ・ エラストマー : basic rubber
 - ・ 熱硬化性樹脂 : basic duromer
- 【添加剤の検索ワード】
- ・ 充填剤 : ISO 1043-2
 - ・ 可塑剤、難燃剤 : ISO 1043-3
- 【オイル・グリスの検索ワード】
- ・ 主成分 : basic oil
 - ・ 増粘剤 : thickener
- 【その他の検索ワード】
- ・ 繊維 (ガラス繊維含む) : man-made fibre

回答データ例



樹脂

- 主成分 : PA6 70 %
- 充填剤 : GF Fibre 15 %
- 可塑剤 : DEHP 10 %
- 難燃剤 : 機密扱い 5 %

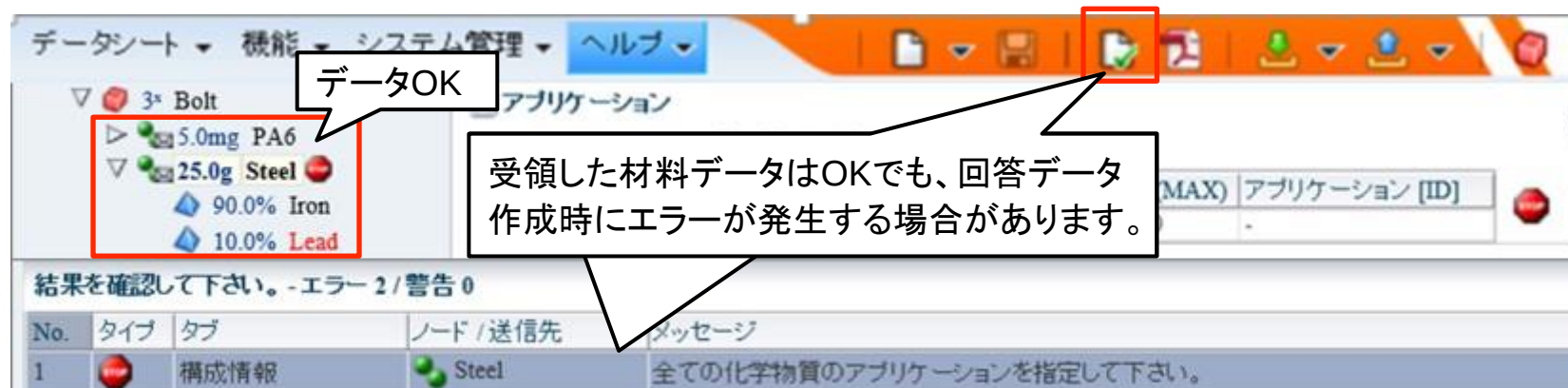
GADSLに該当しなければ、
10 %まで機密扱い可能



オイル

- 主成分 : Ester oil 80 %
- 増粘剤 : Li soap 15 %
- 添加剤 : 機密扱い 5 %

- ・仕入先から受領した材料データはOKでも、**作成した回答データにエラー発生の場合有**
(部品データシート特有のエラー項目が存在)
- ・エラーがあると送信不可のため、エラー修正要



【回答データ作成時のよくあるエラーメッセージ】

- 全ての化学物質のアプリケーションを指定してください。
- 材質表示に関する質問に答えていません。
- 参照されているデータシート/モジュールは社内送信されていません。

(参考資料)よくあるエラー i. の修正方法

エラーメッセージ:「全ての化学物質のアプリケーションを指定してください。」

・アプリケーションとは、規制物質の使用用途を示すコード(特定の用途でのみ使用可)

・使用用途は部品によって異なるため、アプリケーションは部品メーカーが選択

(例:同じはんだでも、配線の接続とICチップの実装ではコードが異なります)

【修正方法】

・該当箇所ダブルクリックで選択肢が表示、適切なものを選択

※原則使用禁止の物質であるため、アプリケーション:20(その他)はNG

The screenshot shows the Yamaha IMDS (Material Data System) interface. On the left, a tree view shows the material composition: 3x Bolt, 5.0mg PA6, 25.0g Steel, 90.0% Iron, and 10.0% Lead. The 'アプリケーション' (Application) tab is selected, showing a table with columns 'コンポーネント' (Component), 'アプリケーション' (Application), '% (MAX)' (Percentage (MAX)), and 'アプリケーション ID' (Application ID). The 'Lead' component is highlighted with a red box, and a callout bubble points to it with the text 'ダブルクリック' (Double-click). Below this, a message box says '結果を確認して下さい。 - エラー 2 / 発生' (Please check the results. - Error 2 / Occurrence). The main window shows the 'MDS - MATERIAL DATA SYSTEM' dialog box. It has tabs for 'アプリケーション' (Application) and 'ELV Annex II のためのガイド' (Guide for ELV Annex II). The 'アプリケーション' tab is active, showing a table with columns 'ID' and 'アプリケーション' (Application). The table lists several application codes: 15 (Valve seats), 20 (Other application (potentially prohibited)), 51 (4(b) - Alloying element in bearing shells and bushes in engines, transmissions and air conditioning compressors), and 52 (4(a) - Alloying element in bearing shells and bushes for all other applications (potentially prohibited)). A callout bubble points to the table with the text '適切なものを選択' (Select the appropriate one). Another callout bubble points to the 'アプリケーション ID' column header with the text 'アプリケーションIDの日本語訳の掲載場所' (Where the Japanese translation of the application ID is published). Below this, a text box provides the path: 'IMDSインフォメーションページ→ヘルプ→FAQ(よくあるご質問集)-その他→アプリケーションコードの日本語訳はありますか?' (IMDS Information Page → Help → FAQ (Frequently Asked Questions) - Others → Is there a Japanese translation of the application code?).

ダブルクリック

結果を確認して下さい。 - エラー 2 / 発生

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

アプリケーション

コンポーネント Bolt

材料 Steel

化学物質 Lead

含有率 10.0 % (MAX)

アプリケーション ID

アプリケーション

15 Valve seats

20 Other application (potentially prohibited)

51 4(b) - Alloying element in bearing shells and bushes in engines, transmissions and air conditioning compressors

52 4(a) - Alloying element in bearing shells and bushes for all other applications (potentially prohibited)

適切なものを選択

アプリケーションIDの日本語訳の掲載場所

IMDSインフォメーションページ→ヘルプ→FAQ(よくあるご質問集)-その他→アプリケーションコードの日本語訳はありますか?

エラーメッセージ:「材質表示に関する質問に答えていません。」

・樹脂・ゴム材料を使用した部品は、製品への材質表示有無を選択する必要有

【修正方法】

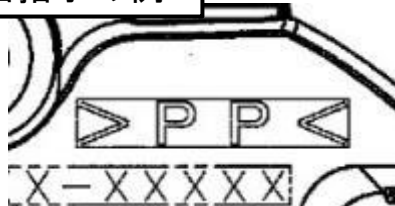
・「材質表示」の欄で、次のいずれかを選択

図面等により製品への材質記号(例:PP)の表示指示が有り、指示通り表示⇒「はい」を選択

図面等により製品への材質記号の表示指示が有るが、製品に表示無し⇒「いいえ」を選択

製品への材質記号の表示指示が無い⇒「該当しない」を選択

図面指示の例



▽ 3x Bolt

▽ 150.0g PA6

- 5.0% Carbon black
- 90.0 - 92.0% PA6
- 残部 4.0% Misc., not to declare

▼ 材質表示

樹脂・ゴム製部品 への材質表示

はい (依頼元OEMの規定通りに材質表示が行われている)

いいえ (要求されているにもかかわらず材質表示が行われていない)

該当しない (質量、形状の制限、表面処理の仕様により部品に材質表示を行う必要がない)

該当する状況を選択

結果を確認して下さい。 - エラー 1 / 警告 0

No.	タイプ	タブ	ノード / 送信先	メッセージ
1		構成情報	 Bolt	材質表示に関する質問に答えていません

エラーメッセージ:「参照されているデータシート/モジュールは社内送信されていません。」

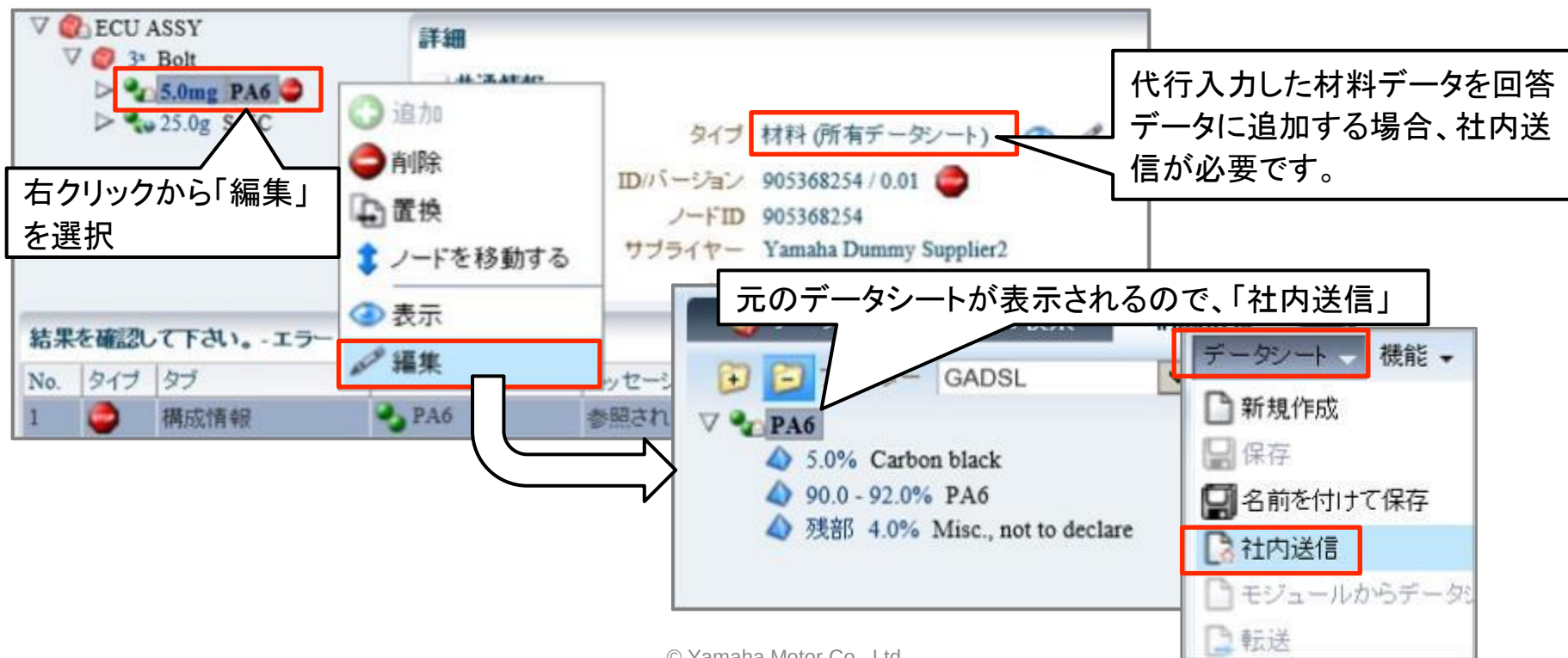
- ・社内送信とは、作成したデータシート/モジュールを**完成版**とする操作(その後、編集不可)
- ・回答データに追加するデータは完成版である必要有

→材料データを代行入力した場合、社内送信が必要(受領データの場合、承認すると完成版となります)

【修正方法】

- ・該当のデータシートを開き、「データシート」の「社内送信」を選択

(作成中の画面で該当データを右クリック、「編集」でも該当データシートに移動可)



The screenshot shows the software interface with several callouts explaining the steps to resolve the error:

- 右クリックから「編集」を選択** (Select 'Edit' from the right-click menu): A callout points to the '編集' (Edit) option in the context menu for the '5.0mg PA6' data sheet.
- 代行入力した材料データを回答データに追加する場合、社内送信が必要です。** (When adding material data entered by proxy to response data, internal transmission is required.): A callout points to the 'タイプ 材料 (所有データシート)' (Type: Material (Owned Data Sheet)) field.
- 元のデータシートが表示されるので、「社内送信」** (Since the original data sheet is displayed, 'Internal Transmission'): A callout points to the '社内送信' (Internal Transmission) option in the 'データシート' (Data Sheet) dropdown menu.

The interface also shows a table with the following data:

No.	タイプ	タブ
1		構成情報

At the bottom, there is a table with the following data:

No.	タイプ	タブ
1		構成情報

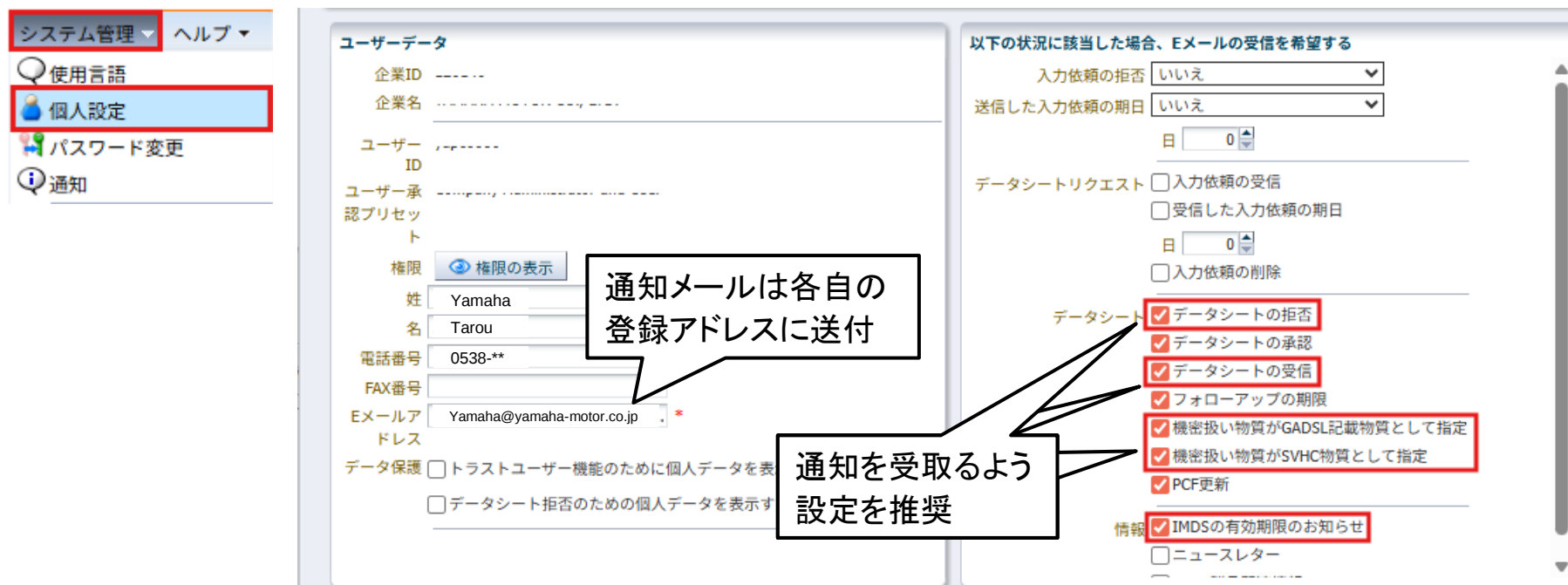
- ・個人設定により、IMDSから各種通知の受取が可能⇒各種対応のトリガーとして活用

例: 回答したデータが送信先で拒否された場合に通知(データシートの拒否)⇒データ修正が必要
依頼に対する回答を受領した場合に通知(データシートの受信)⇒内容確認、承認または拒否
機密扱い物質がGADSL記載物質として指定された時に通知⇒データ更新、再回答が必要

- ・通知は、ユーザー毎に登録されているメールアドレスにIMDSから送付

【設定方法】

- ・「システム管理」の「個人設定」を選択
- ・必要な情報にチェックを付与(上記例の三項目は、通知の受取設定を推奨)



システム管理 ヘルプ

使用言語

個人設定

パスワード変更

通知

ユーザーデータ

企業ID -----

企業名 -----

ユーザーID -----

ユーザー承認プリセット -----

権限 ☒ 権限の表示

姓 Yamaha

名 Tarou

電話番号 0538-**-

FAX番号 -----

Eメールアドレス Yamaha@yamaha-motor.co.jp *

データ保護 ☐ トラストユーザー機能のために個人データを表

☐ データシート拒否のための個人データを表示す

以下の状況に該当した場合、Eメールの受信を希望する

入力依頼の拒否 いいえ

送信した入力依頼の期日 いいえ

日 0

データシートリクエスト ☐ 入力依頼の受信

☐ 受信した入力依頼の期日

日 0

☐ 入力依頼の削除

データシート ☒ データシートの拒否

☒ データシートの承認

☒ データシートの受信

☒ フォローアップの期限

☒ 機密扱い物質がGADSL記載物質として指定

☒ 機密扱い物質がSVHC物質として指定

☒ PCF更新

情報 ☒ IMDSの有効期限のお知らせ

☐ ニュースレター

通知メールは各自の登録アドレスに送付

通知を受取るよう設定を推奨

■ IMDSの機能や入力方法について

IMDSサービスセンター: <https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/imds-service-centers>

■ データの内容について

ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理グループ

電話番号: 0538-32-9905

email: env.tech@yamaha-motor.co.jp

Ver.	内容	日付	担当部署	担当者
1.0	新規発行	2017/4/1	ヤマハ発動機(株)環境技術G	棚田
1.1	IMDS操作方法を追加	2017/12/5	ヤマハ発動機(株)環境技術G	棚田
1.2	調査依頼の連絡方法をZipファイルからPDFに変更	2018/3/1	ヤマハ発動機(株)環境技術G	棚田
1.3	材料データ収集に注記を追加(p.6、12) 材料データ管理の推奨コメント(p.14) 禁止物質確認について記載(p.11, 18) 警告の判断基準について記載(p.35) エラーコードの対応方法更新(p.43)	2018/8/28	ヤマハ発動機(株) リスク管理部 CSR・環境マネジメントグループ	棚田
2	調査依頼の運用を変更 概要の追加および各手順の見直し	2019/4/16	ヤマハ発動機(株) リスク管理部 環境負荷物質管理グループ	棚田
2.1	企業追加(YEJP, Y'S GEAR, YMPJ) 背景、目的にYGK-A-119との関連を記載 組立品番の運用を追加	2019/9/20	ヤマハ発動機(株) リスク管理部 環境負荷物質管理グループ	棚田
2.2	P.12,13削除、頁番号繰上、関連する挿絵の更新 商社は原則転送 (メーカー直送は管理できる場合のみ)(P.9) 補修部品はそれ単体でデータ送信要(P.12) 部品名称に注記を追加(P.13) 組立品番の説明明確化(P.55) 誤記訂正(P.60)	2020/11/5	ヤマハ発動機(株) 貿易管理部 環境負荷物質管理グループ	松下
3.0	1.IMDS企業登録コードの増減をP2-3で最新版に修正 2.各マニュアルに掲載しているIMDS画面コピーの差し替え 3.各種画面のサンプルの事例の個人名の修正 4.P39リサイクル情報をインプットするマニュアルを丁寧化 5.P65 IMDS Auto Rejectの際の説明文を丁寧化 6.発行者名変更 貿易管理部 環境負荷物質管理グループ => 環境推進部 環境統制監理グループ	2025/10/30	ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理グループ	畑